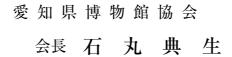
# 愛知県博物館協会 50年史

愛知県博物館協会

## 愛知県博物館協会50周年史の発行にあたって





愛知県博物館協会は、お陰様で設立50周年を迎えることができました。

これもひとえに、加盟各館の皆様方のご理解とご支援の賜物と、ここに厚く御礼を申し上げます。

ここ10年間を振り返りますと、リーマンショックによる景気の低迷にみまわれた後に、2011年3月11日に発生した東日本大震災とそれにともなう福島原発事故に対し、今でも引き続き国をあげて復旧・復興に取り組む課題を抱えています。被災地では博物館の復旧にも大変ご苦労なさっていると伺っています。当協会の研究会でも災害後の対応や災害への備え・日頃の心がけなどのテーマを何度も取り扱ってきました。ここしばらくは、協会としての災害対応の在り方も議論・検討を進めていくことになると思われます。

また、設立当初からの協会「規約」を現状に則した内容に改定し、より有意義な活動を展開できる様にしたことも最近の取り組みです。新しい施設の建設は以前の様に進まない現状を考えますと、分野を超えて身近な地域において連携することができる当協会の様な組織の役割は益々大切になっていくと思われます。

厳しい状況下にあって博物館に関わる私たちは何をなすべきなのか、皆様とともに考える組織でありたいと考えております。これまで以上に多くの皆様とともに、 さらに活気ある協会活動ができますよう、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

# 目 次

Ι	愛知県博物館協会のあゆみ
	● 愛知県博物館協会のあゆみ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
	● 年表(昭和37年度~平成15年度までの愛知県博物館協会のあゆみ)・・・・・・8
Π	愛知県博物館協会10年のあゆみ
	● ここ10年の活動の特徴 ・・・・・・・20
	● 年表(平成16年度~平成25年度までの愛知県博物館協会のあゆみ)・・・・・21
Ш	50周年記念事業
	愛知県博物館協会50周年記念 平成26年度総会講演会
	「等身大の科学」と博物館活動―「森の学校」キョロロの試み―
	池内 了(名古屋大学名誉教授) · · · · · 26
IV	愛知の博物館
	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・33 ● No.96(平成24年8月31日)
	● No.97(平成25年5月10日)
	● No.98(平成25年8月1日)
	● No.99(平成26年3月31日)
V	加盟施設・規約
	● 愛知県博物館協会加盟施設一覧 · · · · · · · 68
	<ul><li>● 愛知県博物館協会規約 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·</li></ul>
	<ul><li>■ 旧愛知県博物館協会規約・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>

# 愛知県博物館協会のあゆみ

- 愛知県博物館協会のあゆみ
- 年表(昭和37年度~平成15年度までの愛知県博物館協会のあゆみ)

# 愛知県博物館協会のあゆみ

愛知県博物館協会は、昭和37年6月に開催 された神奈川県博物館協会と財団法人日本モ ンキーセンターとの交換研究会の際に愛知県 下の博物館施設の交流が始まったことに端を 発し、前身となる連絡協議会の発足へと発展 した。昭和39年1月16日、愛知地区博物館連 絡協議会結成総会を開催し、加盟館11館で協 議会は発足したのである。その10月には現在 78号(平成15年3月31日現在)を数える『愛知 の博物館』創刊号が発行され、翌年の昭和40 年には学芸員の交流誌とも言える『東西南北』 の発刊、そして『学術職員研究会』が開かれる ようになり、愛知県内の学芸員が集い・学び あう場が生まれたと言える。当初の事務局は 豊橋向山天文台で行われ、金子功氏や廣瀬鎮 氏の尽力により運営されていった。その後事 務局は愛知県文化会館(現在の愛知県美術 館)、愛知県陶磁資料館を経て、平成12年度 から名古屋市博物館・愛知県美術館・名古屋 市科学館・愛知県陶磁資料館4館の間で、2 年交替で担うことになっている。

特に、現在の職員研修会の前身となる「学 術職員研究会」の名称も、昭和45年には「学芸 職員研修会」となり、徐々に学芸員の仕事が 認められ定着していく様子がうかがえる。

昭和40年代の活動を見ると、学芸員の資質向上を目指す動き、そして小中学校教諭を招いて実施する「愛博協文化財探勝の会」、そして名鉄メルサ6階通路で開催した「レッツゴーミュージアム」展など、この10年間に実施した「いこまい!!愛知のミュージアム展|や

「子どもと博物館研究会」の活動の理念がすで にこの頃に実施されていたことがわかる。

その後、20周年記念事業が始まり、記念誌に採録するために企画された「若手学芸員大いに語る」の対談をきっかけに始まったのが「学芸懇談会」である。昭和58年から始まったこの会合は、奇数月の第3水曜日、仕事を終えた夕方に伏見の中華料理店に集い、話題提供者が提示する学校利用やコンピュータ利用、地域との関わりなど多様な話題を議論し、近況報告するものであった(『東西南北』NO.184)。20年史の中で岩田正人氏が述べている学芸懇の理想と現実と未来像が、大変興味深い。「若手学芸員大いに語る」に登場し、学芸懇談会の常連であったみなさんは今や学芸部長となり、今回の対談においてインタビューを受ける側となっている。

また、博物館が取り扱う分野の多様性に即応するために、昭和58年には歴民部会第1回研修会部門研修会が開かれる。現在、3部門ある部門別研修会も一度に始まったわけではなく、昭和59年に美術部門研修会が始まり、平成元年から自然科学部門研修会が始まって現在に至っている。

これまで述べた事業の中で、現在でも継続しているのは「愛知の博物館」「おでかけガイド」の刊行、「博物館等職員研修会」「部門別研修会」の開催で、「東西南北」「学芸懇談会」「愛博協文化財探勝の会」などは姿を消した。

この10年の間には、平成11年の「子どもと



「愛知の博物館」64号(1996年)





「東西南北」142号(1983年)

博物館研究会」の発足・事業の展開や、平成 13年の「ホームページ研究会」の発足および愛 知県博物館協会のホームページ公開がある。 また、名古屋市博物館を会場として開催した 「いこまい!!愛知のミュージアム展」や、加盟 館全館を掲載し、書店での販売を可能にした ガイドブックの刊行は画期的であったと思 う。「ホームページ研究会」は現在も活動を継 続し、公式ホームページの充実に努めている。 「子どもと博物館研究会 | については、国庫補 助を得て実施した2つの事業の終了により、 目指すところはある程度達成したとして愛知 県博物館協会内においては休眠した。しかし、 学芸員相互の緩やかな連携を残しており、今 後、連携をすべき事態が生じた際には即座に 対応できる状況である。

加盟館130館となった現在、組織が大きくなってしまったが故に、当初の意気込みが消え成熟を終えた学会のように、愛知県博物館協会は定例化、形骸化してしまったように思う。

最近では、神奈川県博物館協会との関係を知らない世代も多くなり、愛知県博物館協会の役割や意義を問う議論も聞かれる。しかし、人間が一人で生きられないように、それぞれの組織も独りよがりでは存立しえない。高い質の展覧会や普及活動、入館者数などお互い競い合いながらも、いざというときは世間の波に一丸となって立ち向かっていけるような組織であって欲しいと思う。「形骸化」からは、何も生まれない。

学問において研究史を軽んじるのが許されないのと同様、組織においてもその設立の経緯や過程を無視して批判することは許されない。どのような経緯で愛知県博物館協会が生まれ、時代の流れとともにさまざまな研究会が生まれ、そして消えていったか。年表を眺めると、その動きや思想が非常に良くわかる。この流れは、全国的な動きにも一致するものであろう。

そして、まだ世間で「博物館」「学芸員」が知られていない時代、自館の仕事をこなしつつ、志を持って協会を取りまとめ、その存在意義を訴えてきた「人」の姿を忘れてはならない。私が学芸員になった17年前、職業を聞かれても「学芸員」とは絶対に言わなかった。説明するのが面倒なくらい、その職種は認知されていなかった。今や資格の保有が何の意味も持たないほど数多にばらまかれ、価値が下がってしまった資格である。苦労をして、博物館や学芸員を広く普及するために奔走した、感謝しても余りある先駆者は、今何を思っておられるであろうか。

『愛知県博物館協会20年史』にある廣瀬鎮氏の「愛知県博物館協会20年のあゆみ」には、現在の愛博協の組織成立の経緯が述べられている。是非とも「愛知の博物館」「東西南北」『愛知県博物館協会20年史』『愛知県博物館協会30年史』を紐解き、協会のこれからの方向性や役割を考えていきたいものである。

(一宮市博物館学芸員 久保禎子) 40周年記念誌より再掲





『活きている博物館』(2000年)



歴史部門研修会 (平成8年度 於:武豊町 歴史民俗資料館「鉄から 鉄器へ」)

博物館等職員研修会 (平成15年度 於:博物館 明治村「博覧会と博物館」)



## 昭和37年度~平成15年度までの愛知県博物館協会のあゆみ

年月日	事 項	年月日	事 項				
四和37年		10月5日	編集委員会開催、於市立名古屋科学館、第15回全国博物館大会資料作成。				
6月28~30日	犬山市の犬山ユースホステルにおいて神奈川県博物館協会と財団法人日本	10月12日	理事会・第9回学職研開催、於県文化会館、全国大会要項打合せ。				
	モンキーセンターとの間で交換研究会が開催され、神奈川県博物館協会と 愛知県下の博物館施設の交流が始まる。	11月16日	理事会開催、於県文化会館、日博協星野事務局長を囲む協議。				
		昭和42年					
和38年		1月10日	理事会開催、於県文化会館、日博協全国大会会員協力依頼他。				
月11日	日本博物館協会より東海地区ブロック会議開催の要望あり、神奈川・静岡・ 愛知・岐阜・山梨の 5 県24施設が熱海美術館にて会合、「東海地区博物館連	1 月30日	愛博連協臨時総会開催、於県文化会館、日博協全国大会要項および、役員 事務分担、参加者17名。				
	絡協議会」(以下、東海博とす) 結成。第1回総会が開催される。	2月13日	編集委員会開催、於県文化会館、定期刊行物、大会資料。				
		3月7日	編集委員会開催、於明治村、大会資料。				
1月20日	神奈川県博物館協会星野直隆事務局長(金沢文庫)より東海博に各県2名の	3 月15日	理事会開催、於県文化会館、星野事務局長と大会最終協議、参加者13名。				
	理事選出の要請がある。		昭和41年度:『愛知の博物館』No.5、6、7、8:『東西南北』No.7、8、9、発行。新加盟館園:熱田神宮宝物館、犬山城、豊田市郷土資料館。編集				
2月6日	愛知地区博物館連絡協議会結成委員会を愛知県文化会館において開催。	4月6日	員:金子功、滝本正二、木下稔、成瀬錠一、廣瀬鎮。 昭和42年度愛博連協総会・理事会および第10回学職研開催、於名古屋城、参				
和39年			加12施設20名。この折「愛知県博物館協会」(以下、愛博協とす)と名称変更。				
月16日	愛知地区博物館連絡協議会結成総会、加盟11館園にて発足、年会費 1 口500円。	4 月13日	編集委員会開催、於県文化会館。				
	理事(会長) 徳川美術館 館長 熊沢五六	4 月26日	編集委員会開催、於県文化会館。				
	理事(副会長) 愛知県文化会館 館長 魚住東洋	5 月19日	編集委員会開催、於県文化会館。				
	理事 市立名古屋科学館 事務局長 浅野正徳	5 月31日	編集委員会開催、於県文化会館。				
	理事 豊橋向山天文台 台長 金子 功	6月1日	施設要覧特集号発行。				
	理事 日本モンキーセンター学芸次長 廣瀬 鎮	6 月中旬	『東三河博物館施設案内』(24頁、色刷) 出版し、管内各学校へ配布。				
月25日	愛知地区博物館連絡協議会(以下、愛博連協とす)理事会開催、於愛知県文	6 月27~30日	第15回全国博物館大会愛知県大会開催、於名古屋市教育館、県文化会館、				
	化会館、4 施設参加、加盟館園14施設となる(徳川美術館、愛知県文化会		市立名古屋科学館。県費補助30万円。				
	館、設楽町立奥三河郷土館、市立名古屋科学館、犬山自然植物園、鳳来寺	6 月27日	開会式、記念講演、全体会議、シンポジウム。				
	山自然科学博物館、東山動物園、東山植物園、蒲郡市竹島水族館、日本モ	6 月28日	分科会、研修会。				
	ンキーセンター、豊橋向山天文台、常滑市立陶芸研究所、名古屋城管理事	6 月29日	全体会議、閉会式。				
	務所、渥美フラワーセンター)。	6 月30日	県下博物館施設見学。				
月3日	昭和39年度愛博連協総会開催、於鳳来寺山自然科学博物館、参加10施設、	7月21日	編集委員会開催、於名古屋科学館、大会報告書作製他。				
	予算額11,000円。	8月10日	編集委員会開催、於名古屋科学館、大会報告書他。				
月13~14日	東海博昭和39年度総会開催、於市立名古屋科学館(当番愛知県)	9 月13日	編集委員会開催、於熱田神宮宝物館、定期刊行物。				
)月15日	『愛知の博物館』創刊号発行。	10月13~14日	東海博昭和42年度理事会・総会参加、於岐阜県高山市公民館(当番岐阜県)				
2月3日	愛博連協職員名簿作成、配布。	11月1日	編集委員会開催、於県文化会館。				
		11月9日	理事会開催、於県文化会館、昭和43年度事業計画、昭和42年度事業報告。				
和40年	第1 回学術職員研究会 (以下、学職研とす)を明治村において開催、「神奈川		あらたに昭和43年度県費補助(30万円)交付申請を決定。				
2 月28日	第1回子州喊貝切先会(以下、子喊切こり)を明治村において開催、「神宗川 県博の学芸員研究会10年のあゆみ」(横須賀市立自然科学博物館柴田敏隆)、	昭和43年					
	明治村見学(解説伊藤昭夫)、参加者17名。	2月2日	編集委員会開催、於名古屋科学館。				
月	明石門兄子 (呼武伊藤中天)、 参加有11 石。 『東西南北』創刊号発行 (編集、愛博連協事務局、金子功他、印刷: 豊橋向山	2月20日	第1回愛博協研究会開催。於華山文庫。華山文庫・東大寺大仏殿瓦場跡等				
	天文台)。	2 7200	見学他。「渥美町一帯の植物について」「瓦場発掘について」(渥美町高平修				
月30日	理事会開催、於愛知県文化会館。		一、渡辺美吉) 昭和42年度:『愛知の博物館』No.9、10、11:『東西南北』				
5月8日	昭和40年度愛博連協総会開催、於日本モンキーセンター、犬山自然植物園。		No.11、12、13、14、15、16発行。新加盟館園豊橋市文化会館郷土資料室、				
月20日	第2回学職研開催、於市立名古屋科学館、「欧米の博物館を訪ねて」(三重		名古屋市蓬左文庫、名古屋市豊清二公顕彰館、小牧市歴史館。				
	大学椎野季雄)、参加者14名。	5 月30日	昭和43年度愛博協総会・理事会開催、於明治村、参加19施設24名。会則一				
月7日	東海博昭和40年度総会参加、於久能山東照宮(静岡)。		部改正、全国博物館週間行事として各種の事業計画が組まれる。当年度よ				
6月17~18日	第3回学職研開催、於鳳来寺山自然科学博物館(神奈川県博と交換研究会)、		り各理事館1~2名の実行委員選出をもとめ事業の充実をはかる。役員改				
	「写真応用の展示説明札の製作」(豊橋向山天文台小木曽俊義)、「長篠戦史		選により、以下のとおり新役員がきまる。				
	について」(長篠城趾史保存会会長丸山彰)、参加者14名。		理事(会 長) 徳川美術館 館長 熊沢 五六				
月26日	第 4 回学職研開催、於愛知県文化会館、「博物館法における諸問題」(徳川		理事(副会長) 県文化会館 館長 松尾 信資				
	美術館木下稔、日本モンキーセンター廣瀬鎮)、「東北の博物館をみて」(豊		理事 市立名古屋科学館 事務局長 浅野 正徳				
	橋向山天文台金子功)「第8回新象展」(解説吉川伸)、参加者10名。		理事 日本モンキーセンター 所長 宮地伝三郎				
月29日	第 5 回学職研開催、於市立名古屋科学館、「模写と復元」(徳川美術館櫻井清		理事 豊橋向山天文台 台長 金子 功				
	香)、「昭和40年学芸員研修会伝達講習」(市立名古屋科学館滝本正二、日本		理事 鳳来寺山自然科学博物館 館長 夏目 克己				
	モンキーセンター廣瀬鎮)、「徳川家康展」(解説熊沢五六)、参加者9名。		理事 博物館明治村 館長 谷口 吉郎				
			理事 豊田市郷土資料館 館長 兵藤 才市				
3和41年			理事 名古屋城天守閣管理事務所 所長 佐藤 吉正				
月4日	理事会開催、於県文化会館。		理事 熱田神宮宝物館 館長 岡本 健治				
3月2日	愛博連協編集委員会開催、『東西南北』に月予定資料、人事、諸活動記録 収録。昭和40年度:『愛知の博物館』No.2、3、4; 『東西南北』No.1、2、3、	6月6~7日	東海博昭和43年度総会参加、於富士山麓河口湖富士急ハイランドホテル (静岡県)。17施設25名参加。				
	4、5、6発行。愛博連協編集委員会設置。	9月3日	実行委員会開催、於県文化会館、文化講演会実施案他。				
5 月14日	昭和41年度総会理事会開催、第6回学職研開催、於蒲郡竹島水族館。三河	9月9・30日	パネル巡回展小委員会開催、於県文化会館、製作計画。				
	湾・乃木山・岸間コレクション等見学、参加13施設20名。	10月10~20日	第10回理科展、愛博協・日本モンキーセンターの共催で開催、於市立名古				
5 月26~27日	東海博昭和41年度理事会・総会参加、於神奈川県箱根町湯本嶺水苑。施設		屋科学館。				
	見学=箱根美術館・箱根自然博物館等。	10月10日~11月30日	愛博協パネル巡回展開催、於市立名古屋科学館、名古屋市教育館、豊田市				
7月7日	編集委員会開催、於市立名古屋科学館。		郷土資料館。				
7714		10月14日	愛博協文化講演会開催、於名古屋市教育館、「世界における日本の美術」				
	理事会開催、於県文化会館、出席 6 名、第15回全国博物館大会準備。						
7月21日 7月28日	理事会開催、於県X化会館、凸船 b 名、第15回至国牌物館大会準備。 第7回学職研開催、於名古屋市農業センター、「施設紹介」(横井弥市)。	10/31114	(谷川徹三、村井国男)。				
7月21日 7月28日		10月					
7 月21日	第7回学職研開催、於名古屋市農業センター、「施設紹介」(横井弥市)。		(谷川徹三、村井国男)。				

年月日	事項	年月日	事項
	催、徳川美術館・蓬左文庫・豊清二公顕彰館・甚目寺・尾張国分寺収蔵 庫・妙興寺、外2施設見学、参加者30名。	8月11日	理事会開催、於県文化会館。ガイドブック『愛知の博物館』作成のため編 集委員会を組織する。
12月5~6日	県外研修会開催、鎌倉国宝館・葉山観光館・油壺水族館・城ケ島町立博物館・横須賀市立博物館・記念艦三笠・横浜海洋科学博物館・神奈川県立博	8 月25日 12月14日	ガイドブック編集委員会開催、於県文化会館。 ガイドブック編集委員会開催、於県文化会館。
	物館等見学。参加15施設22名。		
昭和44年		昭和47年	
1 月28日	第 2 回愛博協研修会開催、於豐橋向山天文台、展示用説明札製作実技講習会、参加12施設17名。 第 3 回実行委開催、定期刊行物。	1月21日 3月8日	ガイドブック編集委員会開催、於県文化会館。 愛博協県内研修会(学職研修)開催、於明治村、「資料の整理分類研究」(熱 田神宮太田正弘)、「韓国の博物館をめぐって」(金子功)、参加8施設10名。
2月12日 3月1日	実行委員会開催、於県文化会館、昭和44年度事業計画、東海博総会他。 理事会開催、於県文化会館、昭和43年度事業報告、昭和44年度事業計画他。	3 月23日	ガイドブック編集を身会開催、於県文化会館。 昭和46年度:「東西南北」No.44~55:「愛知の博物館」No.18発行。
	昭和43年度:『愛知の博物館』No・12、13:『東西南北』No・17、18、19、	5 月24日	昭和47年度愛博協総会・理事会開催、於切支丹遺蹟博物館、参加18施設23名
	20:『第15回全国博物館大会学芸員懇談会記録』発行。新加盟館園: 真福寺 文庫、加盟24館園となる。	7月14日 9月9日	理事会開催、於県文化会館、当年度事業分担等について。 東海博昭和47年度総会参加、於郡上郡明方村中央公民館(当番岐阜県)。シ
4 月24日	昭和44年度愛博協総会・理事会開催、於鳳来寺山自然科学博物館、参加26施設。		ンポジウム「現在の博物館における問題点」他。
4 月28日	実行委員会開催、於県文化会館、研修会・定期刊行物・文化財探勝の会他。	10月11日	愛知・岐阜両県博物館協会合同学芸職員研修会開催、於内藤記念くすり資
5 月22~23日	東海博昭和44年度総会開催、於日本モンキーセンター附属博物館・明治村 (当番愛知県)。		料館、「台湾国立博物館の展示」(金子功)、「ソウィエト宗教博物館をめぐる焼 身自殺、民族自決論」(吉田幸平)、「教育活動」(三輪克)、参加15施設22名。
9 月中旬	全国博物館週間にちなみ、「愛知県博物館要図」を県下公立小中高校1,200 余校に配布。	11月26日	愛博協「東三河文化財探勝の会」開催、豊川市三明寺・大原業業資料館・ 鳳来町長篠城趾史蹟保存館・馬の背岩・鳳来寺山東照宮を見学。参加者中
9 月23日	全国博物館週間行事として、西三河の小中学校教諭47名を招待して、第2回文化財探勝の会開催、華蔵寺・大樹寺・豊田市郷土資料館を見学。		学校教諭その他43名。
9月25日	実行委員会開催。  感爾拉文傑「愛知の爾施婭屋」 関係 故久土屋科学館 桑加90旅乳 後	昭和48年	惑屈切び枚入用歴 弘劫口気空亡入達空 進むへ、「やゆっれ去」 サカニナ
10月1~5日	愛博協主催「愛知の博物館展」開催、於名古屋科学館、参加20施設。後 援:毎日新聞社、愛知県・名古屋市教育委員会。 実行委員会開催。	1 月23日	愛博協研修会開催、於熱田神宮庁会議室。講演会:「美術の保存と陳列」(奈 良国立博物館蔵田蔵)、「正倉院の歴史と宝物」(蔵田蔵)、「正倉院宝物の工 芸技術」(荒川浩和)、参加8施設16名。
11月26~27日	果凡安只云阴雁。 県外研修会開催、京都国立博物館·京都府立総合資料館·白鶴美術館·明 石天文科学館他を見学。参加者11名。		昭和47年度:壁新聞配布、『東西南北』No.56~67:『愛知の博物館』No.19発行。ガイドブック『愛知の博物館』3,000部増刷。
	石八人鬥子時間を元子。 参加有11石。	5 月29日	昭和48年度愛博協総会・理事会開催、於博物館明治村。
昭和45年		7月12~13日	東海博昭和48年度総会開催、於愛知県三谷町あゆち荘(当番愛知県)、鳳来
2 月25日	実行委員会開催、於県文化会館。		寺山自然科学博物館・長篠城趾史跡保存館見学。
3 月20日	愛博協研修会開催、於名古屋科学館、「メモモーションカメラによる見学	9月13~14日	愛博協研修会開催、於東栄町御園天文科学センター、「展示はいかにある
	者行動調査」、「カーネギー博物館の教育活動」(廣瀬鎮)、参加7施設20名。 昭和44年度: 壁新聞配布、「愛知県博物館要図」作成し県下公立小中学校		べきか、どんなものが望ましいか、製作の要点は?」(東海地区博物館連絡 協議会と共催)。
	(1,200校)へ配布、ガイドブック『愛知の博物館』改訂版を作成し加盟館	9 月21日	理事会開催、於県文化会館、当年度事業分担について。
	園等へ配布、『東西南北』No.21~31:『愛知の博物館』No14、15、16発行。	11月29日	名古屋タイムズ、加盟館園29館の紹介掲載。
4 月14日	昭和45年度愛博協総会・理事会開催、参加20施設。役員改選。	12月14日	東海地区科学施設協議会研究会と共催で学芸員養成研修会開催、於県立図
	理事(会長) 徳川美術館 館長 熊沢五六		書館視聴覚室。講義:博物館学(廣瀬鎮)、教育原理(滝本正二)、社会教育
	理事(副会長)     県文化会館     館長     松尾信資       理事     市立名古屋科学館     館長     久恒中陽		概論(小堀勉)。 9 施設29名参加。
	理事     市立名古屋科学館     館長     久恒中陽       理事     日本モンキーセンター     館長     田中利男	昭和49年	
	理事 博物館明治村 館長 谷口吉郎	3月10日	文化財探勝の会開催、常滑市立陶芸研究所・野間大坊・岩屋寺・貝殻公園
	理事 豊田市郷土資料館 館長 兵藤才市	0 73 10 11	を見学。参加者:名古屋市内小中学校教諭その他38名。
	理事		昭和48年度:「愛知県博物館・遺蹟地図」県下中高校に配布。『東西南北』
	理事 熱田神宮宝物館 館長 岡本健治		No.68~79;『愛知の博物館』No.20発行。
	監事 名古屋城管理事務所 所長 河口武富	5 月17日	昭和49年度愛博協総会・理事会開催、於田原博物館(華山文庫)。理事補充
	監事 切支丹遺蹟博物館 館長 佐藤 一		(会則―部変更)、9 館園とする。新たに、理事、御園天文科学センター所
5月19~20日	東海博昭和45年度総会参加、於神奈川県立博物館(当番神奈川県)。		長金子功を選任、他は留任。参加18施設23名。
6月11日	理事会開催、於県文化会館、当年度事業分担について協議。	7月8~9日	東海博昭和49年度総会参加、於甲府市紫玉えん (山梨県) 富士ビジターセン
8月28日	実行委員会開催、於県文化会館。	7 8000	ター見学。
9月2日	実行委員会開催、於県文化会館、「あいちの博物館展」につき打合せ。 名鉄メルサ6階通路にて「レッツゴーミュージアム」展開催、参加25施設。	7月30日 9月30日	実行委員会開催、於県文化会館。 理事会開催、於県文化会館。
10月 9 ~14日	名鉄メルザ 6 階通路に (   レッツコーミューンアム ] 展開催、参加250地設。 伊良湖自然科学博物館入会。	9 月30日 12月13~14日	理事会開催、於県文化会盟。 第 2 回学芸員養成研修会開催、於県立図書館視聴覚室。講義:博物館学(柴
12月11日	<ul><li>受博協第1回学芸職員研修会(以下、学職研修とす)開催、於豊田市郷土資</li></ul>	147 137 147	第 2 回子云貝養成研修云開催、於県立図書館祝禮見主。講義: 博物館子 (宋 田敏雄) 、教育原理(滝本正二)、社会教育概論 (康瀬鎮)。
	料館、「博物館における資料の整理・分類カードについて」(講演)、「欧米の博物館」(名古屋科学館稲月光)、参加4施設11名。	昭和50年	
12月	荒木集成館が入会。	3月16日	文化財探勝の会開催、徳川美術館・明治村を見学。参加者:名古屋・尾張部
昭和46年			小中学校教諭その他31名。昭和49年度:県内博物館パンフレッか作成、県下博物館案内をホテルに配布。「東西南北」No.80~91;「愛知の博物館」No.21発行。
3 月20日	愛博協第 2 回学職研修開催、於常滑市立陶芸研究所、『博物館事務資料を めぐって』(日本モンキーセンター三戸幸久)、「福岡県直方市のサルの石像」	5月7日	昭和50年度愛博協総会·理事会開催、於熱田神宮宝物館、愛博協会費改訂 (規約一部改正)、参加30名。
	(廣瀬鎮)、「照明について」(名古屋科学館三輪克)、「常滑古陶について」 (常滑市立陶芸研究所所沢田由治)、参加6 施設11名。	6 月17~18日	東海博昭和50年度総会参加、於箱根まとい荘(当番神奈川県)、大湧谷自然博物館・箱根神社宝物館等見学。
	昭和45年度:壁新聞配布、「愛知県博物館要図」、ガイドブック『愛知の博	6 月25日	実行委員会開催、於県文化会館、当年度事業打合せ等。
	物館』増刷、『東西南北』No.32~43、『愛知の博物館』No.17発行。	7月4日	実行委員会開催、於県文化会館。
4 月	財団法人岩田洗心館入会。	8 月	『東西南北』No.96より、編集が県文化会館から御園天文科学センターに移管。
5 月28日	昭和46年度愛博協総会・理事会開催、於豊田市立図書館。	9 月20~21日	愛博協研修会開催、於御園天文科学センター、テーマ: 「地域社会と博物
6 月22~25日	県外研修会開催、北方文化博物館・佐渡博物館・相川郷土博物館・長岡市		館」(日本博物館協会と共催)。
_	郷土資料館・長岡市立科学博物館を見学。参加 6 施設16名。		

7月1日 東海博昭和46年度総会参加、於東海大学海洋科学博物館(当番静岡県)。

1 日	年月日	事項	年月日	事項
1.4 日本	昭和51年		11月9~10日	愛知県文化振興会議参加、於粵三河郷土館。 講演: 「博物館登録指定申請に
1月		博物館学セミナー開催、於日本モンキーセンター、「博物館と社会教育の	,, 0	
1.4 日本		相関」(廣瀬鎮)、「現代学芸員論」(福永重樹)、「自然動物園と教育活動」(水		町文化施設の概要」
1.   1.   1.   1.   1.   1.   1.   1.		原洋城)、日本モンキーセンターと共催。	11月14~15日	第2回両県交換会参加、於鳥羽市海の博物館(当番三重県)、「伊勢神宮の式
	1 月27日	実行委員会開催、於県文化会館。		年遷宮と御装束神宝」(鈴木義一)、「高齢者対象の科学知識普及活動の実践」
1	2 月23~24日			摩マリンランド・お伊勢まいり資料館・神宮徴古館・農業館を見学。
1.   1.   1.   1.   1.   1.   1.   1.	2 B 17 D		昭和日2年	
1 日 1 日 日	3 H 1/ E			受価協夫彰規程につき替否を問い 替成93加盟範圍により成立
	5 月10日			
押4   現る   現の	5 月28日	昭和51年度愛博協総会開催、於蒲郡フラワーパーク。新役員選出。		昭和52年度: 『東西南北』 No.104~115; 『愛知の博物館』 No.24発行、パンフ
		顧問 熊沢 五六		レット「みんなで博物館へ行こう」県下公立中学校、市町村教委へ配布。
押機				
			5 月10日	
Page				
Page				
中の				
理解				
現場   現場市   現場市   東北市   平田の   平田の		理事 荒木集成館 館長 荒木 実		委員の留任と、あらたに御国天文科学センターの竹ノ内昭夫を追加決定。ま
理解		理事 豊田市郷土資料館 館長 宮川 明男		た、昭和53年度東海博表彰へ御園天文科学センター所長金子功を推薦するこ
		理事 鳳来寺山自然科学博物館 館長 大原 廣		とに決定。参加21施設27名。
			5 月19日	
おいまり   1月10日   1月11日   1月10日   1月10日   1月10日   1月10日   1月10日   1月10日   1月10日   1月11日   1月1日日   1月1			6 月14~15日	
中国			11 8 10 8	
日本				
特別			12/3 4 0 1	
他川京南館   本下   色   一般   一般   一般   一般   一般   一般   一般		市立名古屋科学館 三輪 克		営方針」(荒木実)、「海を守る運動」(石原義剛)、「瑞浪市化石博物館の現状」
名古馬市博物館(股税   下海   下海   下海   下海   下海   下海   下海   下		博物館明治村 海老沢立志		(渡辺俊典)、瀬戸陶土採掘場→瀬戸市歴史民俗資料館→愛知県陶磁資料館
		徳川美術館 木下 稔		を見学。(岐阜県の参加により両県交換会を三県交流会に改める)
新一時報記令〈中り資料館・岐阜城寺見突・   2月2日   表彰選考委員会開催、於泉文 (全病、				There is the control of the control
予月29日	6月8~9日			
情協今井良能、「博物館活動について」(全子功、廣瀬館)、「字芸員試験について」(金子功、廣瀬館)、「字芸員試験について」(金子功、廣瀬館)、「字芸員試験について」(金子功、廣瀬館)、「子芸員会職能、幹私で名」だ。「持ち続きの職能、終現、立図書館、「博物館学」(三輪党、「社会教育機 前。「陳瀬館)、「博物館における業務について」(金子功)。	7 日29日			
10月8日   17-1 (鈴木睦美)   17-2 (	. ,,,,,,,		073.1.4	
To		いて」(鈴木睦美)。		ブック『愛知の博物館』を県下高校、名古屋市内小中学校、市町村教委へ
新型	10月8日	実行委員会開催、於県文化会館。		配布。新加盟館園:昭和美術館・鈴木そろばん博物館・瀬戸市歴史民俗資料
<b>昭和52年</b> - 1,4 日	10月14日			
取り		論」(廣瀬鎮)、「博物館における業務について」(金子功)。	5 月11日	
2月4日         実行委員会開催、菸県文化会館。         実施費 大山城管理事務所         岩田勝巳           2月14~15日         文化財援聯の会(第 1 回愛知県・三重県博物館協会交換研究会)開催、於名 古屋域、「東米町における文教の里づくり」(金子功)、「盗難体験談」(寺内 貞御)、名古屋市 だけ物館建設現場見学。         15周年記念表彰 御園天文科学センター 金子 功 15周年記念表彰 御園天文科学センター 金子 功 15周年記念表彰 御園天文科学センター 疾補 鎮 明和51年度:「東西南北」No.101~103「愛知の博物館」No.23発行。 ガイドブゥク「愛知の博物館」駅下公広銘校、市町村教委配布。         昭和52年度実行委員会の委嘱は留任。新規入会:豊橋市美術博物館・名古 居住見晴合考古財料館・満部市塞上資料館。           4月         リーフレット「みんなで博物館へ行こう」を作製。         5月12~13日         屋柱見晴合考古財料館・済部・監上資料館。           5月20日         昭和52年度受博協総会・理事会開催、於県文化会館、11施設は名参加。爰 和県海磁資料館・香磁深とセンター・3コタ南方民族美術館が入会。昭 6月27日 和52年度実行委員は以下のとおり。 6月27日 日本モンキーセンター 廣瀬 鎖 市立名古屋科学館 滝本 正二 財団法人荒木集成館 荒木 実 11月12~13日 日本モンキーセンター 廣瀬 鎖 市立名古屋科学館 滝本 正二 財団法人荒木集成館 荒木 実 11月12~13日 名古屋科学館 海本 正土財団・新穂 海田 朝穂 長文化会館 川島 敏一 一切・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	With Coff			
2 月14~15日         文化財採務の会(第 1 回愛知県・三重県博物館協会交換研究会)開催、於名         「契前官         日本モンキーセンター         山川崎彦           1 石屋城、東宋町における文教の里づくり」(金子功)、「盗難体験談(寺内 真別)、名古屋市立博物館建設現場之字。         15周年記念表彰         相区文科学センター         金子功           6 月20日         昭和51年度:「東西南北」No.101~103 「愛知の博物館」No.23発行。         日本モンキーセンター         廣瀬 鎮           4 月         リーフレット「みんなで博物館へ行こう」を作製。         5 月12~13日 標地部に、 東海博留所能会開催、於東宋町御園天文科学センター、テーマ:「地域社会と 博物館」。         受情協研修会開催、於東宋町御園天文科学センター、テーマ:「地域社会と 博物館」。           5 月20日         知馬陶蔵資料館・香臓深心ゼセンター・コラ南方医族美術館が入会。昭 有82年度東行委員は以下のとおり。         6 月27日 東海博昭初54年度総会参加、於山梨県立美術館(当番山梨県)。           日本モンキーセンター 療瀬 鎖 市立名古屋科学館 清本 正 開閉法人院本集成館 第本 王 財団法人院本集成館 第本 王 財団法人院本集成館 第本 王 田 財団法人院本集成館 第本 王 田 財団法人院本集成館 第本 里 11月12~13日 第2日三県交流会参加、於内藤記会(すり博物館)当番岐阜県)。3名研究発表 博物館明治村 海を沢立会館 12月12日 愛博協研修会・東京化議興会議共催、於県南総資料館、30名参加・ 12月12日 東京化会館         第2日三県交流会参加、於県南総資料館、30名参加・ 3名研究発表 2月27日 表彰選考委員会開催、於県文化会館。           6 月9~10日 東藤博昭協会全検研究会(以下、両県交換会とす)を今後も継 統することを決定。         1月28日 愛博協研修会・県文化無興会議共催、於州田神宮宝物館、 2月27日 表彰選考委員会開催、於泉文化会館。         1月28日 表彰選考委員会開催、於県文化会館。           6 月24日 実行委員会開催、於県文化会館会参加、於熱川バナナワニ園当番前関県)。浜松市美 衛衛、兵長、大田・田・野・東京博館・京社・No.124~131・受知の博物館」No.26発行。 4月26日 実行委員会開催、於財文市民俗資料館、参加25施設3施設3・加25施設3・加25施設3・加25施設3・利25・加25・施設3・加25・加25・施設3・加25・施設3・加25・施設3・加25・加25・施設3・加25・施設3・加25・加25・加25・施設3・加25・加25・加25・加25・加25・加25・加25・加25・加25・加25		宝石禾昌今恩傑 故祖文化今館		
古屋城、「東梁町における文教の里づくり」(金子功)、「盗難体験談」(寺内 貞朔)、名古屋市立博物館建設現場見学。				
・	- 77			
ガイドブック『愛知の博物館』県下公立高校、市町村教委配布。		貞顕)、名古屋市立博物館建設現場見学。		15周年記念表彰 日本モンキーセンター 廣瀬 鎮
4月       リーフレット「みんなで博物館へ行こう」を作製。       5月12~13日       愛博協研修会開催、於東東町御園天文科学センター、テーマ:「地域社会と 博物館」。         5月20日       昭和52年度愛博協総会・理事会開催、於果文化会館、11施設14名参加。愛 知果陶磁資料館・香嵐深へビセンター・ヨコタ南方民族美術館が入会。昭 和52年度実行委員は以下のとおり。       6月27日       東海博昭和54年度総会参加、於山梨県立美術館(当番山梨県)。         4月27日       第7ドブック「愛知の博物館」改訂版発行、1,000部。       10月       ガイドブック「愛知の博物館」改訂版発行、1,000部。         日本モンキーセンター 廣瀬 鎮 市立名占屋科学館 流本 正       第本 正       11月12~13日       第2回三県交流会参加、於内藤記念くすり博物館(当番岐阜県)。3名研究発表。博物館明治村 海老沢立志         12月12日       愛博協研修会・実行委開催、於県南磁資料館、30名参加。         4右占屋市博物館 西田 躬穂 県文化会館 期后 敏徳       西田 躬穂       要博協研修会・果文化振興会議共催、於県西神宮宗物館。         東文化会館 和局 軟       1月28日       愛博協研修会・県文化振興会議共催、於熱田神宮宗物館。         第79~10日 表彰選考委員会開催、於県文化会館。       1月28日       愛博協研修会・県文化長興会議共催、於熱田神宮宗物館。         6月24日 実行委員会開催、於県文化会館・       5月20日       昭和54年度:東西南北」No.124~131:「愛知の博物館」No.26発行。         6月24日 実行委員会開催、於県文化会館・       5月20日       昭和55年度受博協総会・理事会開催、於知专市民俗資料館・参加25施設3         6月24日 実行委員会開催、於県文化会館・       5月20日       昭和55年度更博協総会・理事会開催、於知专市民俗資料館・参加25施設3         9月19日 実行委員会開催、於県文化会館・       要博協第3回表彰         11月4日       理事会開催、於県文化会館・       要博協第3回表彰		昭和51年度:『東西南北』No.101~103:『愛知の博物館』No.23発行。		昭和54年度実行委員会の委嘱は留任。新規入会:豊橋市美術博物館・名古
5月20日       昭和52年度愛博協総会・理事会開催、於県文化会館、11施設14名参加。愛知県商磁資料館・香嵐渓へビセンター・ヨコタ南方民族美術館が入会。昭和52年度実行委員は以下のとおり。       6月27日       東行委員会開催、於県文化会館。         和852年度実行委員は以下のとおり。       6月27日       実行委員会開催、於県文化会館。         日本モンキーセンター 廃瀬 鎮市立名古屋科学館 流本 正二財団法人荒木集成館 荒木 実		ガイドブック『愛知の博物館』県下公立高校、市町村教委配布。		屋市見晴台考古資料館・蒲郡市郷土資料館。
知県陶磁資料館・香嵐渓ヘビセンター・ヨコタ南方民族美術館が入会。昭			5 月12~13日	
和52年度実行委員は以下のとおり。	5 月20日		0.55	- 111 - <del>-</del>
御園天文科学センター   金子   功   10月   ガイドブック [愛知の博物館] 改訂版発行、1,000部。   日本モンキーセンター   廃補   鎮   京本   正二   財団法人荒木集成館   荒木   実行委員を開催、於県、南磁会を換研究会(以下、両県交換会とす)を今後も継   1月12年13日   愛博協研修会・実行委開催、於県陶磁資料館、30名参加。   1月12年13日   愛博協研修会・実行委開催、於県陶磁資料館、30名参加。   1月12日   愛博協研修会・実行委開催、於県陶磁資料館、30名参加。   1月12日   愛博協研修会・実行委開催、於県陶磁資料館、30名参加。   1月12日   受博協研修会・実行委開催、於県陶磁資料館、30名参加。   1月12日   1月				
日本モンキーセンター 廣瀬 鎮 市立名古屋科学館 滝本 正二 財団法人荒木集成館 荒木 実 11月12~13日 第2回三県交流会参加、於内藤記念くすり博物館(当番岐阜県)。3名研究発表。 博物館明治村 海老沢立志 12月12日 愛博協研修会・実行委開催、於県陶磁資料館、30名参加。 名古屋市博物館 西田 躬穂 県文化会館 川島 敏一 昭和55年 愛知県・三重県博物館協会交換研究会(以下、両県交換会とす)を今後も継 続することを決定。 1月28日 愛博協研修会・県文化振興会議共催、於熱田神宮宝物館。 2月27日 表彰選考委員会開催、於県文化会館。 昭和54年度:『東西南北』No.124~131:『愛知の博物館』No.26発行。 4稲6・久能山東照宮博物館等見学。 5月20日 昭和55年度愛博協総会・理事会開催、於知多市民俗資料館。参加25施設346月24日 実行委員会開催、於県文化会館。 4名。規約一部改正。 受博協第3回表彰 11月4日 理事会開催、於県文化会館。 ※明協第3回表彰 ※部佳子				
市立名古屋科学館   滝本 正二			1073	7 1 1 7 7 7 1 32 AND HET WARD SCHOOL
財団法人荒木集成館   荒木   実行委員会開催、於県文化会館、愛博協表彰規程につき協議、マスプロ電工美   11月12~13日   第2回三県交流会参加、於内藤記念くすり博物館(当番岐阜県)。3名研究発表。   12月12日   愛博協研修会・実行委開催、於県陶磁資料館、30名参加。   12月12日   愛博協研修会・実行委開催、於県陶磁資料館、30名参加。   12月12日   愛博協研修会・実行委開催、於県陶磁資料館、30名参加。   12月12日   愛博協研修会・東文化振興会議共催、於熱田神宮宝物館・   1月28日   愛博協研修会・県文化振興会議共催、於熱田神宮宝物館・   2月27日   表彰選考委員会開催、於県文化会館・   1月28日   2月27日   表彰選考委員会開催、於県文化会館・   昭和55年度愛博協総会・理事会開催、於知の博物館』No.26発行・   1月28日   昭和52年度総会参加、於熱川バナナワニ園(当番静岡県)。浜松市美   1月28日   昭和54年度:『東西南北』No.124~131:『愛知の博物館』No.26発行・   1月28日   日本の本に、   1月28日   日本の本・   1月28日   日本の本に、   1月28日   日本の本に、   1月28日   日本の本に、   1月28日   日本の本に、   1月28日   日本の本に、   1月28日   日本の本に、   1月28日   1月28日   日本の本に、   1月28日   1月28日				
名古屋市博物館 西田 躬穂 現文化会館 川島 敏一 <b>昭和55年</b> 愛知県・三重県博物館協会交換研究会(以下、両県交換会とす)を今後も雑 1 月28日 愛博協研修会・県文化振興会議共催、於熱田神宮宝物館。 参加することを決定。 2 月27日 表彰選考委員会開催、於県文化会館。 6 月 9 ~ 10日 東海博昭和52年度総会参加、於熱川バナナワニ園(当番静岡県)。浜松市美 昭和54年度:『東西南北』No.124~131:『愛知の博物館』No.26発行。 昭和54年度:『東西南北』No.124~131:『愛知の博物館』No.26発行。		財団法人荒木集成館 荒木 実	11月12~13日	第2回三県交流会参加、於内藤記念くすり博物館(当番岐阜県)。3名研究発表。
<b>昭和55年</b> 愛知県・三重県博物館協会交換研究会(以下、両県交換会とす)を今後も総 続することを決定。       1 月28日 2 月27日       愛博協研修会・県文化振興会議共催、於熱田神宮宝物館。 表彰選考委員会開催、於県文化会館。         6 月 9 ~10日       東海博昭和52年度総会参加、於熱川バナナワニ園(当番静岡県)。浜松市美 術館・久能山東照宮博物館等見学。       5 月20日 5 月20日       昭和54年度:「東西南北」No.124~131;「愛知の博物館」No.26発行。 昭和55年度愛博協総会・理事会開催、於知乡市民俗資料館。参加25施設34 名。規約一部改正。 受博協第 3 回表彰         9 月19日       実行委員会開催、於県文化会館。       名。規約一部改正。 受博協第 3 回表彰         11月 4 日       理事会開催、於県文化会館、愛博協表彰規程につき協議、マスプロ電工美       功労賞       徳川美術館       跡部佳子		博物館明治村 海老沢立志	12月12日	愛博協研修会・実行委開催、於県陶磁資料館、30名参加。
愛知県・三重県博物館協会交換研究会(以下、両県交換会とす)を今後も維 統することを決定。       1月28日 2月27日 表彰選考委員会開催、於県文化会館。       愛博協研修会・県文化振興会議共催、於熱田神宮宝物館。         6月9~10日 東海博昭和52年度総会参加、於熱川バナナワニ園(当番静岡県)。浜松市美 術館・久能山東照宮博物館等見学。       昭和54年度:『東西南北』No.124~131:『愛知の博物館』No.26発行。         6月24日 9月19日 実行委員会開催、於県文化会館。       5月20日 名。規約一部改正。 愛博協第3回表彰         11月4日       理事会開催、於県文化会館、愛博協表彰規程につき協議、マスプロ電工美       功労賞       徳川美術館       跡部佳子				
続することを決定。   2月27日   表彰選考委員会開催、於県文化会館。   取事博昭和52年度総会参加、於熱川バナナワニ園(当番静岡県)。浜松市美術館・久能山東照宮博物館等見学。   5月20日   昭和55年度愛博協総会・理事会開催、於知多市民俗資料館。参加25施設34   6月24日   実行委員会開催、於県文化会館。   名。規約一部改正。   愛博協第3回表彰   11月4日   理事会開催、於県文化会館、   要付委員会開催、於県文化会館、   理事会開催、於県文化会館、   要付委員会開催、於県文化会館、   で関格を表現程につき協議、マスプロ電工美   功労賞 徳川美術館   跡部佳子				The broken and the second seco
6月9~10日       東海博昭和52年度総会参加、於熱川バナナワニ園(当番静岡県)。浜松市美術館・久能山東照宮博物館等見学。       昭和53年度愛博協総会・理事会開催、於知多市民俗資料館。参加25施設34         6月24日       実行委員会開催、於県文化会館。       名。規約一部改正。         9月19日       実行委員会開催、於県文化会館。       愛博協第3回表彰         11月4日       理事会開催、於県文化会館、愛博協表彰規程につき協議、マスプロ電工美       功労賞       徳川美術館       跡部佳子				
### *# *# *# *# *# *# *# *# *# *# *# *#	6日0~10日		2 H2/日	
6月24日       実行委員会開催、於県文化会館。       名。規約一部改正。         9月19日       実行委員会開催、於県文化会館。       愛博協第3回表彰         11月4日       理事会開催、於県文化会館、愛博協表彰規程につき協議、マスプロ電工美       功労賞 徳川美術館       跡部佳子	0 79 9 10日		5 月20日	
9月19日       実行委員会開催、於県文化会館。       愛博協第3回表彰         11月4日       理事会開催、於県文化会館、愛博協表彰規程につき協議、マスプロ電工美       功労賞       徳川美術館       跡部佳子	6 月24日		,===	
術館・古橋懐古館が入会。	11月4日	理事会開催、於県文化会館、愛博協表彰規程につき協議、マスプロ電工美		功労賞 徳川美術館 跡部佳子
		術館・古橋懐古館が入会。		功労賞 市立名古屋科学館 山田 博

年月日	事項	年月日	事項
	奨励賞 博物館明治村 小村幸男		荒木集成館 荒木 実
	奨励賞 徳川美術館 佐藤豊三		市立名古屋科学館 三輪 克
6 月26~27日	昭和55年度東海博総会参加、於神奈川県立博物館(当番神奈川県)。		知多市民俗資料館 浅井 紀子
7月31日 9月29~30日	実行委開催。於県文化会館。 第 3 回三県交流会参加、於三重県厚生年金休暇センター(当番三重県)。研		<ul><li>徳川美術館</li><li>木下 稔</li><li>名古屋市博物館</li><li>安達 厚三</li></ul>
9 А29 - 30 Ц	究発表3名、伊勢神宮参拝・金剛証寺宝物館等見学。		名古屋市博物館 安達 厚三 日本モンキーセンター 廣瀬 鎮
11月5~6日	愛博協県外研修開催、奈良国立博物館「正倉院展」および奈良県橿原考古		博物館明治村 海老沢立志
	学研究所附属博物館を見学。参加 5 施設8名。		愛知県文化会館 礒野 英男
12月4日	実行委員会開催、於県文化会館。		岩田洗心館 岩田 正人
man cor			愛博協事務局は以下のとおり。
昭和56年 3月3日	愛博協表彰選考委員会開催、於県文化会館。		愛知県陶磁資料館 三輪 昭三 愛知県陶磁資料館 峰 一臣
0,701	昭和55年度:『愛知の博物館』No.27,28,29発行。大府市歴史民俗資料館入会。		愛知県陶磁資料館 山田 銀一
4月7日	実行委員会開催、於県文化会館、愛博協総会日程、昭和56年度事業計画、	7月2日	実行委員会開催、於県陶磁資料館、実行委の在り方・事業分担(分担は以下の
	愛博協研修会等。		とおり) 等。
4 月30日	昭和56年度愛博協総会・理事会開催、於岩田洗心館。参加27施設32名。		総務担当 三輪、岩田 会則の検討・調査企画立案
	愛博協第 4 回表彰 功労賞 市立名古屋科学館 平沢康男		研修会担当 浅井、海老沢、荒木 企画立案実施 三県交流会担当 浅田、廣瀬 企画・広報・参加勧誘
	功労賞 名古屋市博物館 西田躬穂		東海博担当 全員 58年度は愛知県が当番県
	奨励賞 博物館明治村 大崎宗雄		編集委員 山田、礒野、安達 『愛知の博物館』その他
	奨励賞 知多市民俗資料館 山原紀子		総括責任者 金子功、中保進
	新規加盟:財団法人桑山清山会桑山美術館·豊橋市地下資源館(加盟44館園)。	0.844.5	東海博の在り方・日程、愛博協研修会日程等。15名出席。
6月1日	図/。 ガイドブック『愛知の博物館』改訂版発行 (1,600部)。	8月11日 9月8~9日	実行委員会開催、於県陶磁資料館、東海博、愛博協研修会等。11名出席。 愛博協研修会開催、於知多市民俗資料館。テーマ:「ものの見せ方」、司
6月4~5日	愛博協研修会開催、於鳳来町開発センター・若松屋旅館。講演「設楽原決	07,0 04	会:明治村海老沢立志、意見発表者:市立名古屋科学館三輪克、桑山美術
	戦場について」(長篠城跡史蹟保存館館長丸山彰)、設楽原古戦場跡見学、シ		館桑山康幸、知多市民俗資料館浅井紀子、講演:国友俊太郎(国友デザイン
	ンポジウム「資料の保存と展示」(意見発表:豊橋市地下資源館家田健吾、ヨ		研究所所長)、知多市民俗資料館・常滑市立陶芸研究所・常滑市立民俗資
	コタ南方民族美術館横田正臣、名古屋市博物館上村喜久子、知多市民俗資 料館浅井紀子)	9 月22日	料館・野間大坊・南知多ビーチランド等見学。16施設27名参加。
6 月25~26日	東海博昭和56年度総会参加、於瑞浪市化石博物館(当番岐阜県)。	9 月22日	実行委員会開催、於県陶磁資料館、三県交流会、20周年記念事業について。 11名出席。
9月3日	実行委員会開催、於県文化会館、三県交流会実施案、『愛知の博物館』	10月4~5日	三県交流会参加、於岐阜県立博物館(当番岐阜県)。テーマ: 「博物館は来
	No.31、32発行について。		館者のニーズにいかに応えているか」、意見発表者:三重県・鳥羽水族館片
11月22~23日	第4回三県交流会研究会開催、於東栄町清学山荘(当番愛知県)。研究発表		岡照男、愛知県・蒲郡市郷土資料館小笠原久和、岐阜県・岐阜県博物館小
	3 名、「長滝の延年 (花奪祭)」(岐阜県、若宮修古館長若宮多聞)他、講演 「花祭について」(前東栄町文化財委員佐々木亀鶴)、東栄町月の花祭見学、	10月8日	野木三郎。施設見学=美濃和紙手漉場·新長谷寺·日本刀鍛錬場。 理事会開催、於県陶磁資料館、昭和57年度事業推進状況、昭和58年度以降
	東栄町立博物館・花祭会館・ヨコタ南方民俗美術館・長篠城跡史蹟保存館	1077 0 11	の基本方針、県費補助打切善後策、規約改正(実行委員会の明文化、書記・
	の見学。		会計の新設、会費の改訂)他。12名出席。
		10月26日	実行委員会開催、於県陶磁資料館、昭和58年度事業方針案、愛博協加盟勧
昭和57年 2月25日	愛博協研修会、県文化振興会議と共催、於県婦人文化会館。	11月11日	誘運動の実施案、県内博物館実態アンケート他。15名出席。 加盟勧誘の依頼実施。
3月10日	理事会・表彰選考委員会開催、於県文化会館、総合日程等。	11月26日	実行委員会開催、於県陶磁資料館、勧誘運動推進状況、実態調査、20周年
	昭和56年度:『愛知の博物館』No.30、31発行。		記念事業、愛博協と加盟館園との情報伝達の円滑化(事務局通信の復活)県
4 月24日	半田市郷土資料館入会。		との共催による昭和58年度愛博協職員研修会について。
4月27日	実行委員会開催、於県文化会館、昭和57年度事業計画等。	12月22日	実行委員会開催、於県文化会館、昭和58年度事業計画、東海博日程等(愛
5 月25日	昭和57年度愛博協総会·理事会開催、於大府市歷史民俗資料館、参加30施 設39名。		知県当番)、20周年記念『愛博協20年のあゆみ』編集委員の決定について 他。11名出席。
	愛博協第 5 回表彰	昭和58年	140 14 HP-17110
	功労賞 荒木集成館 荒木 実	1 月13日	県内博物館施設実態調査の実施(~2月10日まで)
	奨励賞 鳳来寺山自然科学博物館 松井 保	1 月27日	実行委員会開催、於県文化会館、「歴史民俗資料館等の活動を考える」研究
	役員改選により、下記のとおり決定。 理事(会 長) 県陶磁資料館 館長 奥田信之		会(以下、歴民部会、とす)、20周年記念誌編集方針、東海博実施案、『東 西南北』復刊第1号について他。13名出席
	理事(副会長) 奥三河御園高原自然学習村 所長 金子 功	1月	『東西南北』復刊。通巻第132号、編集担当: 山田蓉。
	理事 熱田神宮宝物館 館長 岡本健治	2月16日	実行委員会開催、於市立名古屋科学館、昭和57年度事業報告案、昭和58年
	理事 荒木集成館 館長 荒木 実		度総会・表彰、歴民部会、20周年記念誌、東海博実施最終案、実態調査の
	理事 市立名古屋科学館 館長 佐藤知雄		まとめ方、加盟勧誘運動の報告とガイドブック『愛知の博物館』改訂版作
	理事         知多市民俗資料館         館長         竹内敏雄           理事         徳川美術館         館長         徳川義宣	2 月23日	成について他。13名出席。 御園高原自然学習村金子功所長、「協会加盟館の意識調査」アンケート実
	理事 名古屋市博物館 館長 浅井岈一	2 7234	施(4月26日調査結果および考察の発表)。
	理事 日本モンキーセンター 所長 大沢 濟	3月9日	理事会·表彰選考委員会開催、於県文化会館、昭和57年度事業報告、昭和
	理事 博物館明治村 館長 関野 克		58年度事業計画、表彰選考、ガイドブック『愛知の博物館』改訂版作成の
	監事 愛知県文化会館 館長 片山和夫 監事 財団法人公司法人公司 理事長 岩田ズニス	0.8:35	予算措置について他。
	監事 財団法人岩田洗心館 理事長 岩田不二子 役員改選にともない、事務局も県文化会館より県陶磁資料館に移動。	3月17日 3月23日	歷民部会第1回研修会開催、於三好町立歷史民俗資料館、22名参加。 実行委員会開催、於県文化会館、昭和58年度総会実施最終案、20周年記念
6月4日	事務局移転完了。	0 /120H	表刊安貞云開催、
6月10日	東海博昭和57年度総会参加、於浜松市博物館(静岡県)	4 月10日	御園高原自然学習村金子所長、『博物館の地域連絡協議会の活動-その問
6 月21日	実行委員の委嘱。新実行委員は下記のとおり。	_	題点と振興策について一』(『山村文化研究所報』No. 4)を公表。
	県陶磁資料館 中保 進 	4 月14日	理事会開催、於県陶磁資料館、昭和57年度事業報告、昭和58年度事業計画、 40 昭和57年度:『東西南北』No.121~124:『愛知の博物館』No.22 No.23
	県陶磁資料館 浅田 員由 奥三河御園高原自然学習村 金子 功		他。昭和57年度:『東西南北』No.131~134;『愛知の博物館』No.32、No.33 発行、実行委員選任。
	熱田神宮宝物館 山田 蓉	4 月26日	昭和58年度愛博協総会実行委開催、於財団法人後藤報恩会昭和美術館。

年月日	事項	年月日	事 項
	愛博協第6回表彰	昭和59年	
	功労賞 愛知県文化会館 礒野 英男	1 月30日	実行委員会開催、於県文化会館。
	功労賞 市立名古屋科学館 後藤 久雄	2 月20日	実行委員会開催、於王山会館、総合資料・ガイドブック改訂・20年史の状
	功労賞 市立名古屋科学館 花立ゆき子		況について。
	功労賞を川美術館 木下 稔	3 月22日	第 4 回歴民部会開催、於美和町歴史民俗資料館 — 民俗資料の展示の企画
	功労賞 名古屋市博物館 上村喜久子 野原党 効果物質学 物質	2 Н 22 П	立案― 中伝系員会関係 故目立化会館 総会盗料を制、90年中の特別について
	奨励賞 熱田神宮宝物館 井後 政晏 感謝状 前愛知県文化会館館長 片山 和夫(前愛博協会長)	3 月23日	実行委員会開催、於県文化会館、総会資料作製・20年史の状況について。 昭和58年度:『東西南北』No.135~145:『愛知の博物館』No.34、35発行。
	御園高原自然学習村の理事辞任にともなう後任理事ならびに副会長の選		昭和58年度新規加盟館、名古屋昆虫館他15館、計65館となる。
	任、後任役員は以下のとおり。		30周年史年表
	理事 豊橋市美術博物館 館長 白井昭吾	4 月24日	理事会開催、於県陶磁資料館、協会20年史、59年度事業計画、役員改選に
	理事(副会長) 熱田神宮宝物館 館長 岡本健治		ついて。
	実行委員は以下の異動をのぞき、他は留任となる。	5 月23日	理事会・実行委員会開催、於岡崎信用金庫本店、昭和58年度事業報告、昭
	県陶磁資料館 副館長 中保 進(辞任)		和59年度事業計画他。
	御園高原自然学習村 所長 金子 功(辞任)	5 月23日	昭和59年度総会開催、於岡崎信用金庫本店。
	豊橋市美術博物館 河合正樹(新任)		愛博協第7回表彰
	事務局担当は以下のとおり。		功労賞 市立名古屋科学館 浅井恒子
	県陶磁資料館 課長 桜木 廉		功労賞 名古屋市博物館 福本克巴
	県陶磁資料館 主査 峰 一臣 規約改正:実行委員会・事務局委嘱の明文化、書記・会計の新設、会費の		功労賞 博物館明治村 宮島静男 役員館の交替
	改訂:1 口4,000円から1 口6,000円へ。新加盟館園(15館園)の自己紹介と意		石貝郎の交音   三河武士のやかた家康館(荒木集成館辞任)
	見交換 (『愛知の博物館』 No.34参照)。		常滑民俗史料館(知多市民俗資料館辞任)
	新加盟館園は以下のとおり。		昭和美術館(岩田洗心館辞任)
	碧南市青少年海の科学館(碧南海浜水族館)、名古屋昆虫館、三河武士のや		実行委員の交替
	かた家康館、岡崎信用金庫資料館、蟹江町歴史民俗資料館、美和町歴史民		愛知県美術館 坂下雅彦(礒野英男辞任)
	俗資料館、東郷町郷土資料館、清洲貝殻山貝塚資料館、財団法人ヒマラヤ		新加盟館は以下のとおり
	美術館、三好町立歴史民俗資料館、和紙のふるさと展示館、財団法人リト		かみや美術館、晴嵐館、中部電力電気文化会館建設事務局、渥美町郷土資
	ルワールド、一宮市教育委員会博物館建設準備事務局、常滑市民俗資料館、		料館、刈谷市美術館、名古屋海洋博物館、稲沢市荻須記念美術館。
	吉良町歴史民俗資料館(加盟57館園となる)。	6月2日	実行委員の委嘱、新実行委員は下記のとおり。
5 月27日	実行委員会開催、於市立名古屋科学館、東海博の最終打合せ・事務分担の		愛知県陶磁資料館 浅田 員由
	決定、愛博協20年史編集案の検討他。		熱田神宮宝物館 山田 蓉
6月2~3日	東海博昭和58年度総会開催、於愛知県市町村職員組合保養所「レークサイ ド入鹿」及びリトルワールド(当番愛知県)、理事会・総会及び討論会「各		三河武士のやかた家康館 堀江登志実 市立名古屋科学館 三輪 克
	県博物館協力の現況と課題」報告者: 神奈川県・県立博物館中島副館長、		名古屋市博物館 井上 光夫
	山梨県・信玄公宝物館野沢事務局長、静岡県・久能山東照宮松浦館長、岐阜		徳川美術館 木下 稔
	県・県立博物館吉本館長、愛知県・市立名古屋科学館三輪係長、司会:廣		日本モンキーセンター 廣瀬 鎮
	瀬鎮。施設見学=リトルワールド・小牧市歴史館(『東西南北』No.137参		博物館明治村 海老沢立志
	照)。参加者79名。		常滑市民俗史料館 中野 晴久
6 月23日	愛博協美術部会第1回研修会開催、於岩田洗心館、講演: 「博物館運営の実		豊橋市美術博物館 後藤 清司
	際―収支バランスの適正化をめざして」(昭和美術館服部昭義事務長)。参		愛知県文化会館美術館 坂下 雅彦
	加 4 施設 5 名。		昭和美術館 服部 昭義
6 月24日	実行委員会開催、於市立名古屋科学館、愛博協研修会、東海博結果報告、		愛博協事務局は以下のとおり。
	20周年記念誌編集案他。		愛知県陶磁資料館 桜木 廉
7月初旬	東海銀行貨幣資料館入会(加盟59館園)。	087 08	愛知県陶磁資料館 峰 一臣
7月9日	ガイドブック『愛知の博物館』改訂版のための原稿募集はじまる。 第2回歴民部会開催、於常滑市民俗資料館、テーマ:「展示の方法」。	6月7~8日	東海博昭和59年度総会参加、於塩山市中央公民館、山梨県立考古博物館他
7月15日 7月22日	第2回歴代部会開催、於事宿市代俗貢料館、リーマ・「成小の方法」。 実行委員会開催、於県陶磁資料館、研修会実施最終案他。	6 月27日	見学。 美術部門研修会開催、於桑山美術館、テーマ: 「表具の研究 — その伝統的
8月23日	実行委員会開催、於市立名古屋科学館、20周年記念誌編集案、編集委員長	0 72/ 1	取扱いの実際と布の名称」。
0 7,104	ほか決定(編集委員長:県陶磁資料館中保副館長、編集事務:山田蓉実行委	6 月29日	実行委員会開催、於熱田神宮宝物館。
	員)、愛博協県内研修会事務分担等。	7 月31日	実行委員会開催、於名古屋市博物館。
9月6~7日	愛博協研修会、於愛知県労働者研修センター、テーマ: 「博物館等におけ	9 月12~13日	愛博協研修会開催、於名古屋海洋博物館、テーマ: 「博物館等における調査
	る教育サーヴィスのあり方 ― PART1"解説"」、意見発表者: リトルワール		研究」、意見発表者:東山植物園坂梨園長・常滑市民俗資料館中野学芸員・
	ド鹿野勝彦、内藤記念くすり博物館青木充夫、名古屋市博物館井上光夫、		名古屋市博物館犬塚学芸員・伊良湖自然科学博物館大谷係長、名古屋港内
	岩田洗心館岩田正人、香嵐渓へびセンター杉山貞幸、三河武士のやかた家		施設見学、参加27名。
	康館堀江登志実。現地研修: 「和紙のふるさと展示館」。愛知県内博物館施	9 月13日	実行委員会開催、於名古屋海洋博物館。
	設実態調查No.2実施。	10月25日	実行委員会開催、於豊橋市勤労福祉会館。
9月13日	『愛知の博物館20年誌』編集委員の委嘱。	10月25~26日	三県交流研修会開催、於豊橋市勤労福祉会館、テーマ: 「博物館等における
9 月28日	実行委員会開催、於県文化会館、県内研修会報告、三県交流会、サロン、		P.Rの実際と方法」
	20周年記念誌出版の予算捻出について、「若手学芸員おおいに語る」の期日及びテープ記しの担当、東側研究担果の期限等	12 日 20 日	豊橋市地下資源館・豊橋市美術博物館見学、参加49名。 実行委員会開催、於王山会館、昭和60年度事業計画。
9 月30日	日及びテープ起しの担当・事例研究提出の期限等。 愛博協加盟館園職員名簿作成のための調査開始。	12月20日 2 月27日	美仃安貝会開催、於土山会館、昭和160平度事業計画。 実行委員会開催、於愛知県文化会館美術館。
9月30日 10月24~25日	受	3月22日	実行委員会開催、於愛知県陶磁資料館。 実行委員会開催、於愛知県陶磁資料館。
10月24~25日	三宗文派云参加、沢石張印(ヨ番三里県)。 実行委員会開催、於県文化会館、20周年記念誌用実行委員討論「博物館の	0 /12EH	実行安貞云開催、ボ変和原胸城貞村語。 昭和59年度:協会報『愛知の博物館』No.36~38、『東西南北』No.146~154、
	将来を探る」、サロン開設準備の進展状況について、事例研究のテーマ提		ガイドブック改訂増補版、協会20年史発行。
	出他。10名出席。		
11月14日	実行委員会開催、於県陶磁資料館。	昭和60年	
11月25日	第3回歴民部会開催、於吉良町歴史民俗資料館―美術梱包の方法―。	4 月24日	理事会開催、於県陶磁資料館。
12月10日	実行委員会開催、於市立名古屋科学館。	4 月27日	実行委員会開催、於県陶磁資料館。
		5月8日	理事会開催、於県陶磁資料館。
		5 月24日	昭和60年度総会・理事会開催、稲沢市保健センター。

年月日	事項	年月日	事項
	愛博協第8回表彰		岩崎城歷史記念館、甚目寺町歷史民俗資料館、杉本美術館、名都美術館、
	功労賞 名古屋市博物館 久住典夫		おかざき世界子ども美術博物館、岡崎市美術館、作手村歴史民俗資料館、
	功労賞 博物館明治村 長瀬秋昇		津具村立文化資料センター、計85館。
	感謝状 前愛知県陶磁資料館主査 峰 一臣(前愛博協事務局)	6月18~19日	東海博昭和62年度総会参加、於静岡市たちばな会館。
	新加盟館	6月26日	実行委員会開催、於市立名古屋科学館。
	武豊町歴史民俗史料館	7月28日	実行委員会開催、於市立名古屋科学館。
5 月29~30日	東海博昭和60年度総会参加、於神奈川県横須賀市自然人文博物館、記念艦	8月25日	実行委員会開催、於市立名古屋科学館。
	三笠他見学。	9月10~11日	博物館等職員研修会開催、於蒲郡荘、テーマ: 「博物館における教育普及活
6 月26日	実行委員会開催、於熱田神宮宝物館。		動 ― 講座・教室・学習会の運営 ―」、事例発表: 名古屋市博物館竹内学芸
7 月23日	実行委員会開催、於名古屋市博物館。		員・豊橋市地下資源館家田学芸員・博物館明治村伊藤学芸員、蒲郡市郷土
8月1日	「歷史系部会」研修会、於見晴台考古資料館。		資料館・蒲郡フラワーパーク見学、参加35名。
8 月28日	実行委員会開催、於県陶磁資料館。	9月29日	実行委員会開催、於名古屋市博物館。
9月12~13日	愛博協研修会開催、於シーサイド伊良湖、テーマ: 「資料交換と展示計画の	10月29~30日	三県交流研修会開催、於豊田市猿投棒の手ふれあい広場、テーマ: 「博物館
	問題点」、事例発表:東山植物園中村知治・昭和美術館館服部昭義・和紙		へのアクセスー交通からみた三県博物館の連係のありかたを探る」豊田市
	のふるさと展示館冨樫朗・愛知県陶磁資料館浅田員由・伊良湖自然科学博		郷土資料館、トヨタ博物館他見学、参加40名。
	物館、渥美町郷土資料館見学、参加31名。	11月13日	実行委員会開催、於愛知県陶磁資料館。
9 月12日	実行委員会開催、於シーサイド伊良湖。	12月15日	実行委員会開催、於王山会館。
9月21日	「美術部会」研修会、於昭和美術館、テーマ: 「万葉植物について」他、参	1月26日	実行委員会開催、於熱田神宮宝物館。
	加20名。	2 月23日	歴史民俗部門研修会、於熱田神宮宝物館、テーマ:「資料の取扱い — 刀剣
10月24~25日	三県交流研修会参加、於岐阜県下呂町公民館、テーマ: 「博物館機能の近代		を中心にして一」、参加21名。
	化について」、山岳考古館他見学、参加49名。	2 月25日	美術館部会研修会、於土岐美濃陶磁歷史館、元屋敷窯跡等見学他、参加19名。
12月3日	実行委員会開催、於愛知県文化会館美術館。	3月1日	実行委員会開催、於熱田神宮宝物館。
1 月22日	実行委員会開催、於王山会館。	3 月15日	美術部会研修会、於昭和美術館。
	昭和60年度:協会報『愛知の博物館』No.39~40、『東西南北』No.155~161、		昭和62年度:協会報『愛知の博物館』No.43~44、『東西南北』No.167~171
	ガイドマップ「たずねてみよう愛知の博物館」発行。		「おでかけガイド―愛知の博物館」、「加盟館(園) 職員録」発行。
昭和61年			
4 月18日	実行委員会開催、於市立名古屋科学館。		
4 月23日	理事会開催、於県陶磁資料館。	昭和63年	
5月8日	理事会開催、於県陶磁資料館。	4 月12日	実行委員会開催、於王山会館。
5 月23日	理事会・実行委員会開催、於半田市立博物館。	4 月27日	理事会開催、於王山会館。
5 月23日	昭和61年度総会開催、於半田市立博物館。	5 月20日	実行委員会開催、於王山会館。
	愛博協第9回表彰	5 月20日	昭和63年度総会開催、役員改選、一宮市博物館・でんきの科学館の 2 理事
	功労賞 日本モンキーセンター 廣瀬 鎮		館を追加。
	功労賞 博物館明治村 勝俣光盛		理事(会 長) 愛知県陶磁資料館 館長 山田五夫
	新加盟館		理事(副会長) 熱田神宮宝物館 館長 山本文彦
	名古屋市教育委員会文化課(美術館担当)、尾西市歴史民俗資料館、ガスエ		理事 三河武士のやかた家康館 館長 瀧本浩成
	ネルギー館、長久手町郷土資料室、計70館。		理事 市立名古屋科学館 館長 岡田 博
6月10~11日	東海博昭和61年度総会参加、於岐阜市岐山会館、岐阜市歴史博物館他見学。		理事 名古屋市博物館 館長 浅井岈一
6 月24日	実行委員会開催、於豊橋市美術博物館。		理事 徳川美術館 館長 徳川義宣
7 月22日	実行委員会開催、於市立名古屋科学館。		理事 日本モンキーセンター 所長 河合雅雄
9月11日	実行委員会開催、於県陶磁資料館。		理事 博物館明治村 館長 関野 克
9月11~12日	愛博協研修会開催、於愛知県陶磁資料館、テーマ: 「博物館におけるボラン		理事 武豊町歴史民俗資料館 館長 礒部幸男
	ティア活動」、事例発表:三重県立美術館、名古屋市見晴台考古資料館、半		理事 豊橋市美術博物館 館長 河合正樹
	田市立博物館、愛知県陶磁資料館にて陶芸実習、マスプロ電工美術館見学、		理事 一宮市博物館 館長 花木蔦雄
	参加39名。		理事 でんきの科学館 館長 帆高壽壮
10月20~21日	三県交流研修会参加、於三重県菰野町社会福祉センター、テーマ: 「各博物		監事 愛知県文化会館美術館 館長 鍵谷正衛
	館におけるPR活動」、日本カモシカセンター他見学。		監事 昭和美術館 館長 柳沢幸輝
12月20日	実行委員会開催、於愛知県文化会館美術館。		愛博協第11回表彰
2月18日	実行委員会開催、於三河武士のやかた家康館。		功労賞 名古屋市博物館 安達義信
2月26日	「美術部会」研修会、於昭和美術館、テーマ: 「外国人来館者に対する初歩		功労賞 博物館明治村 佐野 勲
	の英会話」他、参加25名。		奨励賞 名古屋海洋博物館 山田国雄
	昭和61年度:協会報『愛知の博物館』No.41~42、『東西南北』No.162~166、		感謝状 前愛知県陶磁資料館 館長 日下英之
	ガイドブック「愛知の博物館」改訂版発行。		(前愛博協会長)
			感謝状 前博物館明治村 部長 海老沢立志
昭和62年			(前愛博協実行委員)
4 月10日	実行委員会開催、於王山会館。		新加盟館
4 月23日	理事会開催、於県陶磁資料館。		ミツカン酢の里、半田空の科学館、國盛酒の文化館、電気文化会館、メナー
5月8日	理事会開催、於県陶磁資料館。		ド美術館、南知多ビーチランド、豊橋市自然史博物館、犬山市文化史料館、
5 月22日	実行委員会開催、於電気文化会館。		楽只美術館、岡崎市郷土館、計95館。
5 月22日	昭和62年度総会開催、於電気文化会館。	6 月16日	実行委員会開催、於王山会館。
	愛博協第10回表彰	6月16~17日	東海博昭和63年度総会開催、於王山会館、討論会テーマ: 「ミュージアムショッ
	功労賞 市立名古屋科学館 中島 健		プについて」、事例発表:川崎市立日本民家園早野園長・博石館細野主任・
	功労賞 市立名古屋科学館 滝本正二		静岡県立美術館野村主任・山下学芸員・名古屋市美術館牧野主任・司会市
	功労賞 徳川美術館 佐藤豊三		立名古屋科学館三輪課長、名古屋市美術館・徳川美術館見学、参加106名。
	功労賞 東海銀行貨幣資料館 鬼頭晴彦	7 月12日	実行委員会開催、於徳川美術館。
	功労賞 博物館明治村 傍島光光	8 月30日	実行委員会開催、於愛知県美術館。
	功労賞 博物館明治村 半田力雄	9月8~9日	博物館等職員研修会開催、於尾西勤労青少年福祉センター、テーマ: 「博物
	奨励賞 名古屋海洋博物館 伊藤 宏		館・美術館における展示効果」、事例発表:豊橋市自然史博物館家田学芸
	感謝状 前愛知県陶磁資料館 主査 中島 博(前愛博協事務局)		員・市立名古屋科学館三輪課長・徳川美術館四辻学芸員・尾西市歴史民俗
	新加盟館		資料館伊藤学芸員・一宮市博物館毛受学芸員、尾西市歴史民俗資料館・一

年月日	事 項	年月日	事項
	宮市博物館見学、参加49名。		感謝状 前愛知県陶磁資料館 館長 山田五夫(前愛博協会長)
9 月30日	実行委員会開催、於でんきの科学館。		新加盟館
10月25日	実行委員会開催、於愛知県陶磁資料館。		真清田神社宝物館、イズマン温故倉、醸造「伝承館」、師勝町歴史民俗
11月25日	実行委員会開催、於名古屋市博物館。		料館、安城市歷史博物館、春日井市道風記念館、計103館。
12月20日	実行委員会開催、於王山会館。	6 月12~13日	東海博平成2年度総会参加、於横浜美術館、神奈川県立神奈川近代文学館
1 月24日	実行委員会開催、於熱田神宮宝物館。		他見学。
2 月17日	美術館部会研修会、於昭和美術館、テーマ: 「絵画(日本画)の画材」 他、参	6 月22日	実行委員会開催、於名古屋市科学館。
	加37名。	7 月25日	実行委員会開催、於でんきの科学館。
3月1日	理事会・実行委員会開催、於王山会館。	7 月27日	歷史民俗部門研修会開催、於東海銀行貨幣資料館。
3 月23日	歴史民俗部門研修会、於名古屋市博物館、テーマ:「甲胃の取扱い」他、参	8 月30日	実行委員会開催、於でんきの科学館。
	加23名。	9 月6~7日	博物館等職員研修会開催、於サンパーク犬山、テーマ: 「博物館の資料収録
	昭和63年度:協会報『愛知の博物館』No.45〜47、『東西南北』No172〜175、 「おでかけガイド―愛知の博物館」発行。		と研究」、事例発表:博物館明治村中野学芸員・豊橋市自然史博物館家田 芸員・ヨコタ博物館横田館長・古川美術館杉浦学芸員、日本モンキーセン ター・犬山市文化史料館・国宝犬山城見学、参加55名。
平成元年		9 月20日	実行委員会開催、於愛知県美術館。
4 月13日	実行委員会開催、於王山会館。	10月20日	実行委員会開催、於熱田神宮宝物館
4 月25日	理事会開催、於王山会館。	10月4~5日	三県交流研修会開催、於知多美浜簡易保険保養センター、テーマ: 「観光」
5 月19日	実行委員会開催、於王山会館。		の中での博物館 — 観光施設化の功罪 — 」INAX窯のある広場資料館・國
	愛博協第12回表彰		酒の文化館見学、参加73名。
	功労賞 名古屋市科学館 西森鍵資郎	11月20~21日	歴史民俗部門研修会、於名古屋市博物館、テーマ: 「博物館資料の写真抗
	功労賞 博物館明治村 宮崎正巳		影について」他、参加28名。
	感謝状 前熱田神宮宝物館 学芸員 岡田芳幸(前愛博協実行委員)	11月28日	実行委員会開催、於名古屋市博物館。
	新加盟館	11月20日	実行委員会開催、於王山会館。
	森村記念館、トヨタ博物館、一色学びの館、古川美術館(仮称)、知立市歴	1 月22日	実行委員会開催、於熱田神宮宝物館。
	史民俗資料館、衣の民俗館、名志苑美術館、INAX窯のある広場資料館、	2 月26日	実行委員会開催、於愛知県陶磁資料館。
	計98館。	3月1日	美術部門研修会、於昭和美術館、テーマ: 「世界に発言する日本美術」他
6 月13~14日	東海博平成元年度総会参加、於富士吉田市民会館。		参加47名。
6 月23日	実行委員会開催、於名古屋市科学館。	2月7日	自然科学部門研修会、於日本モンキーセンター、テーマ: 「愛知県内の哺乳
7 月21日	実行委員会開催、於名古屋市博物館。		動物の問題を考える~特にニホンザル、ネズミについて~」他、参加31名
7 月27日	歴史民俗部門研修会開催、於東海銀行貨幣資料館、テーマ: 「時代判定基準	3 月22日	実行委員会開催、於名古屋市科学館。
	としての貨幣」、参加26名。		平成 2 年度: 協会報『愛知の博物館』No.50~52、『東西南北』No.180~18:
8 月22日	実行委員会開催、於名古屋市科学館		「おでかけガイド ― 愛知の博物館」、ガイドマップ「あいちの博物館みて
9月7~8日	博物館等職員研修会開催、於豊橋勤労福祉センター、テーマ: 「博物館・美		あるき」発行。
	術館の展示効果」、事例発表:名古屋市博物館井上学芸係長・豊橋市自然史	平成 3 年	
	博物館井澤学芸員・豊橋市地下資源坂本学芸員・おかざき世界子ども美術	4 月16日	実行委員会開催、於ちからまち会館。
	博物館荒井学芸員・熱田神宮宝物館野村学芸員、豊橋市自然史博物館・豊	4月19日	理事会開催、於ちからまち会館。
	橋市地下資源館見学、参加46名。	5 月22日	実行委員会開催、於ちからまち会館。
9 月20日	実行委員会開催、於熱田神宮博物館。	5 月22日	平成 3 年度総会開催、於ちからまち会館、協会設立30周年記念事業委員
10月20日	実行委員会開催、於名古屋市博物館。		を設置し、記念事業の検討を始める。
11月9~10日	第37回全国博物館大会の共催、於電気文化会館、でんきの科学館、名古屋		検討委員会
	市科学館、名古屋市美術館、大会テーマ「生涯学習と博物館Ⅱ―その発展		委員長 会長 (愛知県陶磁資料館)
	のための現状と問題点―」講演・分科会・全国博物館会議・パネルディス		副委員長副会長(熱田神宮宝物館)
	カッション・施設見学を開催。		委員 理事 (名古屋市科学館)
1 月29~30日	三県交流研修会参加、於伊勢市三重県厚生年金休暇センター、テーマ: 「開		委員 理事 (でんきの科学館)
	かれた博物館・受身でない博物館」斎宮歴史博物館他見学。		委員 理事 (名古屋市博物館)
11月28日	実行委員会開催、於愛知県美術館。		委員 監事 (愛知県文化会館美術館)
12月20日	実行委員会開催、於王山会館。		検討チーム
1 月24日	実行委員会開催、於熱田神宮宝物館。		チーフ 三輪委員 (名古屋市科学館)
2 月23日	実行委員会開催、於でんきの科学館。		メンバー 浅田委員 (愛知県陶磁資料館)
3月2日	美術館部門研修会、於昭和美術館、テーマ:「イタリア・ルネッサンス美術」		メンバー 武田委員 (熱田神宮宝物館)
_	他参加50名。		メンバー 三上委員 (でんきの科学館)
3月9日	自然科学部門研修会、於名古屋市科学館、テーマ:「科学系博物館に求め		メンバー 種田委員 (名古屋市博物館)
	られるもの」他、参加35名。		メンバー 木本委員 (愛知県文化会館美術館)
3 月23日	実行委員会開催、於愛知県陶磁資料館。		メンバー 事務局 (愛知県陶磁資料館)
	平成元年度: 『愛知の博物館』 No.48~49、『東西南北』 No.176~179、「おで		愛博協第14回表彰
	かけガイドー愛知の博物館」、「ガイドブックー愛知の博物館」、「加盟館		功労賞 一宮市博物館 岩野見司
	(園)職員録」発行。		功労賞 博物館明治村 小川重幸
			功労賞 日本モンキーセンター 浅井義信
平成 2 年	THE THE APPRIL OF LAND		功労賞 日本モンキーセンター 伊藤光太郎
4月13日	実行委員会開催、於王山会館。		新加盟館
4 月20日	理事会開催、於王山会館。		弥富町歴史民俗資料館、豊田市民芸館・陶芸資料館、一宮町歴史民俗資料
5月17日	実行委員会開催、於王山会館。		館、計106館。
5 月17日	平成2年度総会開催、役員改選、岡崎市郷土館・豊橋市自然史博物館選出。	6月13~14日	東海博平成3年度総会参加、於岐山会館(当番岐阜県)。
	於王山会館。	6 月25日	実行委員会開催、於でんきの科学館。
	愛博協第13回表彰。	7月23日	実行委員会・記念事業検討チーム検討会開催、於名古屋市科学館。
	功労賞 日本モンキーセンター 池上千城	8月30日	実行委員会開催、於名古屋市科学館
	功労賞博物館明治村伊佐治勉	9月5~6日	博物館等職員研修会開催、於岡崎市勤労福祉会館、テーマ:「外からみた性性性」  「外からみた性性性」  「外からみた性性性」  「外からみた性性性」  「外がります。
	功労賞 名古屋市科学館 伊藤 洋		物館」事例発表:武豊町歴史民俗資料館友の会田島副会長・岡崎市教育
	功労賞 名古屋市博物館 高田 伸		員会社会教育課太田係長・名古屋商科大学附属高等学校長畑教諭・愛知明
	功労賞 熱田神宮宝物館 山本文彦		埋蔵文化財センター森課長補佐・安城市歴史博物館・おかざき世界子ども

年月日		事項			年月日	事項			
	博物館見学、参加8	31名。			3月4日	実行委員会開催、於徳川美術館。			
9月25日	実行委員会・記念	事業検討チーム検討会開催、	於愛知県	美術館。		平成 4 年度:協会報『愛知の博物館』No.56~57、「おでかけガイド — 愛			
0月23日		於愛知県陶磁資料館。				の博物館」発行。			
0月17~18日		加、於グリーンピア恵那、き	テーマ: [5	<b>上涯学習と博物館</b> 」					
		館・苗木遠山史料館見学。			平成 5 年				
1月22日	実行委員会開催、				4 月15日	実行委員会・30周年記念事業チーム会議開催、於ちからまち会館。			
2月27日	実行委員会・記念行事検討チーム検討会開催、於ちからまち会館。			まち会館。	4 月21日	実行委員会・30周年記念事業チーム会議開催、於ちからまち会館。			
1 月22日	歴史民俗部門研修会、於名古屋市博物館、テーマ: 「普及事業におけるコン			:事業におけるコン	4 月23日	30周年記念事業委員会・理事会開催、於ちからまち会館。			
	ピュータ利用につい	いて」他、参加15名。			5 月21日	実行委員会・30周年記念事業チーム会議開催、於ちからまち会館。			
1月31日	実行委員会・記念	事業検討チーム検討会開催、	於熱田神	宮宝物館。	5 月21日	平成5年総会開催、於ちからまち会館、協会設立30周年記念事業を実施			
2 月25日	実行委員会・記念	事業検討チーム検討会開催、	於でんき	の科学館。		るため事業委員会を設置する。			
2 月14日	自然科学部門研修会、於名古屋市科学館、テーマ: 「科学系博物館における			事業委員会					
	コンピュータ利用について」、参加33名。					委員長 愛知県陶磁資料館 館長 山田敬二(会長)			
2 月28日	美術部門研修会、於昭和美術館、テーマ:「彫塑作品について」他、参加40名。					副委員長 熱田神宮宝物館 館長 岡地幸雄(副会長)			
3 月25日	実行委員会・記念事業検討チーム検討会開催、於名古屋市科学館。			委員 名古屋市科学館 館長 樋口敬二(理事)					
		₹『愛知の博物館』No.53~55	、『東西南	引北』No.184~187、		委員 でんきの科学館 館長 寺沢安正(理事)			
	「おでかけガイド-	- 愛知の博物館」発行。				委員 名古屋市博物館 館長 清水 武(理事)			
						委員 愛知県美術館 館長 浅野 徹(監事)			
呼成 4 年						検討チーム			
4 月10日	実行委員会開催、					チーフ 愛知県陶磁資料館 浅田員由(実行委員)			
4 月24日	30周年記念事業検	討委員会・理事会開催、於ち	からまち	会館。		メンバー 名古屋市科学館 佐伯平二(実行委員)			
5 月22日	実行委員会開催、	於ちからまち会館。				メンバー 熱田神宮宝物館 武田定雄(実行委員)			
5 月22日	平成 4 年度総会開	催、役員改選、鳳来寺山自然	《科学博物	別館選出、於ちから		メンバー でんきの科学館 大島明男(実行委員)			
	まち会館。					メンバー 名古屋市博物館 松本博行(実行委員)			
	理事(会 長)	愛知県陶磁資料館	館長	山田敬二		メンバー 日本モンキーセンター 水野礼子(実行委員)			
	理事(副会長)	熱田神宮宝物館	館長	岡地幸雄		メンバー 愛知県美術館 木元文平(実行委員)			
	理事	一宮市博物館	館長	小川 守		メンバー 愛知県陶磁資料館 浅埜 勲(事務局)			
	理事	岡崎市郷土館	館長	板倉幸治		愛博協第16回表彰			
	理事	知立市歴史民俗資料館	館長	羽佐田弘		功労賞 博物館明治村 後藤義雄			
	理事	でんきの科学館	館長	寺沢安正		功労賞 日本モンキーセンター 辻 雅名			
	理事	東海市立平洲記念館	館長	吉川 夫		功労賞 ヨコタ博物館 加藤公子			
	理事	徳川美術館	館長	徳川義宣		感謝状 前愛知県陶磁資料館 館長 亀井誠治(前愛博協会長)			
	理事	豊橋市自然史博物館	館長	高須 温		新加盟館			
	理事	名古屋市科学館	館長	岡田 博		佐織町中央公民館歴史民俗資料室、津島児童科学館、豊川閣寺賓館、は			
	理事	名古屋市博物館	館長	清水 武		ギャラリー冬青書屋、計112館。			
	理事	日本モンキーセンター	所長	河合雅雄	6 月24日	実行委員会・30周年記念事業チーム会議開催、於豊橋市自然史博物館。			
	理事	博物館明治村	館長	村松貞次郎	7月6日	実行委員会・30周年記念事業チーム会議開催、於ルブラ王山。			
	理事	鳳来寺山自然科学博物館	館長	松井 保	7月6~7日	東海博平成 5 年度総会開催、於名古屋市ルブラ王山、講演「愛知県美術			
	監事	愛知県美術館	館長	浅野 徹		の再出発」愛知県美術館浅野館長、古川美術館・愛知県美術館・名古屋			
	監事	昭和美術館	館長	柳沢幸輝		水族館見学。111名参加。			
	愛博協第15回表彰				8月3日	実行委員会・30周年記念事業チーム会議開催、於名古屋市科学館。			
	功労賞	東海銀行貨幣資料館		工藤洋久	9月2~3日	博物館等職員研修会開催、於鳳来町山びこの丘新館研修棟、テーマ: 「僻			
	功労賞	日本モンキーセンター		小林秀重		における博物館活動」事例発表:ヨコタ博物館加藤職員・香嵐渓ヘビセ			
	功労賞	博物館明治村		平岡秀夫		ター杉山園長・設楽町奥三河郷土館鈴木館長、鳳来町立鳳来寺山自然科			
	功労賞	博物館明治村		宇野光男		博物館・設楽奥三河郷土館・ヨコタ博物館見学、参加69名。			
	感謝状	前愛知県陶磁資料館	主査	原 誠	9月3日	実行委員会・30周年記念事業チーム会議開催、於鳳来町山びこの丘新館			
		(前愛博協事務局)				修棟。			
	新加盟館				11月10日	実行委員会・30周年記念事業チーム会議開催、於名古屋市博物館。			
	愛知県立芸術大学	資料館法隆寺金堂壁画模写展	<b>『示館、日</b>	本独楽博物館、計	11月26~27日	三県交流研修会開催、豊橋市自然史博物館、研究協議: 「これからの博物			
	110館。					― 友の会・ボランティア活動―」事例発表: (岐阜県) 飛騨の山樵館相木			
6 月11~12日	東海博平成4年度約	総会参加、於静岡たちばな会	館(当番前	爭岡県)。		芸員・ (三重県) 三重県立斎宮歴史博物館久保学芸員・ (愛知県)徳川美			
6 月26日	実行委員会開催、	於でんきの科学館。				館小池普及課長、田原町博物館・豊橋市二川宿本陣史料館見学、参加98			
7 月22日	実行委員会開催、	於名古屋市科学館。			12月10日	実行委員会・30周年記念事業チーム会議開催、於名古屋市科学館。			
8 月27日	実行委員会開催、	於でんきの科学館。			1 月12日	実行委員会・30周年記念事業チーム会議開催、於熱田神宮宝物館。			
9月3~4日	博物館等職員研修	会開催、於愛知県半田勤労福	社会館、	テーマ: 「地域と博	2月9日	歴史民俗部門研修会、於熱田神宮龍影閣、テーマ: 「刀剣の取扱い」、参			
	物館」事例発表:系	<b>緊のある広場資料館神谷館長</b>	・鳳来町	立鳳来寺山自然科		40名。			
	学博物館松井館長	· 美和町歴史民俗資料館鎌倉	学芸員・	常滑市民俗資料館	2 月24日	美術部門研修会、於昭和美術館、テーマ: 「版画(木板)等の知識と取			
	中野学芸員、南知	多ビーチランド・杉本美術館	見学、参	加49名。		い・実技」他、参加43名。			
0月2日	実行委員会開催、	於熱田神宮宝物館。			2 月16日	自然科学部門研修会、於名古屋市科学館、テーマ: 「科学館における地学			
1月11日	実行委員会・検討チーム検討会開催、於名古屋市科学館。			育一地球を知るための環境教育の実例について」、参加21名。					
1月26~27日		加、鳥羽水族館新館、テーマ			3月9日	実行委員会・30周年記念事業チーム会議開催、於熱田神宮宝物館。			
		羽水族館・海の博物館見学。			3月9日	博物館実習に関する加盟館及び関係大学担当者の座談会、於熱田神宮宝			
12月17日	実行委員会開催、				•	館、テーマ:「博物館実習の現状と今後のあり方」、愛知学院大学・日本			
1 月26日	実行委員会開催、					社大学・愛知大学・トヨタ博物館・名古屋市博物館・豊橋市美術博物館			
2 月10日		会、於豊橋市自然史博物館、	テーマ: [	植物誌データベー		常滑市民俗資料館·参加39名。			
	ス」、参加23名。		'			平成 5 年度:協会報『愛知の博物館』No.58~59、「おでかけガイドー領			
2 月17日	=	会、於名古屋市博物館、テー	マ: 「和朋	の取扱い」他参加		の博物館」発行。			
,	26名。					退会 香嵐渓へビセンター、加盟館計111館			
2 月25日		於昭和美術館、テーマ: 「名¡	古屋の文化	とは大根文化! 他、					
	参加43名。								

参加43名。

#### 年月日 年月日 平成6(1994)年 ①総会/電気文化会館 (参加:67館、115名) ③実行委員会(計7回実施) ④職員研修会/豊川閣寺宝館 6**H**6**H** (1) 会長挨拶:山田敬二氏(愛知県陶磁資料館館長) 8月30~31日 (2) 第17回表意 ⑤部門別研修会 (ア) 自然科学部門/豊橋市自然史博物館 平成8年2月8日 功労賞 日本モンキーセンタ 主任 高井正夫氏 マ:「走査型電子顕微鏡についての基礎」/参加:23名 三河武士の館家康館 松葉八十美氏 平成8年3月13日 (イ) 歴史民俗部門/名古屋市博物館 主任 横井欽也氏 功労賞 植物館明治村 テーマ:「『和本』の種類と修復実習|「資料の取扱い・梱包入門」/参加43名 功労賞 博物館明治村 管理リーダー 吉田貞治氏 (ウ) 美術部門/昭和美術館 平成8年2月22日 テーマ:「展示物の諸吊下金具及び安全対策」「近年における美術界の回顧・展望」 (3) 愛知県博物館協会 役員及び実行委員名簿 「東洋美術品の変遷及び学術的役割」 役職名 館(園)名 代表者名 備考 実行委員名 ⑥東海地区協議会総会/神奈川県立歴史博物館 講演: 「地震対策について」/参加:74館、112名(内愛知県 24名) 6月20~21日 理事 爱知具陶磁資料館 館長山田勸 会長 浅田昌由 熱田神宮宝物館 館長 岡地幸雄 副会長 武田定雄 10月4~5日 (7)東海三県交流研修会/三重県 (第20回) 宮市博物館 館長 小川 守 毛受英彦 ⑧協会発行物: 館長成田守彦 岡崎市郷土館 荒井信貴 (1) 「おでかけガイドー愛知の博物館」春・秋計 2 回、(2) 協会報「愛知の博物館」No.62~63、 蟹江町歴史民俗資料館 館長 北川鉄裕 伊藤和彦 (3) 東西南北特集号「広瀬鎮さんのおもいで」 知多市民俗資料館 館長 伊藤昭正 新美博英 知立市歷史民俗資料館 館長 羽佐田銀弘 近藤文枝 (1) 退会1館、(2) 新規加盟館1館:七宝町郷土資料館 でんきの科学館 館長 幸沢安正 大良田里 徳川美術館 館長 徳川義宣 小池富雄 豊橋市自然史博物館 館長 古山保夫 井澤伸恵 名古屋市科学館 館長 樋口敬二 佐伯平-平成8(1996)年 ①総会/ルプラ王山 (参加:63館、84名) 名古屋市博物館 館長清水 武 松本博行 (1) 会長挨拶:福田清彦氏(愛知県陶磁資料館館長) 5月23日 日本モンキーセンター 博物館明治村 園長 小寺重孝 水野礼子 (2) 第19回表彰 館長 村松貞次郎 中野裕子 功労賞 尾西市歴史民俗資料館 前館長 足立重喜氏 **國来寺山白然科学懴物館** 館長 松井 保 加藤貞亨 博物館明治村 功労賞 管理リーダー 加藤正之氏 監事 愛知県美術館 館長 浅野 徹 木本文平 功労賞 日本モンキーセンター **鱼谷勝司氏** 昭和美術館 館長 柳澤幸輝 海野嘉代 愛知県美術館 前美術課長 坂下雄彦氏 功労賞 愛知県陶磁資料館副館長 事務に 成油出 熱田神宮宝物館 前文化課長 武田定雄氏 浦山正委 **府務課長** 前館長 寺沢安正氏 でんきの科学館 感謝状 庶務課長補佐 村瀬 寛 愛知県陶磁資料館 前主査 浅埜 勲氏 感謝状 浅埜 勲 庶務課主查 (3) 愛知県博物館協会 役員及び実行委員名簿 (4) 30周年記念式典 記念講演:講師 川村恒明氏(国立科学博物館館長)、テーマ:「文化の時代と博物館」 役職名 館(園)名 代表者名 備考 宝行委員名 愛知県陶磁資料館 記令表彰: 館長 福田清彦 浅田負由 理事 会長 ヨコタ博物館 熱田神宮宝物館 館長 岡地幸雄 副会長 副野 均 園長 小寺重孝氏 学芸課長 三輪 克氏 日本モンキーセンター 久保禎子 一宮市博物館 館長 小川 守 名古屋市科学館 岡崎市郷土館 館長 稲垣正弘 内藤高玲 記念史発行:「愛知県博物館協会30年史」 B5版、90頁、1,000冊、非売品 美和町歴史民俗資料館 館長 横井 実 鎌倉崇志 ②理事会(計1回実施) 館長山本博光 常滑市民俗資料館 中野晴久 ③実行委員会(計7回実施) 知名市歷中民俗資料館 館長 羽佐田錦弘 沂藤文枝 9月1~2日 ④職員研修会/津島児童科学館 でんきの科学館 館長 鈴木達雄 水野則雄 ⑤部門別研修会 徳川美術館 館長 徳川義宣 小池富雄 (7) 自然科学部門/名古层市東山動植物園 平成7年9日8日 豊橋市美術博物館 館長 兵東政夫 高橋洋充 マ:「伊藤圭介翁-人とその資料について-」「東山植物園における資料整理について」「参加:30名 名古屋市科学館 館長 樋口敬二 佐伯平 平成7年3月2日 (イ) 歴史民俗部門/名古屋市博物館 館長清水 武 名古屋市博物館 松本博行 テーマ:「民俗・民具の調査法」/参加:49名 園長 小寺重孝 日本モンキーセン 水野礼子 (ウ) 美術部門/昭和美術館 平成7年2月24日 植物館明治村 館長 村松貞次郎 中野裕子 テーマ:「表装具変遷と取り扱い」「琳派の絵画」「博物館・美術館における温湿度計の知識と取り扱い」 加藤貞亨 鳳来寺山自然科学博物館 館長 横山良哲 ↑ \*\*・【本弦火冬返こ取り飲い」「帰心が原則」 | 伊南郎・美剛郎・501 @ 画画版表印の風画と呼 「アーマシールド(ガラスの強化膜) について」 / 参加:55名 ⑥東海地区協議会総会/ KKR甲府 ニュー美容 講演: 「地域における博物館の役割」 / 参加:69館、115名(内愛知県 26名) 監事 愛知県美術館 館長 浅野 徿 木本文平 6月16~17日 昭和美術館 館長 柳澤幸輝 海野嘉代 事務局 中村 貞 愛知具陶磁資料館副館具 10月4~5日 ⑦東海三県交流研修会/岐阜市 (第19回) 庶務課長 浦山正幸 ⑧協会発行物 村瀬 寛 **府務課課長補佐** (1) 「おでかけガイドー愛知の博物館」春・秋計 2 回、(2) 協会報「愛知の博物館」No.60~61 庶務課主査 新川代 ⑨加盟館 (1) 退会 1 館、(2) 新規加盟館 5 館:新美南吉記念館、高浜市やきものの里かわら美術館、 舩橋楽器資料館、豊橋市二川宿本陣資料館、豊川市桜ヶ丘ミュージアム ②理事会(計2回実施) ③実行委員会(計9回実施) ④職員研修会/一宮勤労福祉会館(参加:81名) 9月5~6日 ⑤部門別研修会 平成7(1995)年 ①総会/ルプラ王山 (参加:64館、88名) (ア) 自然科学部門/鳳来寺山自然科学博物館 平成9年2月27日 (1) 会長挨拶:福田清彦氏(愛知県陶磁資料館館長) テーマ:「フィールド調査」/参加:22名 (イ)歴史民俗部門/武豊町中央公民館歴史民俗資料館 5月18日 (2) 第18回表彰 平成9年2月25日 テーマ:「鉄から鉄器へ(製鉄と鍛冶の技術)」/参加:40名 功労賞 春日井市道風記念館 主任 落合 哲氏 平成9年2月20日 (ウ) 美術部門/昭和美術館 前館長 下田光延氏 功労賞 東海銀行貨幣資料館 テーマ:「性差の心理学」「『ワシ、鷹から得る博物学』及び『博物館の使命』」 功労賞 日本モンキーセンター 飼育第一担当主任 棚橋 篤氏 博物館明治村 「『色彩学』展示施設との調和」「ブラックマット(写真、ネガフィルム、スライド等 管理リーダー 市野一雄氏 管理リーダー 村瀬忠男氏 功労賞 の専用整理ファイル)について」「収蔵品の保護シートについて」/参加:39名 ⑥東海地区協議会総会/岐阜県美術館 博物館明治村 鳳来寺山自然科学博物館 功労賞 6月20~21日 前館長 松井 保氏 功労賞 講演: 「活気ある博物館となるために」/参加:72館、118名(内愛知県 25名) 主任研究員 高橋 貴氏 野外民族博物館リト 10月3~4日 ①東海三県交流研修会/労働者研修センター 第21回 テーマ: 「これからの博物館「ユニークな博物館活動」」/参加: 67名(内愛知県 40名) (3) 愛知県博物館協会 役員及び実行委員名簿 ⑧協会発行物 役職名 館(園)名 代表者名 実行委員名 備考 (1) 「おでかけガイドー愛知の博物館 | 春・秋 (700部×2回)、 愛知県陶磁資料館 館長福田清彦 浅田員由 理事 会長 (2) 協会報「愛知の博物館」No.64~65 (30,000部×2回) 武田定雄 熱田神宮宝物館 館長 岡地幸雄 副会長 (3)「東西南北」(400部×1回) 一宮市博物館 館長 小川 守 毛受英彦 ⑨加盟館 館長成田守彦 荒井信貴 岡崎市郷土館 (1) 退会 1 館:半田空の科学館、(2) 新規加盟館 3 館:岡崎市美術博物館、 蟹汀町歴史民俗資料館 館長北川鉄裕 伊藤和彦 ルイス・C. ティファニー美術館、史料館 八丁味噌の郷 知多市民俗資料館 館長 伊藤昭正 新美博英 知立市歴史民俗資料館 館長 羽佐田錦弘 近藤文枝 でんきの科学館 館長 寺沢安正 大島明男 徳川美術館 館長 徳川義宣 小池富雄 豊橋市自然史博物館 平成9(1997)在 ①総会/ルブラ王山 (参加:58館、75名) (1) 会長挨拶:中村 眞氏 (愛知県陶磁資料館館長) 館長 古山保夫 井澤伸恵 5月27日 館長 樋口敬二 名古屋市科学館 佐伯平. (2) 第20回表彰 名古屋市植物館 館長清水 武 松本博行 日本モンキーセン 園長 小寺重孝 水野礼子 功労賞 愛知県陶磁資料館 主任学芸員 浅田員由氏 博物館明治村 館長 村松貞次郎 中野裕子 功労営 日本モンキーセンター 飼育第一担当主任 今井幸七氏 鳳来寺山自然科学博物館 熱田神宮宝物館 前館長 岡地幸雄氏 功労賞 加藤貞亨 館長 松井 保 監事 愛知県美術館 館長浅野 徹 木本文平 功労賞 名古屋市博物館 前館長 清水 武氏 業務員副主任 中田綾子氏 岡崎市郷土館 昭和美術館 館長 柳澤幸輝 海野嘉代 功労賞 名古屋市科学館 技師 服部俊二氏 功労賞 事務局 小川嘉彦 愛知県陶磁資料館副館長 庶務課長 感謝状 愛知県陶磁資料館 前館長 福田清彦氏

(3) 愛知県博物館協会 役員及び実行委員名簿

代表者名

館長 中村 真

備考 実行委員名

会長 佐藤一信

役職名 館(園)名

理事 愛知県陶磁資料館

庶務課長補佐

庶務課主查

浦山正幸 村瀬 寛

浅埜 勲

②理事会(計2回実施)

年月日	事	項		年月日		事	項		
	2 熱田神宮宝物館 2 安城市歷史博物館 2 百亩博物館 2 岡崎市美術博物館	館長 小串和夫 副会長 館長 天野鴨保 館長 尾関良英 館長 中根鎮夫	千秋季頼 近藤義行 久保禎子 荒井信貴			II盟館 4 館:尾西市三岸節子; 健康の森 健康科学総合センタ		術館、大口■	<b>丁歷史民俗資料館</b>
	<ul><li>でんきの科学館</li><li>徳川美術館</li><li>常滑市民俗資料館</li><li>豊橋市美術博物館</li></ul>	館長 内山俊一 館長 徳川義宣 館長 山本博光 館長 河合康道	新美治男 小池富雄 中野晴久 高橋洋充	平成11(1999)年 6月3日		リス愛知 (参加:63館、8 終拶:中村 眞氏(愛知県陶 団表彰			
	<ul><li>名古屋市科学館</li><li>名古屋市博物館</li></ul>	館長 樋口敬二 館長 光森進助	佐伯平二 犬塚康博		奨励賞 感謝状	名古屋市東山植物園 昭和美術館	横山 進氏		
	<ul><li>ル 日本モンキーセンター</li><li>ル 博物館明治村</li><li>ル 國来寺山自然科学博物館</li></ul>	園長 小寺重孝 館長 村松貞次郎 館長 横山良哲	水野礼子 中野裕子 加藤貞亨		(3) 愛知県 役職名	具博物館協会 役員及び実行委 館(園)名	員名簿 代表者名	備考	実行委員名
	### #################################	館長 横井 実 館長 浅野 徹 館長 柳澤幸輝 愛知県陶磁資料館副館長	鎌倉崇志 木本文平 海野嘉代		理事 " " " " " " " " " " " " " " " " " " "	愛知県陶磁資料館 熱田神宮宝物館 安城市歴史博物館 岡崎市美術博物館	館長 中村 真館長 二橋一彦館長 天野暢保館長 芳賀 徹	会長 副会長	佐藤一信 千秋季頼 近藤義行 荒井信貴
	峰 一臣 村瀬 寛 新川代二	n 底務課長 n 底務課課長補 n 底務課主査	佐		" "	甚目寺町歴史民俗資料館 でんきの科学館 徳川美術館 豊橋市自然史博物館	課長 斎藤宗久 館長 牧野督治 館長 徳川義宣 事務長 加藤章佑		内山伸也 喜田幸男 小池富雄 長谷川道明
9月11~12日	②理事会(計1回実施) ③実行委員会(計9回実施) ④職員研修会/サンピア岡崎 テーマ:「展示と展示手法」/参加:	53名			"	名古屋市科学館 名古屋市博物館 新美南吉記念館 日本モンキーセンター	館長 樋口敬二 館長 宮澤明倫 館長 榊原義夫 園長 小寺重孝		佐伯平二 犬塚康博 遠山光嗣 水野礼子
平成10年2月27日	<ul><li>③部門別研修会</li><li>(ア)自然科学部門/名古屋市科学館</li><li>テーマ:「プラスティネーションについて</li></ul>	「」「教育・展示用の標本作製について」	/参加:17名		"	博物館明治村 尾西市歴史民俗資料館 鳳来寺山自然科学博物館	館長 飯田喜四郎 館長 鵜飼龍二 館長 横山良哲		中野裕子 小林弘昌 加藤貞亨
平成10年2月19日 平成10年3月5日	(イ) 歴史民俗部門/一宮市博物館 テーマ:「活きている博物館〜歴史系  (ウ) 美術部門/エコパル名古屋	専物館のこれから〜」/参加:604	名		監事 ″ 事務局	愛知県美術館 昭和美術館 村瀬 寛	館長 長谷川三郎 館長 柳澤幸輝 愛知県陶磁資料館原	: W 30 E	深山孝彰 海野嘉代
6月19~20日	テーマ:「環境保全および美濃焼につい ⑥東海地区協議会総会/サンピア浜松 講演:「寿命と芸術ー博物館の果たす		知県 24名)		\$400 (a)	大羽市郎 宮島理恵	″ 原	務課主查 務課主事	
10月2~3日	①東海三県交流研修会/ぎふ長良川ハイ 第22回 テーマ:「地球」/参加:81名 ⑧協会発行物:	ツ		9月9~10日		†2回実施) ⊱(計10回実施) ≳/尾西グリーンプラザ			
	(1) 「おでかけガイドー愛知の博物館」春・ (3) 「東西南北」 1 回 ⑨加盟館	秋計2回、(2) 協会報「愛知の博物館	∐ No.66~67、	平成12年2月10日	テーマ: ⑤部門別研修	「新世紀へ向けての博物館」			
	(1) 退会3館:豊橋市地下資源館、三 (2) 新規加盟館1館:産業技術記念館		土館、	平成12年2月17日	(ア) 自然科学部門/東梁町 古戸の風穴 テーマ:「洞窟の自然観察」 参加: 19名 (イ) 歴史民俗部門/名古屋市博物館 テーマ: 「博物館におけるコミュニケーション―来館者調査と展示評価調査-」/参加: 62名				
平成10(1998)年	①総会/ルブラ王山 (参加:58館、83	& \		平成12年2月24日 7月7~8日	テーマ:	部門/愛知県美術館 「美術館危機の時代<不況対り 3議会総会/山梨厚生年金会館			
5月28日	(1) 会長挨拶:中村 眞氏 (愛知県陶 (2) 第21回表彰			10月28~29日	講演:「武 ⑦東海三県ダ	田信玄人気の秘密-公としての で流研修会/あいち健康の森	の戦国大名」/参加:56		
	功労賞 日本モンキーセンター 功労賞 半田市立博物館 奨励賞 博物館明治村	正雄氏		⑧協会発行物(1)「おで	ーマ:「マルチメディア時代の り かけガイドー愛知の博物館」 &「愛知の博物館」No.70~7:	春・秋計2回、	3名(内愛知	I県 34名)	
	(3) 愛知県博物館協会 役員及び実行委 役職名   館(園)名	計員名簿   代表者名   備考	実行委員名		⑨加盟館	南北」1回			
	理事 愛知県陶磁資料館  " 熱田神宮宝物館  " 安城市歴史博物館	館長中村 眞     会長       館長二橋一彦     副会長       館長天野暢保	佐藤一信 千秋季頼 峯村 敏		⑩特記	館:名古屋昆虫館(準備室) もと博物館研究会」発足			
	<ul><li>/ 岡崎市美術博物館</li><li>/ 甚目寺町歴史民俗資料館</li><li>/ でんきの科学館</li></ul>	館長 芳賀 徹 課長 斎藤宗久 館長 内山俊一	荒井信貴 内山伸也 新美治男						
	。 德川美術館 。 豊橋市自然史博物館 。 名古屋市科学館	館長 徳川義宣 館長 近藤洋一 館長 樋口敬二	小池富雄 長谷川道明 佐伯平二	平成12(2000)年 6月6日		:屋国際会議場 (参加:54章 挨拶:宮澤明倫氏(名古屋市 団表彰			
	<ul><li>7 名古屋市博物館</li><li>7 新美南吉記念館</li><li>9 日本モンキーセンター</li></ul>	館長 光森進助 館長 榊原義夫 園長 小寺重孝	犬塚康博 遠山光嗣 水野礼子			名古屋市博物館 名古屋市科学館	安達厚三氏 内藤晴枝氏		
	/ 博物館明治村 / 尾西市歷史民俗資料館	館長飯田喜四郎館長鵜飼龍二	中野裕子			具博物館協会 役員及び実行委 館(園)名	員名簿 代表者名	備考	実行委員名
	//	館長 横山良哲 館長 長谷川三郎	加藤貞亨 木本文平		理事	名古屋市博物館 熱田神宮宝物館	館長竹内 正館長二橋一彦	会長 副会長	犬塚康博 千秋季頼
	"         昭和美術館           事務局         長谷川和彦	館長 柳澤幸輝 愛知県陶磁資料館副館長	海野嘉代		"	愛知県陶磁資料館 稲沢市荻須記念美術館 岡崎市美術博物館	館長 篠田和俊 館長 後藤郁夫 館長 芳賀 徹		佐藤一信 日野幸治 天野幸枝
	堤髪孝彦 峰 一臣	" 管理部長 " 庶務課長			"	両崎市実術博物館 武豊町歴史民俗資料館 でんきの科学館	館長石川 昇館長 牧野督治		奥川弘成 喜田幸男
	村瀬 寛 大羽市郎	n 庶務課長補佐 n 庶務課主査			"	徳川美術館 豊田市郷土資料館	館長 徳川義宣館長 安藤 勇		小池富雄 松井孝宗
	②理事会(計1回実施) ③実行委員会(計11回実施)				"	トヨタ博物館 豊橋市美術博物館	館長 山本厚夫 館長 藤井 隆		鈴木忠道 高橋洋充
9月10~11日	<ul><li>④職員研修会/半田勤労福祉会館 テーマ:「科学館におけるインターネ ⑤部門別研修会</li></ul>	ット利用」/参加:49名			"	名古屋市科学館 博物館明治村	館長 樋口敬二 館長 飯田喜四郎		佐伯平二 中野裕子
平成11年2月9~10日	(ア) 自然科学部門/スターフォレス l テーマ:「冬の屋外観察と指導法」/				" 監事	鳳来寺山自然科学博物館 弥富町歴史民俗資料館 愛知県美術館	館長 横山良哲 館長 稲垣 厚 館長 長谷川三郎		加藤貞亨 伊藤隆彦 深山孝彰
平成11年3月4日	(イ) 歴史民俗部門/名古屋市美術館 テーマ:「博物館・美術館ワークショ				事務局	昭和美術館 堤 時啓	館長 柳澤幸輝 名古屋市博物館		海野嘉代
平成11年3月17日	(ウ) 美術部門/愛知県美術館 テーマ:「美術館の保存」/参加:80:	名			平(7)円	鈴木知之 早川彰夫	一石白座甲暦初期 //		
7月7~8日	⑥東海地区協議会総会/ルプラ王山 講演:「博物館活動における市民参加	」/参加:78館、110名(内愛知県	艮 46名)			佐藤行雄	"		
10月28~29日	①東海三県交流研修会/神宮会館 第23回 テーマ: 「博物館考~内から外	トから」/参加:80名(内愛知県	19名)			(計9回実施)			
	<ul><li>⑧協会発行物</li><li>(1)「おでかけガイドー愛知の博物館」</li></ul>			9月7~8日	テーマ:	:/豊田市美術館 「学校と博物館-2002年総合:	学習の導入にむけて-	-」/参加	62名
	(2) 協会報「愛知の博物館」No.68~6 ⑨加盟館			平成13年2月17日	(ア) 自然科	(会/愛知県美術館 学部門/名古屋市科学館   歴動館際景等 パパラン教室	/dohn - no tr		
	(1) 退会 2 館:鈴木そろばん博物館、	ルイス・U.ティファニー美術館、			<b>ァーマ:</b> 「	博物館職員等パソコン教室」	/ 参加:20名		

年月日		事	項			年月日			事	項			
亚出19年2日1日	(4) EthE	(A)					· —	,	鳳来寺山自然科学博物館	館長 横山良哲	1	加藤貞亨	
	テーマ:	格部門/博物館明治村 「博物館資料の修復・保存・注	舌用」/参加:34名				!	監事	昭和美術館	館長 柳澤幸輝		普天間公美	
	テーマ:	『門/愛知県美術館 「ドキュメンテーションの今」	/ 参加:34名				4	事務局	名古屋市科学館 堤 時啓	館長 樋口敬二 名古屋市博物館		佐伯平二	
7月11~12日	<ul><li>⑥東海地区協議会総会/横浜美術館 講演:「絵とき 開港と横浜」/参加:69館、92名(内愛知県 13名)</li></ul>								鈴木知之 早川彰夫	"			
10月31日~11月1日		交流研修会/長良川市 ・−マ:「21世紀を迎える博特	勿館  /参加:58名	内愛知県	16名)				佐藤行雄	"			
	<ul><li>8協会発行物</li><li>(1)「おで</li><li>(2)協会</li><li>9加盟館</li></ul>	物 かけガイドー愛知の博物館」 服「愛知の博物館」No.72~7	春·秋計2回、 3			12月5~6日	②理事会(計1回実施) ③実行委員会(計1回実施) ③職員研修会/名古屋市博物館 テーマ:「[共通検索]など博物館における資料情報共有システムについて] /参				€ (141名)		
	(1) 新規 ⑩特記	加盟館3館:美術の森、名古鳥	<b>屋ボストン美術館、名</b>	古屋港水族	館	④部門別研修会 平成15年2月2日 (ア) 自然科学部門/みのかも文化の森							
		まい‼愛知のミュージアム展 もと博物館研究会」	」説明会・企画委員会	≩開催		平成15年2月18日		テーマ: 「2,000万年の森の痕跡を訪ねる」/参加:8名 (イ) 歴史民俗部門/豊田市産業文化センター					
						平成15年1月18日	(ウ	·)美術 -マ:「	民俗芸能と古文書修復につい 部門/名古屋市美術館 ダーナ・ウエルトン女史(駐名	右古屋米国領事) を迎え	えてのイン		
平成13(2001)年 5月8日		古屋市博物館 (参加:59館 挨拶:宮澤明倫氏(名古屋市 無し				『応援しています! 日米の美術館と私』」/参加:30名 7月4~5日   ③東海地区協議会総会、静岡県立美術館 講演:「東アジアの茶文化」/参加:91名 (内愛知県 16名) 10月24~25日   ⑤東海三県交流研修会/産業技術記念館							
		県博物館協会 役員及び実行委 │ 館(園)名	損名簿   代表者名	備考	中仁委員友			7回 テ・ ・発行物	ーマ:「参加体験型展示。事 !	業の現況と展望]/参	加:57名(7	内愛知県 29名)	
	役職名 理事	名古屋市博物館	館長竹内 正	会長	実行委員名 田中青樹		(1)	「おで	・ かけガイドー愛知の博物館」 夏「愛知の博物館」No.76~7:				
	"	でんきの科学館 愛知県陶磁資料館	館長 宮地清美 館長 篠田和俊	副会長	真野博美 佐藤一信		⑨加盟	題館	盟館4館:ノリタケの森クラフ		EF HIR Market	ニナフカノリ 幼	
	"	熱田神宮宝物館 稲沢市荻須記念美術館	館長 二橋一彦 館長 後藤郁夫		千秋季頼 日野幸治			三河武	並照4m・プリタケの森クラブ  士のやかた家康館、岡崎市9		厉俘彻路	ナイスタイル店、	
	"	岡崎市美術博物館 武豊町歴史民俗資料館	館長 芳賀 徹館長 石川 昇		浦野加穂子 奥川弘成			子ども	と博物館研究会				
	"	徳川美術館 豊田市郷土資料館	館長 徳川義宣 館長 畔柳寿文		小池富雄 松井孝宗				るということは?〜学芸員が 会場:一宮市博物館 [平成]			」展	
	"	トヨタ博物館 豊橋市美術博物館	館長 山本厚夫 館長 藤井 隆		鈴木忠道 高橋洋充		(2)	「愛博	協ホームページ」開始				
	"	名古屋市科学館 博物館明治村	館長 樋口敬二館長 飯田喜四郎		佐伯平二 中野裕子								
	"	鳳来寺山自然科学博物館 弥富町歴史民俗資料館	館長 横山良哲館長 稲垣 厚		加藤貞亨	平成15(2003)年 6月26日			県美術館 (参加:69館、7 挨拶:市川政憲氏(愛知県美				
	監事	愛知県美術館	館長 長谷川三郎		深山孝彰		(2)	第25回		学芸部長兼学芸課」	3、洋田昌)	+ut-	
	事務局	昭和美術館 堤 時啓	館長 柳澤幸輝 名古屋市博物館		加藤香菜子			力分質	設楽町奥三河郷土館	前館長 鈴木登美		пд	
		藤田博康 大坪眞人	"						具博物館協会 役員及び実行委				
	@W#A /4	佐藤行雄	"				_	受職名 理事	愛知県美術館	代表者名 館長 市川政憲	備考 会長	実行委員名 深山孝彰	
		会(計9回実施)						"	でんきの科学館 愛知県陶磁資料館	館長 宮地清美 館長 川上 實	副会長	喜田幸男 佐藤一信	
11月29~30日		会/稲沢市勤労福祉会館 「美術館・博物館における"	連携"」/参加:46名					"	熱田神宮宝物館 一宮市博物館	館長 二橋一彦 館長 小野田雅一		佐竹俊郎 久保禎子	
平成14年2月6日	⑤部門別研( (ア) 自然	多会 《科学部門/鳳来町						"	大府市歷史民俗資料館 岡崎市美術博物館	館長 沓名 勝 館長 芳賀 徹		小島美智子 浦野加穂子	
平成14年2月15日		「中央構造線沿いの岩石露頭の 2民俗部門/武豊町中央公民		′参加:12名	i			"	津島児童科学館 徳川美術館	館長 恒川卓巳 館長 徳川義宣		吉田富子 並木昌史	
平成14年2月14~15日		「地域・住民と博物館、資料館 部門/愛知県美術館	馆」/参加:16名					"	豊田市郷土資料館 トヨタ博物館	館長 畔柳寿文 館長 山本厚夫		伊藤智子	
6月7~8日		「鋳造彫刻作品の収蔵・展示。 協議会総会/高山市民文化会		ついて] /	参加:20名			"	豊橋市自然史博物館 名古屋市博物館	館長 糸魚川淳二 館長 竹内 正		藤原直子 長谷川葉子	
8月2~3日	講演:古信	代飛騨文化の特質/参加:52 交流研修会/伊勢シティホテ	館、87名(内愛知県	14名)				"	博物館明治村	館長 飯田喜四郎		中野裕子	
0,12 011		ーマ:「博物館と学校-総合的な		/参加:103名	(内愛知県 21名)		!	监事	鳳来寺山自然科学博物館 昭和美術館	館長 横山良哲館長 柳澤幸輝		加藤貞亨 普天間公美	
	(1)「おて	ッ ・かけガイド-愛知の博物館」 報「愛知の博物館」No.74~7					4	事務局	名古屋市科学館 木本文平	館長 樋口敬二 愛知県美術館企画等	<b>等及課長</b>	佐伯平二	
	⑨加盟館		3						奥村 正 森 明美	"	業務課課		
	(2) 新規	l館:蒲郡ファンタジー館、 加盟館2館:サイクル・ギャ	ラリー・ヤガミ、鍛造	造技術の館					1回実施)				
		まい!! 愛知のミュージアム原				10月30~31日	④職員	員研修会	· (計8回実施) 於/博物館明治村				
	(2)「愛博	: 名古屋市博物館[7月14日 :協ホームページ」説明会(9		斗学館)			⑤部門	別研修					
	(3)「子ど	もと博物館研究会」				9月10日			科学部門/豊橋市自然史博物 使える植物標本入門講座」/				
						平成16年2月18日			民俗部門/一宮市博物館 印刷技術の歴史とこれから~博特	勿館におけるこれからの	図録づくり~	~」/参加:39名	
平成14(2002)年 6月20日		印県美術館 (参加:56館、2 挨拶:宮澤明倫氏(名古屋市				平成16年2月27日			部門/トヨタ博物館 美術工芸品の梱包及び展示技	支法について」/参加	1:22名		
	(2) 第24		交換士 斎藤瀟子!	r.		7月16日	⑥東海	毎地区協	ス議会総会/愛知芸術文化セン スメディアと博物館・美術	ンター			
		県博物館協会 役員及び実行委	•			11月12~13日	⑦東海	毎三県交	ぶ硫研修会/大垣市スイトビ −マ:「元気の出る博物館活	アセンター		16名)	
	役職名	館(園)名	代表者名	備考	実行委員名		⑧協会	<b>発行物</b>			132/41/10	1011/	
	理事	愛知県美術館 でんきの科学館	館長長谷川三郎館長宮地清美	会長 副会長	深山孝彰 喜田幸男		(2)	協会執	が()ガイドー変和の博物館」 限「愛知の博物館」No.78~79				
	"	愛知県陶磁資料館 熱田神宮宝物館	館長 戸塚理人 館長 二橋一彦		佐藤一信 佐竹俊郎			退会1	館:ヒマラヤ美術館、(2)新		<b>丁七宝焼ァ</b> ー	-トヴィレッジ、	
	"	一宮市博物館 大府市歴史民俗資料館	館長 馬場康雄 館長 沓名 勝		久保禎子 小島美智子		Ĭ	西尾市	岩瀬文庫、はるひ美術館、菩	提樹館			
	"	岡崎市美術博物館 津島児童科学館	館長 芳賀 徹 館長 佐藤吉泰		浦野加穂子 吉田富子								
	"	徳川美術館 豊田市郷土資料館	館長 徳川義宣館長 畔柳寿文		小池富雄 天野博之								
	,,	トヨタ博物館	館長 山本厚夫		鈴木忠道								
	,,	豊橋市自然史博物館 名古屋市博物館	館長 糸魚川淳二 館長 竹内 正		藤原直子田中青樹								
	"	博物館明治村	館長 飯田喜四郎		中野裕子								

# $\prod$

# 愛知県博物館協会10年のあゆみ

- ●ここ10年の活動の特徴
- 年表(平成16年度~平成25年度までの愛知県博物館協会のあゆみ)

# ここ10年の活動の特徴

ここでは平成16年 $\sim$ 25年度(2004 $\sim$ 2013年度)までの10年間の活動とその特色について、先の「愛知県博物館協会のあゆみ」 ( $P6\sim7$ ) に続く内容をまとめる。

この10年は、多数の施設が新たに建設される時代では無く、年度毎の加盟・退会数も数館ずつの増減で推移し、継続的に100館以上が加盟する組織となっている。(平成26年度末115館)

その中で、日本全体に大変な影響を与えた のが平成23年(2011年)3月11日の「東日 本大震災 | である。大震災から4年以上経 過したが、復興はまだ道半ばである。実は 当協会の10年という期間を資料で振り返る と、最大震度7の直下型地震である中越地震 が平成16年(2004年)10月23日に発生して おり、翌平成17年度の総会において「災害 に備えて・・中越地震を経験から」と題し、 十日町市博物館の石原正敏氏を招聘して講演 会を実施した。同じく平成17年度の職員研 修でも「災害について考える-地震-」を テーマにしており、10年前から震災への取 り組みを始めていたことがわかる。東日本大 震災は、日本はどこにおいても「明日は我が 身 | であることを誰もが実感した災害で、特 に愛知県は「東海・東南海地震」に備える必 要がある。大震災後は当協会の講演会で「東 日本大震災が起きてからのこと一心の動揺と 葛藤| 「現地からの報告-東日本大震災の文 化財レスキュー事業-| 「被災文化財等救援 委員会による文化財レスキュー」で講師を招 聘し、研修会では「収蔵品を守るために」

「阪神淡路大震災に遭遇して」「被害者が美術館・博物館に望むこと」といった講演や、 地震対策の施された施設の視察、企業による 免震装置の説明、体験者の講演など震災を風 化させること無いような内容を選択して取り 組んできた。

震災のような災害時にも連携の一助となりうる協会になっていけることも見据え、規約の大幅改訂を行ったことは、この10年の中で最大の改革である(巻末資料の旧規約と新規約参照)。旧規約では、総会の定足

数や議決、理事会の構成など不明瞭であった 表記を、新規約では明記し、(事業)の中に 「災害発生時における相互協力の支援」を入 れることで、時代に即した改訂を行った。

また、IT化が進み誰もがスマートフォン でインターネット環境を持ち歩くことも可 能となった昨今、情報発信、引き出せる情 報として、インターネットの「webページ」 の役割は益々大きくなっている。そのた め、平成14年 (2002年) に立ち上げた当協 会のwebを平成21年度(2009年)に改訂し た。過去の発行物も可能な限りpdf化して情 報として取り出しやすくなった。また、協会 報「愛知の博物館」も編集は継続しながら印 刷物の製作を取りやめ、96号からwebにおけ るpdf公開のみとした。年間2回の紙による 発行を廃止することで一部経費を研修の充実 やwebページの充実に回すことにしている。 このため、印刷していない96号から99号を この記念誌にまとめて掲載している。また、 「職員録」の発行も取りやめたが、これは職 務とはいえ個人情報を掲載することに対して 慎重となる時代背景に則った対処でもある。

研修では、「自然科学部門」「歴史部門」「美術部門」と扱う分野における部門別に研修を開催してきたが、途中から「教育・普及部門」「調査・研究部門」「保存・修復部門」と研修内容を変えた。総会定例の講演会の代わりに「各館発表」として参加館が自分の施設紹介を行った年もあり、分野を超えた博物館施設の職員の交流をはかるために、各館の要望や実行委員会の話し合いの中で事業の方針も検討し、実施内容を適宜変更している。

取り扱う内容も、施設規模もかなり多彩で 地域性からか、緩やかな地域の連携である 当協会は、従来の方針を維持していく部分 と変革が求められる部分も出てくることが 予想されるが、博物館活動の充実という共 通の目的は変わらないため、活発な情報交換 を行って充実した活動を目指していくことが 期待されている。

(文責) 名古屋市科学館学芸係長 鈴木雅夫

年月日	事	項
平成16(2004)年		
6月25日	①総会/ルブラ王山(参加62館、83名	)
	(1) 会長あいさつ:樋口敬二(名さ	(屋市科学館長)

(1) 会長あいさつ:樋口敬二(名古屋市科学館長)(2) 協会表彰 功労賞 鈴木忠通(トヨタ博物館)(3) 愛知県博物館協会役員及び実行委員名簿

役職名	館(園)名	代表者名	備考	実行委員名
理事	名古屋市科学館	館長 樋口敬二	会 長	松河 功
"	トヨタ博物館	館長 西崎元治	副会長	宗沢清美
"	愛知県美術館	館長 市川政憲		深山孝彰
"	熱田神宮宝物館	館長 渡邉 肇		佐竹俊郎
"	尾西市三岸節子記念美術館	館長 宮田和義		伊藤和彦
"	東海市立平州記念館・郷土資料館	館長 立松 彰		永井信明
"	岡崎市美術博物館	館長 芳賀 徹		浦野加穂子
"	佐織町中央公民館・歴史民俗資料室	館長 川口 均		石田泰弘
"	昭和美術館	館長 柳澤幸輝		普天間公美
"	豊田市郷土資料館	館長 畔柳寿文		伊藤智子
"	でんきの科学館	館長 宮地清美		喜田幸男
"	豊橋市美術博物館	館長 藤井 隆		岡田亘世
"	名古屋市博物館	館長 竹内 正		美和文代
"	博物館明治村	館長 飯田喜四郎		中野裕子
"	鳳来寺山自然科学博物館	館長 横山良哲		加藤貞亨
監 事	徳川美術館	館長 徳川義宣		並木昌史
"	愛知県陶磁資料館	館長 川上 寛		佐藤一信

②理事会(計1回)

③ 宝行委員会 (随時)

10月8日9日 ④東海三県博物館協会交流研修会/三重県立美術館ほか

総勢60名参加

11月4日5日 ⑤愛知県職員等研修会/ウェルサンピア岡崎ほか

テーマ:資料保存と環境整備 2004年末臭化メチル全廃にむけて

参加者 1日目38名 2日目14名

日付不明 ⑥部門別研修会

(ア) 自然科学部門研修会/フィールドワーク

テーマ:奥三河地質と地下資源

平成17年3月4日 (イ) 歴史民俗部門研修会/佐織町中央公民館

テーマ:資料をいかに保存しているべきか

参加者23名

3月12日 (ウ)美術部門研修会/豊橋美術博物館ほか

テーマ:資料保存の考え方と実際

参加者20名

⑦協会発行物

(1) お出かけガイド 愛知の博物館 春・秋 計2回

(2) 協会報「愛知の博物館」80-81

⑧加盟館

入会 3館 退会 1館

#### 平成17(2005)年

6月23日(木) ①総会/ルブラ王山(参加52館、73名)

(1) 会長あいさつ:加藤哲夫 (トヨタ博物館 副館長)

(2) 協会表彰

功労賞 糸魚川淳二 (前豊橋市自然史博物館長)

功労賞 井上喜久男 (愛知県陶磁美術館主任学芸員)

功労賞 樋口敬二 (前名古屋市科学館館長)

(3) 愛知県博物館協会役員及び実行委員名簿

役職名	館(園)名	代表者名	備考	実行委員名
理 事	名古屋市科学館	教育長 岡田 大	会 長	鎌田隆行
"	トヨタ博物館	館長 加藤哲夫	副会長	宗沢清美
"	愛知県美術館	館長 市川政憲		深山孝彰
"	熱田神宮宝物館	館長 宮田理博		佐竹俊郎
"	尾西市三岸節子記念美術館	館長 小野田雅一		伊藤和彦
"	東海市立平州記念館・郷土資料館	館長 立松 彰		永井信明
"	岡崎市美術博物館	館長 芳賀 徹		浦野加穂子
"	愛西市佐織歴史民俗資料室	館長 神田澄雄		石田泰弘
"	昭和美術館	館長 柳澤幸輝		普天間公美
"	豊田市郷土資料館	館長 森下哲行		伊藤智子
"	でんきの科学館	館長 宮地清美		寺内 泉
"	豊橋市美術博物館	館長 金原宏行		岡田亘世
"	名古屋市博物館	館長 竹内 正		美和文代
"	博物館明治村	館長 飯田喜四郎		中野裕子
"	鳳来寺山自然科学博物館	館長 横山良哲		加藤貞亨
監 事	徳川美術館	館長 徳川義宣		並木昌史
"	愛知県陶磁資料館	館長 佐治泰直		佐藤一信

②理事会(計1回)

③実行委員会(8回)

11月4日 ④東海三県博物館協会交流研修会/名古屋市科学館

年月日 事 項

テーマ:学校と博物館の連携

参加者36名参加

11月16日17日 ⑤愛知県職員等研修会/愛知県芸術文化センターほか

テーマ:災害について考える

参加者 81名

平成18年2月17日 ⑥部門別研修会

(ア) 自然科学部門研修会/岐阜県各務原市

テーマ:石器づくり?史上最大の静物絶滅事件に思いをはせながら

2月24日 (イ) 美術・歴史民俗部門研修会/愛知県芸術文化センター

テーマ:災害に備える

参加者38名 ⑦協会発行物

(1) お出かけガイド 愛知の博物館 春・秋 計2回

(2) 協会報「愛知の博物館」82-83

⑧加盟館

入会 1館 退会 5館

平成18(2006) 泊

6月16日(金) ①総会/ルブラ王山(参加63館、75名)

(1) 会長あいさつ:大野憲博(愛知県陶磁資料館 館長)

(2) 協会表彰

功労賞 小野田雅一 (一宮市博物館長)

功労賞 馬場高夫 (前新城市長篠城址史跡保存館長)

功労賞 横山 進 (名古屋市東山総合公園事務局東山植物指導園芸係主事)

功労賞 横山良哲 (前新城市鳳来寺山自然科学博物館長)

(3) 爱知思博物館協会得昌及75宝行委昌夕簿

(3) 愛知県博物館協会役員及び実行委員名薄						
役職名	館(園)名	代表者名	備考	実行委員名		
理事	愛知県陶磁資料館	館長 大野憲博	会 長	佐藤一信		
"	トヨタ博物館	館長 中山政憲	副会長	長谷川壮		
"	愛知県美術館	館長 市川政憲		深山孝彰		
"	熱田神宮宝物館	館長 宮田理博		佐竹俊郎		
"	稲沢市荻須記念美術館	館長 石田秀雄		日野幸治		
"	知多市歴史民俗博物館	館長 千賀康雄		石川秀男		
"	岡崎市美術博物館	館長 芳賀 徹		浦野加穂子		
"	七宝町七宝焼きアートビレッジ	館長 佐藤茂満		小林弘昌		
"	昭和美術館	館長 柳澤幸輝		普天間公美		
"	豊田市郷土資料館	館長 森下哲行		杉浦裕幸		
"	でんきの科学館	館長 中西正男		寺内 泉		
"	豊橋市自然史博物館	館長 柴田 博		吉川博章		
"	名古屋市科学館	館長 柳田博明		鎌田隆行		
"	博物館明治村	館長 飯田喜四郎		中野裕子		
"	新城市鳳来寺山自然科学博物館	館長 加藤貞亨		鈴木隆司		
監 事	徳川美術館	館長 徳川義宣		並木昌史		
"	名古屋市博物館	館長 竹内 正		塚本松市		

②理事会(計1回)

③実行委員会(8回)

7月14日 ④東海地区博物館連絡協議会/セラミックパークMINO

参加者 10名

11月14日15日 ③東海三県博物館協会交流研修会/高山市立図書館ほか

テーマ:地域文化と公共施設

参加者12名

10月19日20日 ⑥愛知県職員等研修会/七宝町七宝焼きアートビレッジ

テーマ:地域に根ざした博物館活動のために

参加者 46名

平成19年2月14日 ⑦部門別研修会

(ア) 自然科学部門研修会/蒲郡情報ネットワークセンター・生命の海科学館

テーマ:食卓で学ぶ自然史

2月24日 (イ) 居

(イ) 歴史民俗部門研修会/みのかも文化の森 美濃加茂市民ミュージアム

テーマ:子どもたちに対する博物館活動

参加者37名

3月1日 (ウ)美術部門/愛知県芸術文化センターほか

テーマ:美術館・博物館の照明について

参加者37名

⑧協会発行物

(1) お出かけガイド 愛知の博物館 春・秋 計2回

(2) 協会報「愛知の博物館」84-85

⑨加盟館

退会 6館

年月日	事 項	年月日	事項
平成19(2007)年			"         名古屋市科学館         館長 石丸典生         尾坂知江子
	①総会/陶磁資料館(参加57館、88名)		"     名古屋市科学館     館長 石丸典生     尾坂知江子       "     博物館明治村     館長 飯田喜四郎     中野裕子
,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	(1) 会長あいさつ: 大野憲博 (愛知県陶磁資料館 館長)		〃 東浦町郷土資料館 館長 山下哲男 楠美代子
	(2) 協会表彰		監 事 徳川美術館 館長 徳川義崇 志賀太郎
	功労賞 井上光夫 (前名古屋市博物館副館長)		/
	功労賞 奥出賢治 (前名古屋市博物館学芸員)		②理事会(計1回) ③実行委員会(10回)
	功労賞 佐藤豊三 (財団法人徳川美術館専門参与)	7月25日	③夫们安貝云(10回) ④東海地区博物館連絡協議会/静岡県立美術館
	功労賞 水野礼子 (財団法人日本モンキーセンター学芸員)	7 )12311	参加者 49名
	(3) 愛知県博物館協会役員及び実行委員名簿	10月22日23日	⑤東海三県博物館協会交流研修会/愛知県芸術文化センターほか
	役職名     館(園)名     代表者名     備考     実行委員名       理 事 愛知県陶磁資料館     館長大野憲博     会長佐藤一信	/	テーマ:来館者の心をつかむ?自然系博物館に学ぶ?
	/ トヨタ博物館 館長 川本常敬 副会長 長谷川壮		参加者52名
	″ 愛知県美術館 館長 牧野研一郎 拝戸雅彦	10月22日	⑥愛知県職員等研修会/愛知県芸術文化センター
	〃 熱田神宮宝物館 館長 宮田理博 奥山哲也		講演会:石田おさむ氏(帝京科学大学教授)
	" 稲沢市荻須記念美術館 館長 服部祐二 日野幸治           " 知乡市歴史民俗博物館 館長 千賀康雄 石川秀男		参加者 47名
	// 周崎市美術博物館 館長 芳賀 徹 千葉真智子	平成20年2月7日	⑦部門別研修会
	″ 七宝町七宝焼きアートビレッジ 館長 横田秀次 小林弘昌		(ア) 自然科学部門研修会/愛知学院大学歯学部
	〃 昭和美術館 館長 柳澤幸輝 江川真寿美		テーマ: 3次元で資料の中を見る?マイクロCT活用の可能性を探る?
	"         豊田市郷土資料館         館長 森下哲行         杉浦裕幸           "         でんきの科学館         館長 小島 剛         中川優子		参加者9名
	プ Cんさの科子館	2月11日	(イ) 歴史民俗部門研修会/豊橋市美術博物館
	// 名古屋市科学館         館長 石丸典生         鎌田隆行		テーマ:生きた文化財に触れる?祭礼と建築
	〃 博物館明治村 館長 飯田喜四郎 中野裕子	2月18日	参加者32名 (ウ) 美術部門/愛知県芸術文化センター
	"新城市鳳来寺山自然科学博物館」館長 加藤貞亨   加藤貞亨   加藤貞亨	2 / 10	(ウ) 天帆印 1/ 愛和原云帆又 1/ モンター テーマ:美術活動の広がり?協会をこえて?
	監事     徳川美術館     館長 徳川義宣     志賀太郎       "名古屋市博物館     館長 岡田 大     塚本松市		参加者33名
	②理事会 (計1回)		⑧協会発行物
	③実行委員会 (9回)		(1) お出かけガイド 愛知の博物館 春・秋 計2回
7月25日	④東海地区博物館連絡協議会/靜岡県立美術館		(2) 協会報「愛知の博物館」88-89
	参加者 15名		9加盟館
10月23日24日	⑤東海三県博物館協会交流研修会/ウェルサンピア伊賀ほか		退会 1館
	テーマ:地域文化と公共施設		
	参加者12名	平成21(2009)年	
10月4日5日	⑥愛知県職員等研修会/新舞子まなビレッジ南浜荘ほか	6月18日 (木)	①総会/名古屋市教育館(参加54館、86名)
	テーマ:知多半島西海岸の風物詩		(1) 会長あいさつ:岡田 大 (名古屋市博物館 館長)
	参加者 50名		(2) 協会表彰
平成20年2月7日	⑦部門別研修会		功労賞 西川 稔 (トヨタ博物館 学芸員)
	(ア) 自然科学部門研修会/一宮市博物館		功労賞 松井孝宗 (豊田市郷土資料館副主幹)
	テーマ:学校教育(教科)と連携した学習教材及び展示の開発と実践 参加者49名		功労賞 金子 功 (元御園高原自然学習村 所長)
2月21日	参加有49石 (イ)歷史民俗部門研修会/名古屋市博物館		功労賞 鈴村正則 (岡崎市美術博物館 副主幹) 奨励賞 飯田喜四郎 (博物館明治村 館長)
2/12111	テーマ:文化財写真を撮る		(3) 愛知県博物館協会役員及び実行委員名簿
	参加者26名		役職名 館(園)名 代表者名 備考 実行委員名
2月14日	(ウ) 美術部門/愛知県芸術文化センターほか		理 事 名古屋市博物館 館長 岡田 大 会 長 岡村弘子
	テーマ: h p を良くするためのコツ		〃 トヨタ博物館 館長 川本常敬 副会長 藤井麻希
	参加者23名		"         愛知県陶磁資料館         館長 木村忠史         佐藤一信           "         熱田神宮宝物館         館長 宮田理博         奥山哲也
	⑧協会発行物		ッ 一宮市博物館 館長 小崎輝政 坪内淳仁
	(1) お出かけガイド 愛知の博物館 春・秋 計2回		〃 蟹江町歴史民俗博物館 館長 河合 保 大野麻子
	(2) 協会報「愛知の博物館」86-87		〃 昭和美術館 館長 柳澤幸輝 澤田亜希子
	⑨加盟館		"新城市鳳来寺山自然科学博物館」館長 加藤貞亨         加藤貞亨           "でんきの科学館         館長 小島 剛         加藤優子
	入会 1館		"     でんきの科学館     館長 小島 剛     加藤優子       "     豊田市郷土資料館     館長 伊藤達也     伊藤智子
₩#00/0000\			" 豊橋市美術博物館 館長 金丸宏行 丸地加奈子
平成20(2008)年 6月19日(木)			″ 名古屋市科学館 館長 石丸典生 尾坂知江子
6月19日 (本)	①総会/名古屋市博物館(参加56館、77名) (1) 会長あいさつ: 岡田 大(名古屋市博物館 館長)		" 博物館明治村     館長 飯田喜四郎     中野裕子       " 東浦町郷土資料館     館長 山下哲男     楠美代子
	(1) 云灰のいさり・岡田 人 (石百座甲牌物館 昭文) (2) 協会表彰		n     東浦町郷土資料館     館長 山下哲男     楠美代子       監事     徳川美術館     館長 徳川義崇     志賀太郎
	(2) (4) 2, 4, 4)		″ 愛知県美術館 館長 牧野研一郎 森 美樹
	功労営 立松 彰 (東海市立平洲記今館・郷土資料館長)		
	功労賞 立松 彰 (東海市立平洲記念館・郷土資料館長) 功労賞 柳原 保 (愛知学院大学爾学部線科資料展示字委員会副委員長)		②理事会 (計1回)
	功労賞 立松 彰 (東海市立平洲記念館・郷土資料館長) 功労賞 柳原 保 (愛知学院大学博学部歯科資料展示室委員会副委員長) 功労賞 山本秦一 (財団法人徳川美術館名誉副館長)		②理事会 (計1回) ③実行委員会 (9回)
	功労賞 柳原 保 (愛知学院大学歯学部歯科資料展示室委員会副委員長)	7月24日	
	功労賞 柳原 保 (愛知学院大学樹学部樹科資料展示室委員会副委員長) 功労賞 山本泰一 (財団法人徳川美術館名誉副館長)		③実行委員会(9回) ④東海地区博物館連絡協議会/山梨県立博物館 参加者 7名
	功労賞         柳原         保         (愛知学院大学牌学部懶科資料展示室委員会副委員長)           功労賞         山本泰一         (財団法人徳川美術館名誉副館長)           (3) 愛知県博物館協会役員及び実行委員名簿         健職名         館(園)名         代表者名         備考         実行委員名           理         事         名古屋市博物館         館長 岡田 大 会長 塚本松市	7月24日 11月19日	③実行委員会(9回) ④東海地区博物館連絡協議会/山梨県立博物館 参加者 7名 ⑤東海三県博物館協会交流研修会/岐阜県美術館
	功労賞         柳原         保         (愛知学院大学博学部歯科資料展示室委員会副委員長)           功労賞         山本泰一         (財団法人徳川美術館名營副館長)           (3) 愛知県博物館協会役員及び実行委員名簿         役職名         館(園)名         代表者名         備考         実行委員名           理         事 名古屋市博物館         館長 岡田 大 会長 塚本松市         。         より博物館         館長 川本常敬         副会長         藤井麻希		③実行委員会 (9回) ④東海地区博物館連絡協議会/山梨県立博物館 参加者 7名 ⑤東海三県博物館協会交流研修会/岐阜県美術館 テーマ:環境と人に優しい博物館-文化財の保存と博物館の環境
	功労賞         柳原         保         (愛知学院大学博学部解科資料展示室委員会副委員長)           功労賞         山本泰一         (財団法人徳川美術館名誉副館長)           (3)         愛知県博物館協会役員及び実行委員名簿           役職名         館(園)名         代表者名         備考         実行委員名           理         事 名古屋市博物館         館長 岡田 大 会 長 塚本松市           "         トヨタ博物館         館長 川本常敬         副会長         藤井麻希           "         愛知県陶磁資料館         館長 木村忠史         佐藤一信	11月19日	③実行委員会 (9回) ①東海地区博物館連絡協議会/山梨県立博物館 参加者 7名 ③東海三県博物館協会交流研修会/岐阜県美術館 テーマ:環境と人に優しい博物館-文化財の保存と博物館の環境 参加者19名
	功労賞         柳原         保         (愛知学院大学博学部歯科資料展示室委員会副委員長)           功労賞         山本泰一         (財団法人徳川美術館名誉副館長)           (3)         愛知県博物館協会役員及び実行委員名簿           役職名         館(園)名         代表者名         備考         実行委員名           理         事名占屋市博物館         館長 岡田 大 会 長 塚本松市           "         トヨタ博物館         館長 川本常敬         副会長         藤井麻希           "         愛知県陶磁資料館         館長 木村忠史         佐藤一信		③実行委員会 (9回) ④東海地区博物館連絡協議会/山梨県立博物館 参加者 7名 ⑤東海三県博物館協会交流研修会/岐阜県美術館 テーマ:環境と人に優しい博物館-文化財の保存と博物館の環境 参加者19名 ⑥愛知県職員等研修会/岡崎市図書館交流プラザ りぶら
	功労賞         柳原         保         (愛州学院大学博学部懶科資料展示室委員会副委員長)           功労賞         山本泰一         (財団法人徳川美術館名誉副館長)           (3) 愛知県博物館協会役員及び実行委員名簿         健職名         庶(園)名         代表者名         備考         実行委員名           理         事         名古屋市博物館         館長 岡田 大 会 長 塚本松市         市 ト ヲタ博物館         副会長 藤井麻希           "         委知県陶磁資料館         館長 木村忠史         佐藤一信         東山哲也           "         数田神宮室物館         館長 宮田理博         東山哲也           "         一宮市博物館         館長 河合 保         大野麻子	11月19日	③実行委員会(9回) ④東海地区博物館連絡協議会/山梨県立博物館 参加者 7名 ⑤東海三県博物館協会交流研修会/岐阜県美術館 テーマ:環境と人に優しい博物館—文化財の保存と博物館の環境 参加者19名 ⑥愛知県職員等研修会/岡崎市図書館交流プラザ りぶら 講演会:北川フラム氏
	功労賞         柳原         保         (愛知学院大学牌学部懶科資料展示室委員会副委員長)           功労賞         山本泰一         (財団法人徳川美術館名誉副館長)           (3)         愛知県博物館協会役員及び実行委員名簿           役職名         館(園)名         代表者名         備考         実行委員名           理         事         名古屋市博物館         館長 岡田 大 会長 塚本松市         の         本日本中         佐藤一信         産り県内藤砂資料館         館長 不村忠中         佐藤一信         本財本         企業・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・	11月19日	③実行委員会(9回) ④東海地区博物館連絡協議会/山梨県立博物館 参加者 7名 ⑤東海三県博物館協会交流研修会/岐阜県美術館 テーマ:環境と人に優しい博物館—文化財の保存と博物館の環境 参加者19名 ⑥愛知県職員等研修会/岡崎市図書館交流プラザ りぶら 講演会:北川フラム氏 参加者 80名
	功労賞 柳原 保 (愛知学院大学歯学部歯科資料展示室委員会副委員長) 功労賞 山本泰一 (財団法人徳川美術館名誉副館長) (3) 愛知県博物館協会役員及び実行委員名簿  役職名 館(園)名 代表者名 備考 実行委員名  理 事 名古屋市博物館 館長 岡田 大 会 長 塚本松市  『トヨタ博物館 館長 川本常敬 副会長 藤井麻希  『愛知県陶磁資料館 館長 木村忠史 佐藤一信  『熱田神宮宝物館 館長 宮田理博 奥山哲也  『一宮市博物館 館長 小崎輝政 久保禎子  『蟹江町歴史民俗博物館 館長 小崎輝政 久保禎子  『蟹江町歴史民俗博物館 館長 柳澤幸輝 江川真寿美  『 昭和美術館 館長 加藤貞亨 加藤貞亨	11月19日	③実行委員会(9回) ④東海地区博物館連絡協議会/山梨県立博物館 参加者 7名 ⑤東海三県博物館協会交流研修会/岐阜県美術館 テーマ:環境と人に優しい博物館-文化財の保存と博物館の環境 参加者19名 ⑥愛知県職員等研修会/岡崎市図書館交流プラザ りぶら 講演会:北川フラム氏 参加者 80名 ⑦部門別研修会
	功労賞 柳原 保 (愛知学院大学歯学部歯科資料展示室委員会副委員長) 功労賞 山本泰一 (財団法人徳川美術館名誉副館長) (3) 愛知県博物館協会役員及び実行委員名簿  役職名 館(園)名 代表者名 備考 実行委員名  理 事 名古屋市博物館 館長 岡田 大 会 長 塚本松市	11月19日	③実行委員会(9回) ④東海地区博物館連絡協議会/山梨県立博物館 参加者 7名 ⑤東海三県博物館協会交流研修会/岐阜県美術館 テーマ:環境と人に優しい博物館—文化財の保存と博物館の環境 参加者19名 ⑥愛知県職員等研修会/岡崎市図書館交流プラザ りぶら 講演会:北川フラム氏 参加者 80名

年月日		事 項							
2月18日	(イ) 調査・研究部門/愛知県芸術文化センター テーマ:事業としての調査研究 参加者31名								
3月6日	(ウ) 保存・修復部門/愛								
	テーマ:地域資料の保 参加者28名	行· 沿用							
	⑧協会発行物								
		   の博物館 春・秋 計2	1						
	(2) 協会報「愛知の博物館	官」 90-91							
	ホームページリニューアル								
平成22(2010)年	OMA (STANDERS LAND)	(() (= , = () = = ()							
6月29日 (火)	①総会/愛知県芸術文化セン		₹\						
	(2) 協会表彰	H一郎(愛知県美術館 館 <del>』</del>	<)						
		古屋市博物館 学芸員)							
	功労賞 田中青樹 (名	古屋市博物館 学芸課長)							
	功労賞 森藤繁雄 (名	古屋海洋博物館・南極観測	船ふじ理事兼館長)						
	功労賞 岩田正人 (岩	田先心館 館長)							
	(3) 愛知県博物館協会役員	1							
	役職名 館(園)名 理 事 愛知県美術館		備考 実行委員名 会 長 森 美樹						
	/ トヨタ博物館	館長川本常敬	副会長藤井麻希						
	〃 愛知県陶磁資料館		佐藤一信						
	〃 熱田神宮宝物館 〃 あま市美和歴史民	館長 宮田理博 俗資料館 館長 伊藤義久	奥山哲也 近藤 博						
	// 一宮市三岸節子記		杉山章子						
		-ジアム 館長 辻孝二郎	竹多 格						
	/ 岡崎市美術博物館 / 昭和美術館	館長 芳賀 徹 館長 柳澤幸輝	千葉真智子 澤田亜希子						
		科学博物館 館長 加藤貞亨	加藤貞亨						
	″ でんきの科学館	館長 小島 剛	中本昌子						
	ッ 豊田市郷土資料館 ッ 豊橋市自然中博物		高橋健太良						
	// 豊橋市自然史博物 // 名古屋市博物館	館 館長 松岡敬二 館長 岡田 大	安井謙介藤井康隆						
	/ 博物館明治村	館長 鈴木博之	中野裕子						
	監事徳川美術館	館長 徳川義崇	志賀太郎						
	/ 名古屋市科学館 ②理事会(計1回)	館長 石丸典生	鈴木雅夫						
	③実行委員会(8回)								
7月24日	④東海地区博物館連絡協議会	/横浜情報文化センター							
	参加者 5名								
10月28日29日	⑤東海三県博物館協会交流研		ンターほか						
	テーマ:博物館が進める地	域との連携							
6月11日	参加者49名 ⑥愛知県職員等研修会/長良	川司際今担							
0)1111	文化財保存修復学会、愛知		共催						
	参加者 33名		, tim						
平成23年3月3日	⑦部門別研修会								
	(ア) 教育・普及部門/愛	知県芸術文化センター							
		る博物館?博物館ボランティ	ア・友の会との連携						
0 1100	参加者57名	LL-36 48: 65							
2月16日	(イ)調査・研究部門/徳	川美術館 館におけるLED照明の可	<b>松朴</b>						
	参加者58名	昭におりるFFD無例の可	HC 1.T.						
2月24日	(ウ) 保存・修復部門/名	古屋市博物館							
	テーマ:文化財保存修								
	参加者35名								
	⑧協会発行物								
		の博物館 春・秋 計2   							
	(2) 協会報「愛知の博物館	国」92-93							
平成23(2011)年									
	①総会/愛知県芸術文化セン	ター(参加57館、94名)							
00		真宏(愛知県美術館 館長)							
	(2) 協会表彰								
		知県陶磁資料館 副館長)							
		宮市三岸節子記念美術館	学芸員)						
		田市美術館 館長)	\						
	功労賞 柴田 博 (前	豊橋市自然史博物館 館長	)						

功労賞 後藤清司 (豊橋市美術博物館 館長)

功労賞 下村信博 (名古屋市博物館 学芸係長)

2	功労賞	杉浦秀昭	(名古屋市博物館	技師)
(:	3) 愛知	県博物館協会	役員及び実行委員	名簿

役職名	館(園)名	代表者名	備考	実行委員名
理事	愛知県美術館	館長 村田眞宏	会 長	森 美樹
"	トヨタ博物館	館長 川本常敬	副会長	藤井麻希
"	愛知県陶磁資料館	館長 北川明夫		佐藤一信
"	熱田神宮宝物館	館長 宮田理博		奥山哲也
"	あま市美和歴史民俗資料館	館長 山内洋一		近藤 博
"	一宮市三岸節子記念館	館長 土本典生		杉山章子
"	INAXライブミュージアム	館長 辻孝二郎		竹多 格
"	岡崎市美術博物館	館長 芳賀 徹		千葉真智
"	昭和美術館	館長 柳澤幸輝		澤田亜希司
"	新城市鳳来寺山自然科学博物館	館長 加藤貞亨		加藤貞亨
"	でんきの科学館	館長 小島 剛		中本昌子
"	豊田市郷土資料館	館長 伊藤達也		高橋健太良
"	豊橋市自然史博物館	館長 松岡敬二		安井謙介
"	名古屋市博物館	館長 岡田 大		藤井康隆
"	博物館明治村	館長 鈴木博之		中野裕子
監 事	徳川美術館	館長 徳川義崇		志賀太郎
"	名古屋市科学館	館長 石丸典生		鈴木雅夫

②理事会 (計1回)

③実行委員会 (9回)

④愛博協今後のあり方見直し検討会 (9回)

7月22日 ⑤東海地区博物館連絡協議会/飛騨高山まちの博物館

参加者 4名

年月日

10月19日 ⑥東海三県博物館協会交流研修会/名古屋市科学館

テーマ:今、なぜ新たな博物館や展示室のリニューアルが必要か

10月19日 ⑦愛知県職員等研修会/名古屋市科学館

想定東海東南海地震に備える 被害館と被災地域にある博物館

参加者 78名

平成24年2月14日 ⑧部門別研修会

(ア)教育・普及部門/愛知県芸術文化センター テーマ:学校と博物館をつなぐプログラムを考える 参加者34名

2月23日 (イ) 調査・研究部門/愛知県芸術文化センター テーマ:収蔵資料のデータベース化について

参加者43名

2月22日 (ウ) 保存・修復部門/愛知県芸術文化センター テーマ: 文化財 I PMと文化財 I PMコーディネーター 参加者65名

⑨協会発行物

(1) お出かけガイド 愛知の博物館 春・秋 計2回

(2) 協会報「愛知の博物館」94-95

(3) 職員録

#### 平成24(2012)年

6月26日(火) ①総会/名古屋市科学館(参加56館、94名)

(1) 会長あいさつ:石丸典生(名古屋市科学館 館長)

(2) 協会表彰

功労賞 子安和弘 (愛知学院大学歯学部歯科資料展示室 講師)

功労賞 松井直樹 (西尾市岩瀬文庫 文庫長) (3) 愛知県博物館協会役員及び実行委員名簿

役職名	館(闌)名	代表者名	備考	実行委員名
理事	名古屋市科学館	館長石丸典生	会 長	鈴木雅夫
"	トヨタ博物館	館長 杉浦孝彦	副会長	藤井麻希
"	愛知県美術館	館長 村田眞宏		大島徹也
"	熱田神宮宝物館	館長 宮田理博		内田雅之
"	弥富市歴史民俗資料館	館長 八木春美		服部一宏
"	稲沢市荻須紀念美術館	館長 山田美佐子		河合志穂
"	半田市立博物館	館長 舩橋正巳		飯田道夫
"	岡崎市美術博物館	館長 榊原 悟		千葉真智子
"	昭和美術館	館長 柳澤幸輝		後藤さち子
"	新城市鳳来寺山自然科学博物館	館長 加藤貞亨		加藤貞亨
"	でんきの科学館	館長 鈴木雅典		中本昌子
"	豊田市郷土資料館	館長 伊藤達也		不破恵理
"	豊橋市美術博物館	館長 金原宏行		細田樹里
"	名古屋市博物館	館長 岡田 大		井上善博
"	博物館明治村	館長 鈴木博之		中野裕子
監 事	徳川美術館	館長 徳川義崇		吉川美穂
"	愛知県陶磁美術館	館長 上田信子		佐藤一信

②理事会(計1回)

③実行委員会(9回)

④愛博協今後のあり方見直し検討会 (9回) ⑤東海地区博物館連絡協議会/静岡県立美術館

23

7月18日

年月日 参加者 7名 11月29日 ⑥東海三県博物館協会交流研修会/岐阜県美術館 参加者 21名 10月19日 ⑦愛知県職員等研修会/中部大学民族資料博物館 博物館と地域連携 参加者 46名 平成25年2月2日 ⑧部門別研修会 尾張地域 (ア) 教育・普及部門/徳川美術館 テーマ:学習者の興味を引き出す方法 参加者32名 2月19日 三河地域 (イ) 保存・修復部門/岡崎市美術博物館 テーマ:収蔵品を守るために 2月22日 (ウ) 保存・修復部門/愛知県芸術文化センター テーマ:文化財 I PMと文化財 I PMコーディネーター 参加者65名 ⑨協会発行物

#### 平成25(2013)年

6月25日(火) ①総会/名古屋市科学館(参加49館、79名)

<sup>10</sup>w e b で公開

(1) 会長あいさつ:石丸典生 (名古屋市科学館 館長)

(1) お出かけガイド 愛知の博物館 春・秋 計2回

(1) 協会報「愛知の博物館」96-97

(2) 協会表彰

功労賞 大野俊治 (豊橋市美術博物館 主任学芸員)

功労賞 志賀太郎 (徳川美術館 学芸員)

(3) 愛知県博物館協会役員及び実行委員名簿

役職名	館(園)名	代表者名	備考	実行委員名
理事	名古屋市科学館	館長 石丸典生	会 長	鈴木雅夫
"	トヨタ博物館	館長 杉浦孝彦	副会長	藤井麻希
"	愛知県美術館	館長 村田眞宏		副田一穂
"	熱田神宮宝物館	館長 宮田理博		内田雅之
"	弥富市歴史民俗資料館	館長 八木春美		服部一宏
"	稲沢市荻須紀念美術館	館長 山田美佐子		河合志穂
"	半田市立博物館	館長 舩橋正巳		飯田道夫
"	岡崎市美術博物館	館長 芳賀 徹		湯谷翔悟
"	昭和美術館	館長 柳澤幸輝		後藤さち子
"	新城市鳳来寺山自然科学博物館	館長 加藤貞亨		湯浅大司
"	でんきの科学館	館長 鈴木雅典		中本昌子
"	豊田市郷土資料館	館長 日高 守		大平知香
"	豊橋市美術博物館	館長 金原宏行		細田樹里
"	名古屋市博物館	館長 伊藤 彰		山田伸彦
"	博物館明治村	館長 鈴木博之		中西夏海
監 事	徳川美術館	館長 徳川義崇		安藤香織
"	愛知県陶磁美術館	館長 上田信子		大長智広

②理事会(計1回)

③実行委員会(9回)

④愛博協今後のあり方見直し検討会 (9回)

7月22日 ⑤東海地区博物館連絡協議会/名古屋市科学館

愛知県当番 参加者 53名

9月12日 ⑥東海三県博物館協会交流研修会/三重県立総合博物館ほか

参加者 26名

11月28日 ⑦愛知県職員等研修会/新城市設楽原歴史資料館ほか

愛知県博物館協会50周年記念「地域に根ざした博物館50年の歩み」

参加者 36名

平成26年2月5日 ⑧部門別研修会

(ア) 教育・普及部門/熱田神宮宝物館

テーマ:災害発生時の博物館・美術館における具体的行動

参加者47名

2月25日 (イ) 調査・研究部門/徳川美術館

テーマ: 寄託・寄贈品の受入について

参加者62名

⑨協会発行物

お出かけガイド 愛知の博物館 春・秋 計2回

⑩web公開

協会報「愛知の博物館」98-99



平成23年度研修会 救援委員会本部事務局・東京文化財研究所保存修復科学センター 岡田 健氏

24

# $\prod$

# 50周年記念事業



### 愛知県博物館協会50周年記念 平成26年度総会講演会

## 「等身大の科学」と博物館活動

## 一「森の学校」キョロロの試み一

池 内 了

(名古屋大学名誉教授)

ただ今ご紹介いただきました池内です。私は紹介にありましたように、名古屋大学にも8年ほど務めておりました。そのあと総合研究院大学院大学に8年間務めて、今年の3月に退職いたしました。今回のような機会に話しをすることは私にとっても、チャレンジにもなると思いながら講演を引き受けました。今日は、私が顧問として10数年間関わっております「森の学校キョロロ」という小さな科学館、博物館の話しをしたいと思います。ここに居られる方は科学館の方ばかりではないと思いますが、話の中から自分たちの館に適応できるかなというものをくみ取っていただければと思います。

それから今回講演を引き受ける前に、岩波のブッ クレットで『科学のこれまで、科学のこれから』と いうものを書きました。その最後あたりに定年後の 私のプロジェクトというのを書いています。その中 で、私は小さな博物館ネットワークという構想につ いて書いています。今日はその構想を皆さんにも聞 いていただき、もしいろいろと協力して一緒にやれ る部分があればと思っています。本の中で、私は 「等身大の科学」ということを書いています。それ は現代の科学が、少し異様になったのではないのか という反省から、今後の科学がどのような方向に行 くべきかについて議論したわけです。異様になった 典型は、今年の1月から騒がれているSTAP細胞の 話です。この問題に典型的に現れている科学の異様 さは、世界的な業績として持ち上げて、しかしその 持ち上げる根底には不正らしいものがあったという ことです。このように科学自身が異様で曲がり角に さしかかっている中で、今後時間はかかると思いま

すが科学の有り様を変えていかないといけないのではないか、そして変えていく一つのキーワードが「等身大の科学」であり、それで小さな博物館ネットワークというものを提唱しているわけです。

ではまずわたしの森の学校キョロロとのつきあいから話しを始めます。「森の学校キョロロ」は新潟県の十日町市松之山にある小さな博物館です。キョロロというのはアカショウビンという鳥がキョロロと鳴くことから採ったものです。ここは里山であり、棚田であり、毎年3~4メートルの雪が積もります。ちょうど日本のまん中あたりで、日本海を渡ってきた冷たい風が新潟県の山にぶつかって大量に雪を降らせるところです。そして温泉があって、非常に豊かな自然がありますが、過疎化で悩んでいます。まさに高齢化の典型で、5千人足らずの人口のうち40パーセント以上が65歳以上です。

ここには妻有ネットワークとして3年に1回開催 されるトリエンナーレという芸術祭、地元に足を下

#### 1. キョロロとのつきあい

新潟県十日町市松之山

里山と棚田と米どころ

一雪国、温泉、豊かな自然、過疎・高齢化 「大地の芸術祭」(妻有ネットワーク)

2001年 初めて訪れて

古ぼけた町役場とピカピカの小学校

町長さんの見識(過疎債の利用)

東京に搾取されている越後

(宮中取水ダム、柏崎原発からの送電線)

ろした芸術活動が行われているところです。いろんな芸術家の作品が田んぼの中や、山、川などに飾られています。それらはトリエンナーレが終わってもそのまま地元の財産になって、いつでも芸術作品とふれあえるという面白い試みがなされています。2003年に第1回が行われましたので、来年で5回目が開催されることになります。この活動はなかなか面白いものです。この仕掛け人が北川フラムという人で、ある会で一緒になった折に、松之山町というところで面白い企画があるからちょっと力を貸してくれないかと誘われました。しかしとにかく行ってみないとわからないということで、十日町市に行きました。実際には十日町市街から車で40分ぐらいの山の中に入った所にあります。

森の学校キョロロがあるのはそんなところです。 最初に行ったときに訪れた町役場(当時は町)は非 常に古びた町役場で、雪がたくさん降るのに板張り で寒いのです。そこで町長さんと会って町中へ案内 されたところ、小学校はピカピカでした。そして素 晴らしい体育館がありました。雪の中でも運動がで きるようにと素晴らしい体育館を作ったというわけ です。普通は町役場の方が立派なところが多いわけ ですが、ここに町長さんが町をどうしたいのかとい うことに対するある種の見識が現れているというこ とです。その当時、ここで町長さんは自分たちが面 白い企画をやるために科学館を作りたいと思ったわ けです。たった人口5,6千人の町に科学館を作る というので、私も「えっ」と驚いたわけです。町長 さんは小さくてもいいから、将来、子どもたちは町 を出て行くのだろうけれども、しかし戻ってくるこ とができる場所、戻ってきたときにあの時こんなこ とがあったねと集い会える場所として科学館を作る ことを町議会に提案したわけです。私も町議会に出 ていろいろと説明しましたが、そういう変わったと いうか、面白い町長さんです。彼は有名なスキー場 にしてたくさんの人を呼び込むようなことはしたく ないとおっしゃるわけです。そんなにたくさん人は 来なくてもよくて、ある程度、町と交流できるだけ の人が来てくれるものができたらいいとのことでし

その話を聞きながら私の気持ちが動いたのは、越 後に目を向けると東京に搾取されているということ が明確に見えることです。例えば宮中取水ダムとい うのがあります。信濃川の上流の方にありますが、

ダムの上流側と下流側では全く違う表情を見せてい ることがわかりました。信濃川というのは、日本で 一番大きい川です。とうとうと流れているはずの信 濃川が下流に行くとカラカラになって、水がほとん どなくて大きな岩がごろごろしています。信濃川に は昔は鮭がのぼっていたぐらい水量の豊かな川でし たが、宮中取水ダムを作って、水を溜めて電力を 作っているわけです。そしてその電力は東京に送ら れて、山手線の電車を走らせるために使っていま す。まさに地元の水を使って起こされる電力が東京 を潤すために使われています。もう一つは皆さんも 当然ご存じの柏崎原発です。この原発は2007年の 中越沖地震の時に火災事故を起こしたところです。 7基もある日本で一番原発がたくさん集まっている 場所です。そこの電気はすべて東京に送られるわけ ですが、すごく大きい送電線が新潟の柏崎から日本 列島のまん中を横切って東京に運ばれております。 新潟県という地域は米所で有名な本来豊かな土地で すよね。であるにもかかわらず、東京からすごく搾 取されている。そして田中角栄という人が出て、い ろいろなことをやりましたが、一方ではこういう搾 取に対して、彼は怒りを持ったということです。彼 がやったことがいいといっているわけではないので すが、それについては理解できないということでは ありません。彼には搾取されているということに対 して、ある種の怨念があったのでしょう。私は新潟 県のそういう姿を見て、これは協力をせざるをえな いだろうと思ったわけです。

そこでいろいろと夢想しまして、ここに科学館な り、博物館というものを作ってみようと思いまし た。それは単に箱物ではなくて、知の拠点というよ うな場所にできたらと思ったわけです。これは本当 に夢想であって、現実にはあまり進んでおりません が・・。私はいろいろとキャッチフレーズを作るの が好きで、その時に松之山を「日本のアルペンに」 というキャッチフレーズを作ってみました。アルペ ンというのは、アメリカのロッキー山脈の中にある リゾート地ですが、そこはいろいろな研究者の研究 拠点になっています。そこに集まって合宿して、勉 強する。私も1週間ぐらい滞在したことがありま す。勉強は午前中だけで、午後はスキー。キャンプ もできるし、温泉もあるというところです。まさに 松之山にもスキー場、温泉があり、ブナ林もある。 里山もあるということで、これらを有機的に結びつ

けてオアシスとして、人々の集える場にできればいいなと思いました。そして高齢者の楽園というのも考えました。過疎のせいで家がどんどんと余っているわけですから、これは町の人にも随分とけしかけました。そこに高齢者の定年になった人などを集めて住んでもらうような場所にしたらどうかということを提案したこともあります。

いずれにしても、都会と田舎という対立がきつくなって、どうしても都会へ都会へと人がなびいていく、都会のゆがみがどんどんと大きくなっているのに対して、地域も過疎に悩んでいます。しかしながら、都会は文化の消費の場であり、それに対して文化の創造の場として地域、地方をもう一度見直す必要があるのではないかということを夢想したわけです。そういうことを考えたのは、地方は必ず復権すると私は考えているからです。ただ、すぐに復権するといっているわけではありませんが、自給自足の生活というのは、非常に重要です。日本のエネルギー供給率は40パーセントです。そういう状況の中で世界のエネルギー、あるいは食料はどんどんと逼迫しており、地方の役割の重要性が見直されるであろうと考えています。

森の学校というのは非常に小さい松之山町というところの小さい科学館ですが、単に見せるためのもの、来ていただくためのものではなくて、地域協同の核、地域との結びつきの中心になっているものにしたい。農山村の交流の拠点にもしたい。これはまさにそこを訪れてくれる都会の人々、あるいは子どもたちとその地域の人々との交流の拠点にしたい。それから単に文化の受け皿となるのではなく、文化の発信の基地にしたい。それを目標にして活動をしており、活動のために研究員を二人雇っています。

任期付きですが、博士号を持った研究員を雇うということを私もかなり強力に主張してやっと認められました。要するにきちんと研究をやりながら科学館、博物館活動も行うということです。時期によって違うのではっきりと分けられるわけではありませんが、50パーセントずつの割合ということをいっています。夏休みは研究なんてやっておれない、しかし冬はかなり雪が積もりお客さんもいないので研究ができます。

それから地域の文化の核になるということで、小 学校、中学校との結びつき、総合学習というものが あった時期はそのお手伝いをする。そして今でも やっていますが、子ども里山学会というものがあり ます。子どもたちの研究発表の場を提供すること、 学校に指導に行くということなどをやっています。 それから地域おこしの核になる、地域のいろいろな 伝統的な行事に参加していくということです。それ から自然と密着した活動を継続して行うことです。 これはせっかく里山や棚田、ブナ林という豊かな自 然をもっと利用しながら、常々自然離れということ が言われている子どもたちが、常に自然にふれあい ながら活動をするということです。それから展示と か野外観察を通じて人々の交流を図るという活動の 目標を立てました。そのためのキャッチフレーズが 3つあります。これは博物館として、こういうこと をやりたいということのイメージが共有できるもの をと考えました。

一つは「町民みんなが科学者」であるということです。実はこの松之山というところは生物の宝庫でありまして、日本全体では絶滅危惧種といわれている蛙とか、そういう水生動物、山の中に生きている動物がたくさんいるわけです。地元の人はその大事

## 信条一地方は必ず復権する

自立型生活の重要性

日本の食糧自給率は40%(エネルギー3%)

地上資源の見直し

地下資源文明の限界

(上流=資源の枯渇、下流=環境の制限)

自律的な生活様式

小型化・多様化・分散化の技術体系

(「お任せ」ではやっていけない)

地方である弱点はない

ITはどこでも人を結びつける

#### キャッチフレーズ

「町民みんな科学者」一開花・産卵・虫の移動など 生物の宝庫一絶滅危惧種の保全

地球温暖化のフィンガープリント

「等身大の科学」一科学の概念の拡大

金がかからず、誰でも、いつでも参加でき、

身近なテーマを取り上げる

「地域全体博物館」

自然、文化、人の地域資源の発掘・調査・共有化 住民参加による地域全体を博物館にする

さを気づかないことも多いのですが、生物学の研究 者がやってきてみると生物の宝庫だというわけで す。これは重要なことで、人々はすぐ身近にあると その大事さには気づかない。少し客観的に見られる 人が見ると、大事なものを持っているではないかと いうわけです。そして地球温暖化のフィンガープリ ントというのは、例えば野生植物がどのあたりで咲 いているか、高山植物がどのあたりの高さで咲いて いるか、あるいは桜がいつ咲いたかという開花時 期、鳥がいつ卵を産んだかといったことです。これ は単に数年間のデータでは分からないのですが、こ れを30年間、40年間と溜めていくと年ごとに変動 はありながら全体としてはゆっくりゆっくり花が咲 く場所が北へ移動していることが分かります。花が 咲く時期が少しずつ早くなっていて、この10年間 で6km北へ移動したといわれています。あるいは この10年間で6m高山植物の咲く位置があがった、 2、3日開花が早まった、というように全体として のゆっくりした変動がわかるわけです。これを地球 温暖化のフィンガープリントと呼んでいます。地球 が温暖化したことで野生生物が時間的にも空間的に も移動していることがわかります。こういうような データが現実的に出てきているわけです。こうした データこそが本当は非常に貴重なものです。そうい うデータこそが博物館の活動を通じて集めることが できるわけです。それによってゆっくりだけども地 球温暖化が進んでいることも証明できるというわけ です。

地球温暖化のフィンガープリントというのは 年々、毎年という短い年数ではジグザグになって 変動は読み取れないものですけれども、10年、20 年、30年とデータを集めるとゆっくりと平均値と して変動が読み取れるようになるわけです。そうい うデータをきっちり集めるということをやってみて はどうかということです。こうしたことこそが「等 身大の科学」であろうといえるわけです。私が科学 のこれまでということで批判したのは、これまでの 科学というのは新発見を非常に評価するという、そ れはそれで大事なことですけれど、そして蝉がいつ 鳴いたとかいうことはたいしたことではないと思っ てしまうのですけれど、本当にそうなのだろうかと いうことです。クマゼミがだんだん北へ移動してい て関東地方にまで進出したなんて人々はよく言いま すが、それを本当にきちんと書いた記録なんてすご

いものです。面白いですよね。そういう科学は金が かからないで、だれでもいつでも参加して、とにか くたくさんの人が交代で観察して、それでデータと して集まり、時間をかけて意味のあるデータが作り 上げられていくわけです。そういう意味で、等身大 の科学こそが本当に大事ではないかと私は思うわけ です。

もっと身近に科学はあふれているのではないの。 だから身近なテーマを取り上げてそれを調べる。最 近はなんとかキットという水質を調べたり、DNA を作ったりするような、いろんなキットが生まれて いて、安い値段で様々な実験が簡単にできるように なっています。ほんとうに身近で、しかしなぜな の、どうしてなのと思うようなテーマを取り上げ て、現実に実践していくという、そういう科学を等 身大の科学と呼んでいるわけです。森の学校ではこ ういうことを実践していきましょうというわけで す。

そしてもう一つは、「地域全体が博物館」という ことです。博物館はその博物館がある場所、建物だ けでなくて地域にも様々な資源があるわけですね。 森の学校という科学館では、科学に閉じずに文化と か、人々の伝統とか、地域の歴史とかそういうもの を発掘したり、調査したり、共有したりという手助 けを行っています。科学館だから科学だけに閉じる のではなくて、地域の人がいろいろと興味を持った り、参加したりする。もっと極端なのは、各家にあ る10年分ぐらいの家計簿を集めたらどうかという 話しもあります。家計簿を集めて整理してみると、 世の中の物価とか、どういうものを主に買っている かとか、世の中の変動、生活の変遷がわかるわけで す。これは一種の博物館学です。そうして「我が家 も博物館」、というキャッチフレーズをつけるのも 面白いと思っています。日記はあまり皆さん公開し ないから難しいかもしれませんが、家計簿の場合だ と明らかに生活がどのように変化したかがわかるわ けです。このような日記や家計簿を博物館として集 めて、我が家も博物館、地域全体が博物館というよ うにできるのではないか。そういう視点で住民参 加、全体が参加していくというようなことができる のではないかと思っております。

森の学校ということで具体的にやっていることは、博物館の建物が情報、資料の収蔵、展示、研究を行う中心になっていることです。それ以外に体験

交流施設です。まわりのブナ林、棚田、雪、伝統行 事、そういう博物館を取り巻く環境が体験交流施設 であるということです。環境の中でさまざまな交流 を行うということです。その意味では、食堂という のは非常に便利な場所で、採ってきた様々なものを 食べることができるところにもなります。そして教 育施設です。これは里山体験の学習プログラムとし てきちんと組まれていて、子どもたちが里山体験で 研究したことを発表するようにしています。むろん 子どもたちだけでなく、大人もやらないと子どもに 示しがつかないということで、里山学会という大人 たちが参加する学会、学会というほどではありませ んが、地域で学校の先生とか新潟大学の先生の研究 発表も含めて里山学会をやっています。それにあわ せて子ども里山学会も作り、地元に密着したテーマ で学会をやっています。

そして産業活性化施設というものも考えていま す。これはまだ実現していないのですが、産業の創 出や支援を行うものです。やはり地域の過疎を防ぐ には何らかの産業を興す、そこまでいかなくても科 学館発の新しい事業ができればと考えていますが実 現はまだまだです。そして研究施設として、博士号 を持つ学芸員や研究員を配置して、地域の自然や文 化を研究する。収蔵庫も含めて研究室ととらえてい ます。こういう施設機能を小さい博物館ですが森の 学校は持っています。もっとも博物館としてもって いるのは、博物館という本体と研究施設だけなので す。あとは付属的なもので環境をいかに利用するか ということになります。教育施設も学校をいかに利 用するか、食堂も急遽教室に変えるということもよ くやります。このように非常に少ない資源を有効に 使いながらいかに機能を豊かにするかということを

考えています。

実際にやってきたことは小中学校の総合学習への 参加です。実験、観察、学習、フィンガープリント 集めなどですが、10年分ぐらいデータがそろって きましたので、少しずつものがいえるようになるの ではないかと思っているわけです。各種の展示は、 3ヶ月で交替していますが、これは博物館としては 当然で、展示で人を集めるということは重要だろう と思います。それから野外観察会とか昆虫や植物採 集という子どもたちが自然に親しむ、自然に触れ る、そしてどろんこになって遊ぶための機会を提供 するということです。それからもう一つ重要になる のはITを利用したネットワークです。先ほども少 しいいましたように、町の人に花が咲いたなどの発 見の写真を撮って送ってもらう、それをwebにのせ てすぐに発信をする。という知の蓄積と発信という ITをいかに利用するかということが設備にお金が かかるから大変ですけれど、非常に重要なポイント になっていると思います。

森の学校の重要課題としてあるのは、一つには自治体におんぶされているということです。森の学校は、現在ではトータルで1年間に訪れるのは2万から3万人です。観覧料は500円ですから収入はあまりたいしたものではないわけですが、実際は研究員を2人雇っていて、お金の管理をする町の職員の人もいます。となると十日町市からの援助に頼っていれば、市の財政が厳しくなると当然森の学校の財政も厳しくなるという問題を抱えております。そのために農林水産省からの援助金とかをとろうと思っておるところです。しかし、いかに独立採算への道を進むかということは、この博物館の経営にとっては非常に大事なことです。でも地域の誇りであり、地

#### 3. 「森の学校」の課題

・自治体負担の軽減→独立採算への道 地域の誇り、支持、協力

リピーター(友の会)を増やす

- ・地域に根ざした学問研究→知の発信 研究への理解一時間がかかる、趣味ではない 「文化」としての科学
- ・人間を育てる→家庭・学校・地域の結節点 将来を見据えた人材の養成

人の交流による地域の活性化

#### 各博物館に期待すること

活動内容をホームページ上に公開すると共に

- (1)自然観察など予定行事の参加募集
- (2)遠隔からのインターネット参加も募る
- (3)スマホ・カメラによる観察・計測データ集約その際に
- (1)集めたいデータを公表して参加を募る
- (2)オープンデータとして管理・公開する
- (3)データの意味や学問的意味を解説する

域の協力を得るということが決定的に大事であって、それを失わないということは考えています。それが意識にある限りは、予算が減っていく状況ではありますが、がんばって評価を受けることができているというわけです。

もう一つの課題は、地域に根ざした学問研究ということです。博士号を持った学芸員、研究員がいるというのは、ここが知の発信をする所である、ここで発見したこと、研究したことを発信していくということです。例えばブナ林の変遷というのはこの10年間のブナ林の研究をちゃんとした雑誌に投稿して高く評価されています。この研究への理解が特に町の人に対して時間がかかったように思います。研究員がしっかりとした研究をするということが外から見れば趣味のように思われるのです。しかしきちんとした研究を積み重ねている学芸員がいなければ科学館として、あるいは博物館として信用されなくなるということを常にいっているわけです。ここで特に文化としての科学ということを強調しているわけです。

もう一つは人間を育てるということです。家庭と 学校と地域の結節点となるというという問題もある と思います。単に集まってきた子どもたちを遊ばせ ることになるだけではいけません。やはりそこで生 じている問題を学校と家庭を結びつけるようなこと をしたいと思います。学芸員は3年ぐらいの任期で すので、たいしたことはできないかもしれません が、そこに住み着いて学校の先生とか親と顔なじみ になって結びついていくことは必要ではないかと思 います。このような点はまだまだこれからの課題で す。

私自身定年退職になって時間ができましたので、

#### 5. 「文化」というもの

人間の精神的活動の成果

芸術、芸能、学問、科学、宗教、道徳など

- ・見返りを要求しない
- 人々の支えで維持できる

(税金、浄財、対価、ボランティア)

- あることが大事、無くなれば寂しい
- ・蓄積と発展の両輪が必要
- ・個人の努力と社会の受容が不可欠 文化は人間の証明である

これからもっと違う試みを考えてみようということ です。小さな博物館ネットワーク、地域博物館の ネットワークを考えてみようと思っています。小さ な博物館といっているのは、大きな博物館は自立的 にいろいろとできるだろうけど、小さな所は人手が 足りない、お金がないとか、忙しすぎるとかでやり たいと思ってもなかなかできません。地域博物館の 横の繋がりを作っていこうと、ネットワークで結ん でいこうというわけです。そのネットワークをイン ターネット上で公開すると、インターネット上で活 動に参加することもでてくるだろうし、インター ネット上で紹介されたことで、現地に足を運んで参 加するようなこともでてくるだろうと思います。そ の仲立ちをするということで、こんな面白い博物館 もあるよということを皆さんにお知らせすることが できます。こんな活動を学校で取り入れてはどうか といったように、教育機関と結びつけるとか、教育 業界、教育器具、通信業界などとの連携も作ってい けるのではないかとも考えます。一つの館としては できなくても、ネットワークを通じて可能になるこ ともあるだろうと私自身、こういうネットワークが できたらいいなと思っているわけです。

私自身、博物館活動において最も重要だと思っているのは、文化というものです。文化は人間の証明であるともいえるわけです。文化の担い手としての博物館として、小さくてもぴかりと光る博物館ということを考えていますが、それは多くの子どもたちがファンとして活動に参加する、そうした活動が子どもたちの未来の養分を培っている、伝統や文化を継承する人材を養成している、こういった活動を通じて、博物館が文化を担っているということをしっかりやっていっていただけたらいいなと思っています。

## 「文化」の担い手としての博物館

小さくても(小さいほど)ピカリと光る博物館

- 多くの子どもたちがファンとなっている
- 子どもたちの未来の養分を培っている
- ・伝統や文化を継承する人材を養成している

# IV

# 愛知の博物館

- No.96 (平成24年8月31日)
- No.97 (平成25年5月10日)
- No.98(平成25年8月1日)
- No.99 (平成26年3月31日)

※編集後web公開のみにしていた号を再掲

# V 加盟施設・規約

## 愛知県博物館協会加盟施設一覧

				※のあるものは公立の施設 平成27年(西暦20]	15年)3月31日現在
番号	施設名		郵便番号	所 在 地	電話番号
《名古》	屋地区》				
1	古川美術館((財)古川会)		464-0066	名古屋市千種区池下町二丁目50	052-763-1991
2	愛知学院大学歯学部歯科資料展示室		464-8650	名古屋市千種区楠元町1-100	052-751-2561
3	徳川美術館(公益財団法人徳川黎明会)		461-0023	名古屋市東区徳川町1017	052-935-6262
4	ヤマザキマザック美術館		461-0004	名古屋市東区葵1-19-30	052-937-3737
5	愛知県美術館	*	461-8525	名古屋市東区東桜一丁目13-2	052-971-5511
6	森村記念館		461-0005	名古屋市東区東桜一丁目10-18	052-971-0456
7	堀美術館		461-0018	名古屋市東区主税町四丁目4-2	052-979-5717
8	三菱東京UFJ銀行貨幣資料館		461-0026	名古屋市東区赤塚町25	052-933-5151
9	トヨタ産業技術記念館		451-0051	名古屋市西区則武新町四丁目1-35	052-551-6115
10	ノリタケの森クラフトセンター		451-8501	名古屋市西区則武新町三丁目1-36	052-561-7150
11	大一美術館		453-0843	名古屋市中村区鴨付町1-22	052-413-6777
12	大須文庫(真福寺文庫)		460-0011	名古屋市中区大須二丁目21-47大須観音宝生院内	052-231-6525
13	切支丹遺跡博物館(宗教法人 栄国寺)		460-0016	名古屋市中区橘一丁目21-38	052-321-5307
14	名古屋市科学館	*	460-0008	名古屋市中区栄二丁目17-1	052-201-4486
15	でんきの科学館		460-0008	名古屋市中区栄二丁目2-5	052-201-1026
16	名古屋市美術館	*	460-0008	名古屋市中区栄二丁目17-25	052-212-0001
17	名古屋城	*	460-0031	名古屋市中区本丸1-1	052-231-1700
18	名古屋ボストン美術館		460-0023	名古屋市中区金山町1-1-1	052-684-0101
19	昭和美術館((財)後藤報恩会)		466-0837	名古屋市昭和区汐見町4-1	052-832-5851
20	桑山美術館((財)桑山清山会)		466-0828	名古屋市昭和区山中町2-12	052-763-5188
21	南山大学人類学博物館		466-8673	名古屋市昭和区山里町18	052-832-3111
22	名古屋市博物館	*	467-0806	名古屋市瑞穂区瑞穂通1-27-1	052-853-2655
23	熱田神宮宝物館		456-8585	名古屋市熱田区神宮一丁目1-1	052-671-0852
24	名古屋海洋博物館・南極観測船ふじ		455-0033	名古屋市港区港町1-9 名古屋港ポートビル内	052-652-1111
25	日本独楽博物館		455-0047	名古屋市港区中ノ島通4丁目7-2	052-661-3671
26	戦争と平和の資料館ピースあいち		465-0091	名古屋市名東区よもぎ台2-820	052-602-4222
27	荒木集成館(公益財団法人)		468-0014	名古屋市天白区中平五丁目616	052-802-2531
/ E 7E.	bb 당》				
<u>《尾張:</u> 28	<sup>地区</sup> / 一宮市博物館	*	491-0922	一宮市大和町妙興寺2390	0586-46-3215
29	真清田神社宝物館			一宮市真清田1-2-1	0586-73-5196
30	一宮市尾西歴史民俗資料館	*		一宮市起字下町211	0586-62-9711
31	一宮市三岸節子記念美術館			一宮市小信中島字郷南3147-1	0586-63-2892
32	愛知県陶磁美術館			瀬戸市南山口町234	0561-84-7474
33	瀬戸蔵ミュージアム			瀬戸市蔵所町1-1	0561-97-1190
34	國盛酒の文化館			半田市東本町2-24	0569-23-1499
35	かみや美術館(財団法人)			半田市有脇町十丁目8-9	0569-29-2626
36	半田市立博物館	*		半田市桐ケ丘四丁目209-1	0569-23-7173
$\frac{30}{37}$	博物館「酢の里」	···		半田市中村町2-6	0569-24-5111
	*平成25年11月10日をもって一旦閉館。平成27年秋頃に「MIZKAN	MUSEU:			

38	新美南吉記念館	*	475-0966	半田市岩滑西町1-10-1	0569-26-4888
39	春日井市道風記念館	*	486-0932	春日井市松河戸町946-2	0568-82-6110
40	中部大学民族資料博物館		487-8501	春日井市松本町1200番地	0568-51-9193
41	国宝 犬山城	*	484-0082	犬山市大字犬山字北古券65-2	0568-61-1711
42	犬山市文化史料館	*	484-0082	犬山市大字犬山字北古券8	0568-62-4802
43	犬山城白帝文庫 歴史文化館(財団法人)	*	484-0082	犬山市大字犬山字北古券8	0568-62-4700
44	日本モンキーセンター(財団法人)		484-0081	犬山市大字犬山字官林26	0568-61-2327
45	博物館明治村(財団法人)		484-0000	犬山市字内山1	0568-67-0314
46	岩田洗心館(財団法人)		484-0081	犬山市大字犬山字富士見町26	0568-61-4634
47	野外民族博物館 リトルワールド		484-0005	犬山市大字今井字成沢90-48	0568-62-5611
48	とこなめ陶の森	*	479-0822	常滑市奥条七丁目22	0569-35-3970
49	INAXライブミュージアム		479-8586	常滑市奥栄町1-130	0569-34-8282
50	晴嵐館(財団法人)		483-8187	江南市大海道町青木22	0587-56-3170
51	小牧市歷史館(小牧城)	*	485-0046	小牧市堀の内一丁目1	0568-72-0712
52	メナード美術館		485-0041	小牧市小牧五丁目250	0568-75-5787
53	稲沢市荻須記念美術館	*	492-8217	稲沢市稲沢町前田365-8	0587-23-3300
54	東海市立平洲記念館·郷土資料館	*	476-0003	東海市荒尾町蜂ケ尻67	052-604-4141
55	東邦ガス・ガスエネルギー館		476-8501	東海市新宝町507-2	052-603-2527
56	鍛造技術の館		476-8666	東海市荒尾町ワノ割1	052-603-9383
57	大府市歷史民俗資料館	*	474-0026	大府市桃山町五丁目180-1	0562-48-1809
58	知多市歷史民俗博物館	*	478-0047	知多市緑町12-2	0562-33-1571
59	舩橋楽器資料館		482-0031	岩倉市八剱町石橋11	0587-37-5100
60	岩崎城歷史記念館	*	470-0131	日進市岩崎町市場67	0561-73-8825
61	東郷町郷土資料館	*	470-0162	愛知郡東郷町大字春木字西羽根穴2225-4	0561-38-4111
62	長久手市郷土資料室	*	480-1121	長久手市武蔵塚204 長久手古戦場内	0561-62-6230
63	トヨタ博物館		480-1118	長久手市横道41-100	0561-63-5151
64	名都美術館((財)林美術財団)		480-1116	長久手市杁ケ池301	0561-62-8884
65	愛知県立芸術大学芸術資料館	*	480-1194	長久手市岩作三ケ峯1-114	0561-62-1180
66	北名古屋市歷史民俗資料館	*	481-8588	北名古屋市熊之庄御榊53	0568-25-3600
67	愛知県清洲貝殻山貝塚資料館	*	452-0932	清須市朝日貝塚1	052-409-1467
68	清須市西枇杷島問屋記念館	*	452-0045	清須市西枇杷島町西六軒20	052-502-7575
69	清須市はるひ美術館	*	452-0961	清須市春日夢の森1番地	052-401-3881
70	大口町歴史民俗資料館	*	480-0126	丹羽郡大口町伝右一丁目35	0587-94-0055
71	あま市七宝焼アートヴィレッジ	*	497-0002	あま市七宝町遠島十三割2000	052-443-7588
72	あま市美和歴史民俗資料館	*	490-1292	あま市花正七反地1	052-442-8522
73	蟹江町歴史民俗資料館	*	497-0040	海部郡蟹江町城1-214	0567-95-3812
74	弥富市歷史民俗資料館	*	498-0017	弥富市前ケ須町野方731	0567-65-4355
75	愛西市佐織歷史民俗資料室	*	496-8011	愛西市諏訪町郷西456番地1	0567-26-1123
76	あいち健康の森 健康科学総合センター健康科学館	*	470-2101	知多郡東浦町大字森岡字源吾山1-1	0562-82-0211
77	東浦町郷土資料館	*	470-2103	知多郡東浦町大字石浜字桜見台18-4	0562-82-1188
78	杉本美術館		470-3232	知多郡美浜町美浜緑苑1-12-1	0569-88-5171
79	南知多ビーチランド		470-3233	知多郡美浜町奥田428-1	0569-87-2000
80	美術の森		470-2401	知多郡美浜町布土半月85-1	0569-82-3500

81	武豊町歴史民俗資料館	*	470-2336	知多郡武豊町字山ノ神20-1	0569-73-4100
82	醸造「伝承館」		470-2343	知多郡武豊町字小迎51	0569-72-0030
《三河	#h [文 》				
83	豊橋市美術博物館	*	440-0801	豊橋市今橋町3-1	0532-51-2882
84	豊橋市自然史博物館	*	441-3147	豊橋市大岩町字大穴1-238	0532-41-4747
85	豊橋市二川宿本陣資料館	*	441-3155	豊橋市二川町字中町65	0532-41-8580
86	岡崎市美術博物館	*	444-0002	岡崎市高隆寺町字峠1 岡崎市中央総合公園内	0564-28-5000
87	岡崎信用金庫資料館		444-0038	岡崎市伝馬通一丁目58	0564-24-2367
88	おかざき世界子ども美術博物館	*	444-0005	岡崎市岡町字鳥居戸1-1	0564-53-3511
89	八丁味噌の郷・史料館		444-0923	岡崎市八帖町字往還通69	0564-21-1355
90	真福寺菩提樹館		444-2106	岡崎市真福寺町薬師山6	0564-45-4626
91	豊川市桜ケ丘ミュージアム	*	442-0064	豊川市桜ケ丘町79-2	0533-85-3775
92	碧南海浜水族館・碧南市青少年海の科学館	*	447-0853	碧南市浜町2-3	0566-48-3761
93	碧南市藤井達吉現代美術館	*	447-0847	碧南市音羽町1-1	0566-48-6602
94	刈谷市美術館	*	448-0852	刈谷市住吉町四丁目5	0566-23-1636
95	豊田市郷土資料館	*	471-0079	豊田市陣中町一丁目21	0565-32-6561
96	豊田市美術館	*	471-0034	豊田市小坂本町八丁目5-1	0565-34-6610
97	豊田市民芸館	*	470-0331	豊田市平戸橋町波岩86-100	0565-45-4039
98	和紙展示館	*	470-0562	豊田市永太郎町洞216-1	0565-65-2151
99	豊田市近代の産業とくらし発見館	*	471-0027	豊田市喜多町4丁目45番地	0565-33-0301
100	古橋懐古館(財団法人)		441-2513	豊田市稲武町タヒラ8	0565-82-2100
101	安城市歷史博物館	*	446-0026	安城市安城町城堀30	0566-77-6655
102	西尾市岩瀬文庫	*	445-0847	西尾市亀沢町480	0563-56-2459
103	蒲郡市博物館	*	443-0035	蒲郡市栄町10番22号	0533-68-1881
104	生命の海科学館	*	443-0034	蒲郡市港町17−17	0533-66-1717
105	知立市歷史民俗資料館	*	472-0041	知立市新地町番割22-2	0566-83-1133
106	高浜市やきものの里かわら美術館	*	444-1325	高浜市青木町九丁目6-18	0566-52-3366
107	幸田町郷土資料館	*	444-0124	額田郡幸田町大字深溝字清水36-1	0564-62-6682
108	みよし市立歴史民俗資料館	*	470-0224	みよし市三好町陣取山44-1	0561-34-5000
109	設楽町奥三河郷土館	*	441-2301	北設楽郡設楽町田口字アラコ14	0536-62-1440
110	東栄町立博物館·民芸館·花祭会館	*	449-0214	北設楽郡東栄町大字本郷字大森1	0536-76-1266
111	新城市鳳来寺山自然科学博物館	*	441-1944	新城市門谷字森脇6	0536-35-1001
112	ヨコタ博物館		441-1413	新城市作手白鳥北ノ入15-1	0536-37-2613
113	医王寺民俗資料館		441-1634	新城市長篠字弥陀の前2-5-6	0536-32-0136
114	新城市設楽原歷史資料館	*	441-1305	新城市竹広字信玄原552番地	0536-22-0673
115	田原市博物館	*	441-3421	田原市田原町巴江11-1	0531-22-1720

## 愛知県博物館協会規約

第1章 総 則

(名称)

第1条 この会は、愛知県博物館協会(以下「協会」という。)と称する。

(目的)

第2条 協会は、愛知県内における博物館相互の連絡協力を密にし、博物館事業の振興を図る ことを目的とする。

(事業)

- 第3条 協会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。
  - (1)連絡会議の開催
  - (2) 研究会、研修会、視察見学等の開催
  - (3) 広報普及活動
  - (4) 災害発生時等における相互協力の支援
  - (5) その他目的達成に必要な事業

#### 第2章 会 員

(会員)

第4条 協会の会員は、愛知県内に設置された博物館及びこれに類する施設をもって組織する。 (会費)

- 第5条 会員は、会費を納めなければならない。
  - 2 会費の年額は1口10.000円とし、設置者により次のとおりとする。
  - (1) 県立、市立の施設 2口以上
  - (2) 上記以外の施設 1口以上

#### 第3章 役 員

(役員)

- 第6条 協会に次の役員を置く。
  - (1) 会長 1名
  - (2) 副会長 1名
  - (3) 理事 15名以内
  - (4) 監事 2名

(役員の選任)

- 第7条 会長及び副会長は、互選により理事の中から選出される。
  - 2 理事は、総会において会員の中から選出される。
  - 3 監事は、総会において会員の中から選出される。ただし、監事は他の役員を兼ねること

はできない。

(職務)

- 第8条 会長は、協会を代表し、その会務を総括する。
  - 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故がある時はその職務の代理をする。
  - 3 理事は、理事会を組織し、会務を審議執行する。
  - 4 監事は、協会の会計を監査する。

(役員の任期)

第9条 役員の任期は2年とし、再任を妨げない。

#### 第4章 総 会

(総会の招集)

- 第10条 会長は年1回通常総会を招集する。
  - 2 会長は、次に掲げる場合に臨時総会を招集する。
    - ① 理事会が必要と認めたとき
    - ② 会員の3分の1以上の同意を得て、総会の開催の請求があったとき

(総会の定足数及び議決)

- 第11条 総会は、会員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。なお、委任状が会員から提出された場合は、その会員は出席会員とみなす。
  - 2 総会の議長は会長が行う。
  - 3 総会の議事は、出席会員の過半数でこれを決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(総会の議決事項)

- 第12条 次に掲げる事項は、総会の議決を受けなければならない。
  - (1) 事業計画の決定及び事業報告の承認
  - (2) 予算の決定及び決算の承認
  - (3) 規約の改正
  - (4) その他会長が必要と認めた事項

#### 第5章 理事会及び実行委員会

(理事会)

- 第13条 理事会は、会長、副会長及び理事をもって構成する。
  - 2 理事会は、会長が必要と認めたとき招集する。
  - 3 理事会は、役員の3分の1以上の同意を得て、理事会の開催の請求があったとき、開催 することができる。
  - 4 理事会は、理事の過半数の出席をもって成立し、その理事の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。
  - 5 理事会は、次に掲げる事項を審議執行する。

- ① 事業に関する事項
- ② 総会に提出する議案
- ③ 実行委員会に関する事項
- ④ 入会及び退会
- ⑤ その他必要な事項
- 6 理事会の議長は会長が行う。
- 7 監事は理事会に出席し、意見を述べることができる。

(実行委員会)

- 第14条 理事会を補佐し、事業の具体的な内容を検討し実施するために、協会に実行委員会 を置く。
  - 2 実行委員は、会長が理事会の同意を得て指名する。

#### 第6章 事務局

(事務局)

- 第15条 協会の事務を処理するため、協会に事務局を置く。
  - 2 事務局は、会長が所属する施設が受け持つ。但し、理由がある場合には、他の施設が受け持つことができる。

#### 第7章 会計

(会計年度)

第16条 協会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年の3月31日に終わる。

(協会の財源)

第17条 協会の財源は、会費及びその他の収入からなる。

#### 第8章 雜則

(雑則)

第18条 この規約の適用に関し、必要な事項は会長が定める。

#### 附則

昭和39年1月16日 議決

昭和50年5月7日 一部改正

昭和56年4月1日 一部改正

昭和58年4月26日 一部改正

昭和62年5月22日 一部改正

平成3年5月22日 一部改正

平成24年6月26日 全部改正

## 旧 愛知県博物館協会規約

- 第1条 この会は、愛知県にある博物館及びこれに類する施設を持って組織する。
- 第2条 この会は、会員相互の連絡をはかり、博物館事業の振興をはかることを目的とする。
- 第3条 この会は前条の目的を達成するため、概ね次の事業を行う。
  - 1 連絡会議の開催
  - 2 研究会、研修会、視察見学等の開催
  - 3 その他必要な事業
- 第4条 この会を運営するために理事会を設ける。理事会は総会において会員より選出された 理事若干名をもって構成する。理事会は互選により会長1名、副会長1名を定める。
  - 2 この会に監事2名をおき、会計を監査する。監事は総会において選出する。
  - 3 理事及び監事の任期は2か年とする。
  - 4 理事会の実務を補佐するため、実行委員会を設ける。実行委員は会長が委嘱する。
- 第5条 この会の事務局は、会長の定める理事の属する施設に置き、その事務を処理するため 会長が書記、会計を委嘱する。
- 第6条 この会の経費は会費及びその他収入をもって支弁する。会費は、1 口 10,000 円とする。 但し、県立及び市立の施設は2 口以上とする。その他の施設にあっては、その規模により増 すことができる。
- 第7条 この会の予算、事業計画及び決算は、総会において議決承認をうけるものとする。
- 第8条 この会の会計年度は、毎年4月1日より翌年3月31日までとする。
- 第9条 この規約に定めのない事項は、必要に応じて総会で定めるものとする。

昭和39年1月16日 議 決

昭和50年5月7日 一部改正

昭和56年4月1日 一部改正

昭和58年4月26日 一部改正

昭和62年5月22日 一部改正

平成3年5月22日 一部改正

## 愛知県博物館協会50年史

平成27年3月31日

発 行 愛知県博物館協会

名古屋市中区栄2-17-1 名古屋市科学館内 TEL. 052-201-4486

http://www.aichi-museum.jp

企画·編集 愛知県博物館協会

印 刷 アーク印刷株式会社